

第19回

# 三遠南信 サミット 2011 in 遠州

三遠南信流域都市圏構築への挑戦  
融合、新たなステージへ



第19回

三遠南信サミット

2011 in 遠州

平成23年10月24日(月)

会場/アクトシティ浜松

# 資料集

# 目次

---

## 1 基調講演

「三遠南信の新ステージに向け」 .....	1
-----------------------	---

## 2 分科会

(1) 「道」分科会 .....	17
① 「三遠南信自動車道の整備状況」 .....	19
② 重点プロジェクト 政策の基本方針1 「中部圏の中核となる地域基盤の形成」 .....	30
③ 第Ⅰ期重点プロジェクト工程表 .....	33
④ 「道」分科会資料 .....	38
(2) 「技」分科会 .....	43
① 「三遠南信発！ 産業イノベーション」 .....	45
② 重点プロジェクト 政策の基本方針2 「持続発展的な産業集積の形成」 .....	53
③ 第Ⅰ期重点プロジェクト工程表 .....	55
④ 「技」分科会資料 .....	59
(3) 「風土」分科会 .....	61
① 「地域資源を生かして地域と人を元気にする取組」 .....	63
② 重点プロジェクト 政策の基本方針3 「塩の道エコミュージアムの形成」 .....	70
③ 第Ⅰ期重点プロジェクト工程表 .....	72
(4) 「山・住」合同分科会 .....	77
① 「東日本大震災から学ぶこと」 .....	79
② 重点プロジェクト 政策の基本方針4 「中山間地域を活かす流域モデルの形成」 .....	86
③ 重点プロジェクト 政策の基本方針5 「広域連携による安全・安心な地域の形成」 .....	87
④ 第Ⅰ期重点プロジェクト工程表 .....	88
⑤ 「山」分科会資料 .....	93

## 3 参考資料

(1) 三遠南信地域連携ビジョン概要版 .....	97
(2) 三遠南信地域連携ビジョンの推進 .....	105
(3) 三遠南信紀行 .....	127
(4) 三遠南信エリアマップ .....	131



# 基調講演

資料



# 三遠南信の新ステージに向け

平成23年10月24日  
芝浦工業大学MOT教授  
谷口 博昭

---

## 目次

- 1. 大きな変化／復興から再生へ
- 2. 大きな価値観／大きな絵
- 3. これからの経済政策／成長戦略
- 4. これからの地域社会／インフラ
- 5. みちの文化
- 6. 三遠南信の新ステージ

# 1. 大きな変化／復興から再生へ

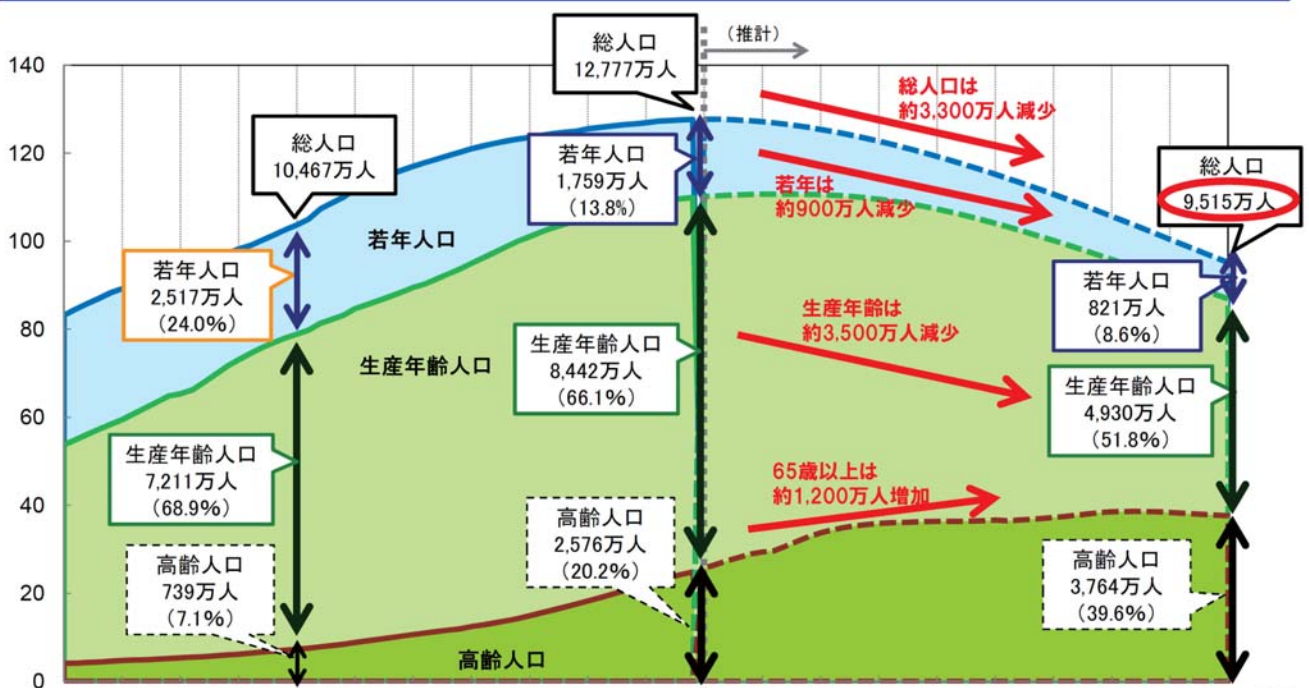
- グローバリゼーション（経済、ICT, 環境、資源）
- 少子高齢化、人口減少
- 政治主導、地域主権、規制緩和
- 東日本大震災 史上最大M9.0 巨大津波、広範囲、原発事故
- 教訓（脆弱な国土、ネットワーク化）
- 復興から再生へ

第I章 長期展望の前提となる大きな潮流

## 2050年には日本の総人口は3,300万人減少

国土交通省

○日本の総人口は、2050年には、9,515万人と約3,300万人減少（約25.5%減少）。  
 ○65歳以上人口は約1,200万人増加するのに対し、生産年齢人口（15-64歳）は約3,500万人、若年人口（0-14歳）は約900万人減少する。その結果、高齢化率で見ればおよそ20%から40%へと高まる。



1950 1955 1960 1965 1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 2025 2030 2035 2040 2045 2050 (年)

(出典) 総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」における出生中位（死亡中位）推計をもとに、国土交通省国土計画局作成

(注1) 「生産年齢人口」は15～64歳の者の人口、「高齢人口」は65歳以上の者の人口  
 (注2) ( )内は若年人口、生産年齢人口、高齢人口がそれぞれ総人口のうち占める割合  
 (注3) 2005年は、年齢不詳の人口を各歳別に按分して含めている

「国土の長期展望」中間とりまとめ(平成23年2月22日)より抜粋

# 「くしの歯」作戦

**第1ステップ** 東北道、国道4号の**縦軸ライン確保**

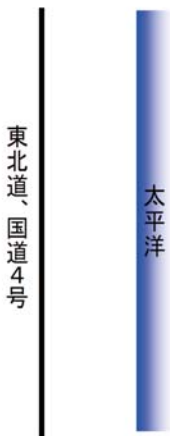
**第2ステップ** 東北道、国道4号からの**横軸ラインを確保**

3/12: 16本のうち、11ルート啓開

3/15: 15ルート啓開

**第3ステップ** 3/18: 国道45号、6号の97%啓開(作戦終了)

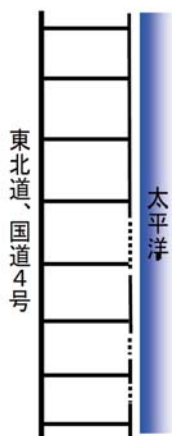
<第1ステップ>



<第2ステップ>



<第3ステップ>

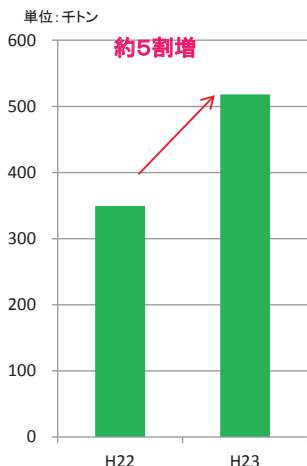


## 日本海側からの支援

○救援物資等の酒田港の取扱量が**約5割増加**。

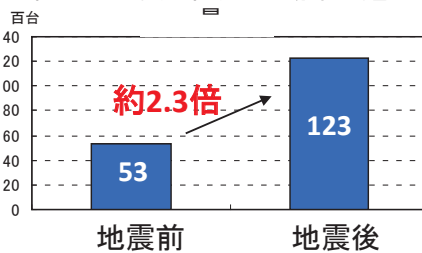
○横軸の幹線道路(R113)の自動車交通量が**約2.3倍**

酒田港の総取扱貨物量  
(3月～4月)



※H23速報値を前年同時期と比較

国道113号(小国)の自動車交通



※地震前: 3/1～3/10、地震後: 3/13～3/19



▲支援ルートの確保(月山道路)





## 2. 大きな価値観／大きな絵

- 自立と共生(ともいき)、私と公、個と全体
- まんだら／大きな絵(BIG PICTURE)
  
- まんだらのこころ／パートナーシップ
- 国と地方、官と民、大と中小、元下
  
- WIN=WINの関係、自他利

7

---

## 3. これからの経済政策／成長戦略

- 経世済民
- 経済政策; 成長、安定、調整のバランス
- $GDP = \text{消費} + \text{投資} + \text{政府支出} + \text{経常収支}$
  
- 比較優位、国際分業
- 国内還元・循環、内需主導経済
  
- 成長戦略

# 新成長戦略

新成長戦略(基本方針) 平成21年12月30日閣議決定

新成長戦略 平成22年6月18日閣議決定

## 強みを生かす成長分野

- (1) グリーン・イノベーションによる環境・エネルギー大国戦略
- (2) ライフ・イノベーションによる健康大国戦略

## フロンティアの開拓による成長

- (3) アジア経済戦略
- (4) 観光立国・地域活性化戦略

## 成長を支えるプラットフォーム

- (5) 科学・技術・情報通信立国戦略
- (6) 雇用・人材戦略
- (7) 金融戦略

## 国土交通省成長戦略について

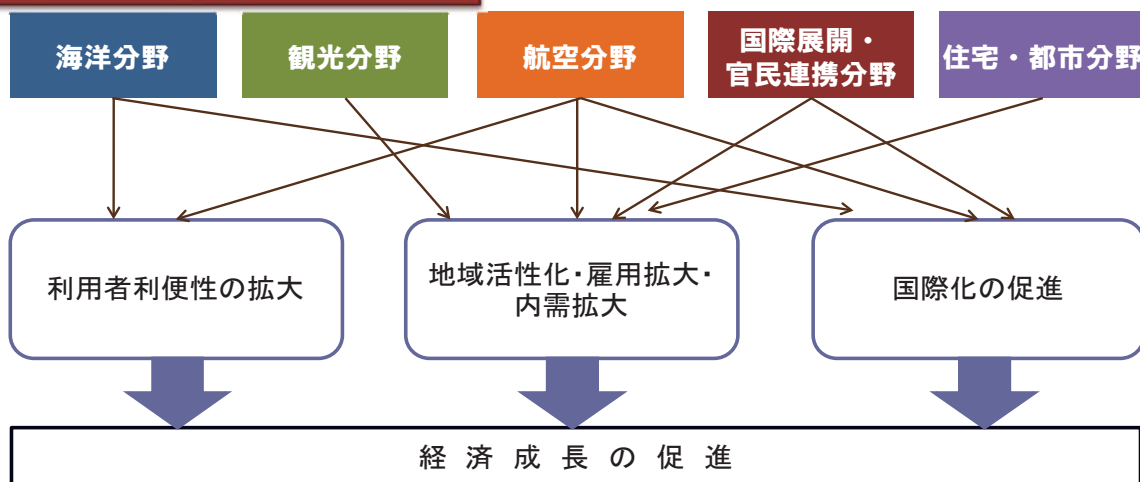
### 成長戦略の必要性和ねらい

- 中国をはじめ高成長を遂げるアジア諸国の活力を日本経済に取り込む
- 国交省管轄サービス産業について、ICT技術や民間の知恵と資金の活用により、生産性の向上とパイの拡大

### 旧来メカニズムを変革するためのドライバー

- ① 集中投資
- ② 民間の知恵と資金の導入
- ③ 規制改革
- ④ グローバル化に対応した人材育成
- ⑤ 政治のリーダーシップ

### 達成すべき目標と5つの対象分野



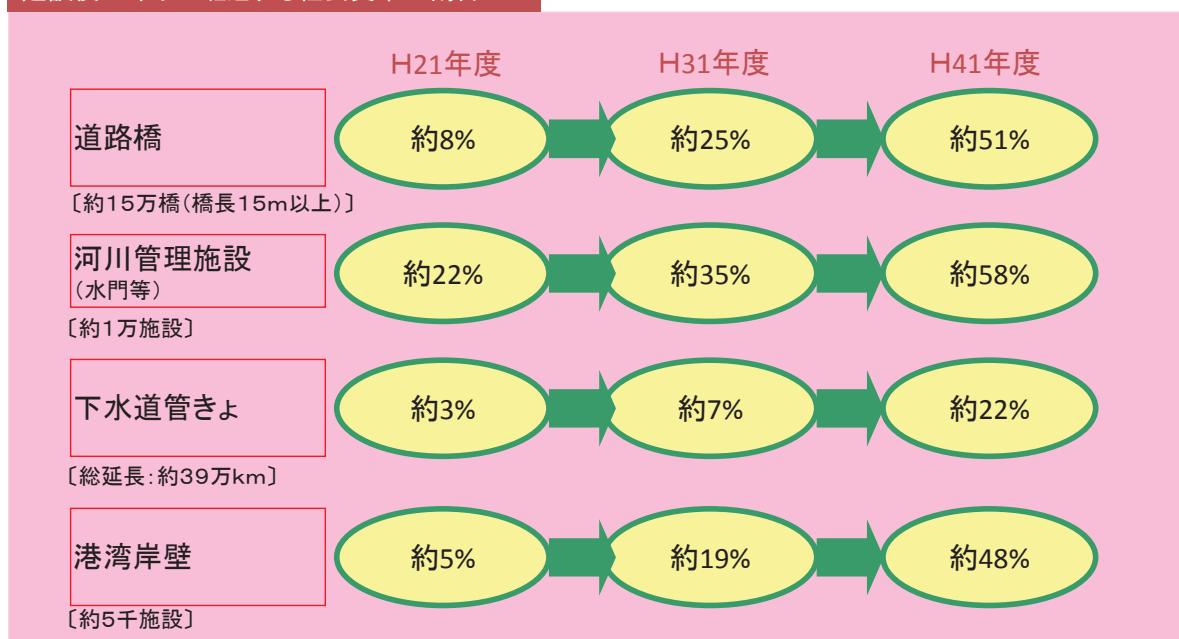
## 4. これからの地域社会／インフラ 自然資本、社会資本、制度資本

- 国家の責任
- グローバルな危機管理、安全安心
- 自立と共生、地産地消
- 陸海空連携ネットワーク
- 維持管理更新の道筋
- BIG PICTURE／選択、集中
- 首長の責任
- 都市間競争、魅力競争
- 都市の経営
- 交流・連携と集約化
- スマート、歩いて暮らせる街中
- 地域資源の保全、活用
- 環境、歴史文化、自然再生エネルギー

### 高齢化する社会資本

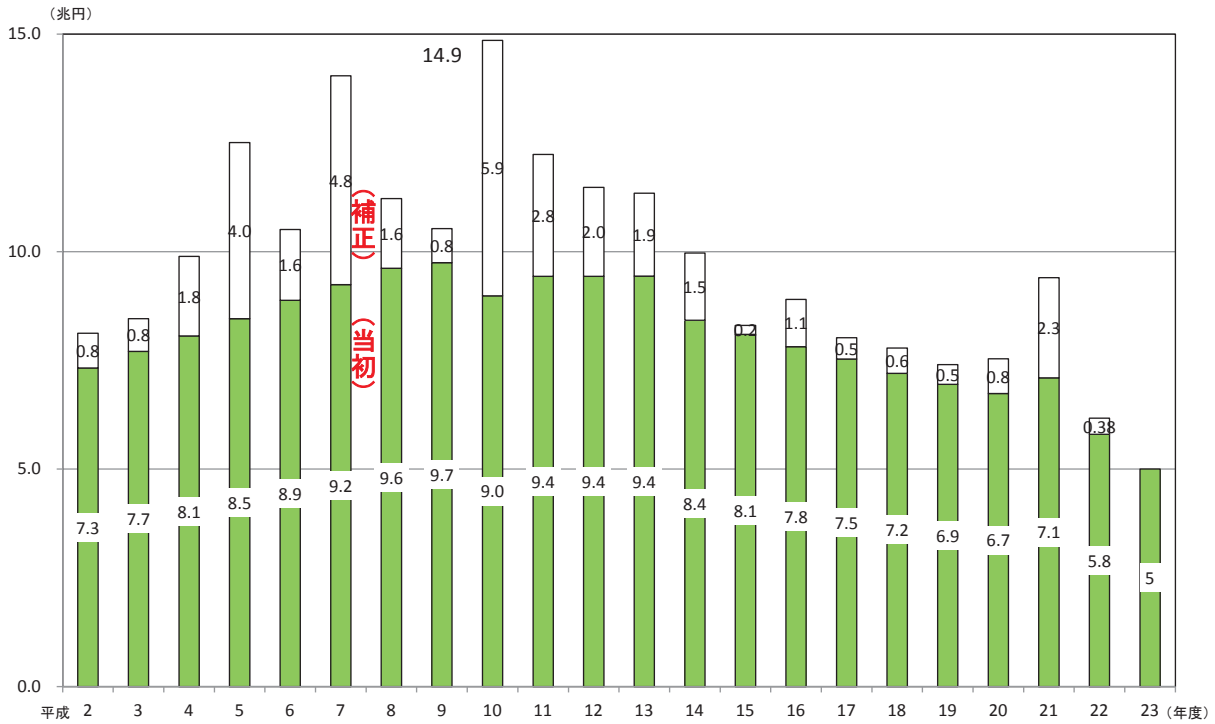
高度成長期に大量に整備された道路、河川、下水、港湾等について、社会資本全体の高齢化が急速に進行することが想定される。

建設後50年以上経過する社会資本の割合



# 公共事業関係費の推移

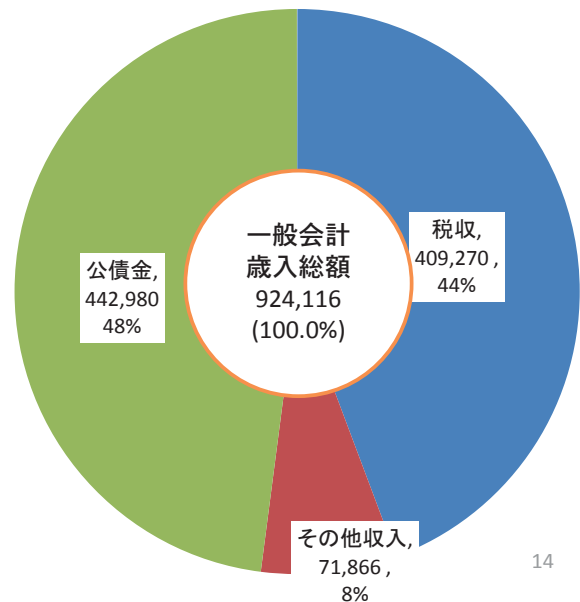
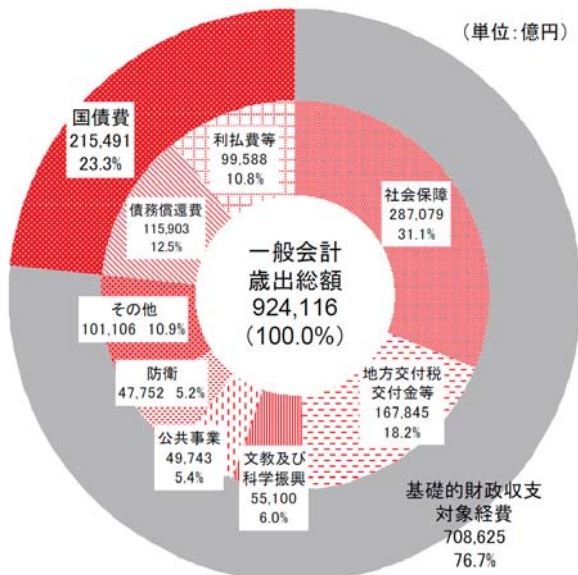
公共事業関係費は平成10年をピークに年々減少。  
 平成22年度は当初予算ベースで対前年度比18%の大幅な削減。  
 平成23年度も平成22年度からさらに14%の削減となった。



※平成21年度は、平成20年度で特別会計に直入されていた「地方道路整備臨時交付金」相当額(6825億円)が一般会計計上に切り替わったため、見かけ上は前年度よりも増加(+5.0%)しているが、この特殊要因を除けば△4.5%である。

## 平成23年度予算の概要

- ・歳出総額は平成22年度予算とほぼ同等。
  - ・社会保障費が29兆円で31%を占め、昨年度に比べ1.5兆円増。
  - ・公共事業関係費は5兆円で5.4%を占め、昨年度に比べ0.8兆円減、
  - ・国債費が22兆円で23.3%を占め、昨年度に比べ1兆円増。
- 
- ・歳入総額92兆円のうち、44兆円(48%)が公債金であり、そのうち38兆円が赤字公債。
  - ・その他収入には、(独)鉄運機構の剰余金1.2兆円、財投特会の積立金1.1兆円、外為特会2.9兆円等が含まれている。



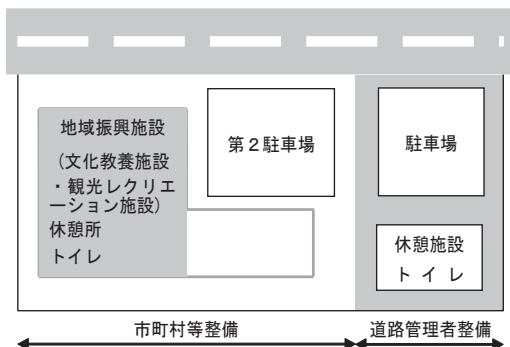
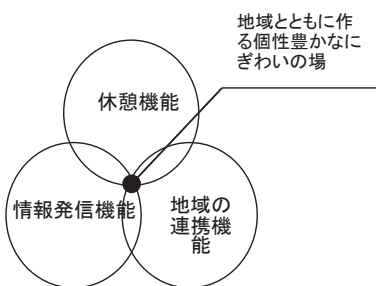
# 5. みちの文化

- 日本、道の文化
- 欧米、広場の文化
- みち
- 道
- 路
- 美知
- 未知
- 道の多様な機能
- 道の駅
- 休憩、情報、地域経済・交流、防災
- シーニックバイウェイ
- 日本風景街道

## 道の駅の取組み

■道の駅は、道路の沿線に駐車場やトイレなどの「休憩機能」、道路情報や地域に関する情報を発信する「情報発信機能」、交流を促進する「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ施設として誕生しました。（平成23年7月現在、970駅が登録）

### 【道の駅のイメージ】



### 【道の駅の事例】

「夕張メロード」北海道夕張市(平成23年3月登録)



JR新夕張駅隣接  
普通車34台収用  
最新の登録18駅の1つ



「大栄」鳥取県北栄町(平成5年4月登録)

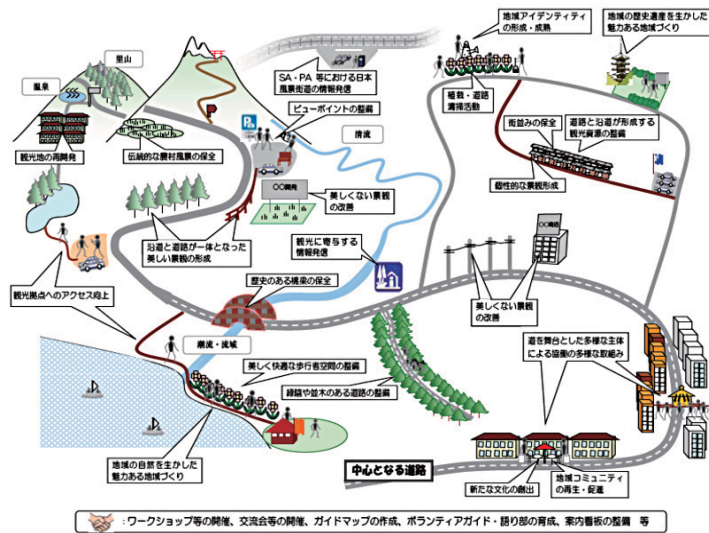


普通車149台・大型車20台収用  
第1回登録103駅の1つ

## 日本風景街道の取組み

■郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を支援（平成22年8月末現在、119地区が登録）

### 【日本風景街道のイメージ】



### 【取組み例】シーニックバイウェイ北海道 ～大雪・富良野ルート～



支障物件(看板)の撤去



ルートで連携したゴミ清掃「ゴミゼロキャンペーン」



花で修景された沿道景観



シーニックデッキ  
(景観テラス)の設置

## 6. 三遠南信の新ステージに向け

- 古くから交流、天竜川流域、秋葉街道、三州街道
- 三遠南信道路の進捗
- 第二東名の進捗
- 中央リニアの進捗
- 安全安心な地域づくりを目指して

# 古くからの交流（天竜川流域・秋葉街道・三州街道）

三遠南信地域の歴史的なつながり

- 三州街道（飯田街道）、秋葉街道（遠州街道）は、「塩の道」と呼ばれ地域間交流が活発
  - 天竜川・豊川流域は、生活品、鉱石等の舟運による物流により深い結びつき
- ⇒ 文化、経済、信仰など様々な分野において独自の生活文化圏を形成



筏下りの状況

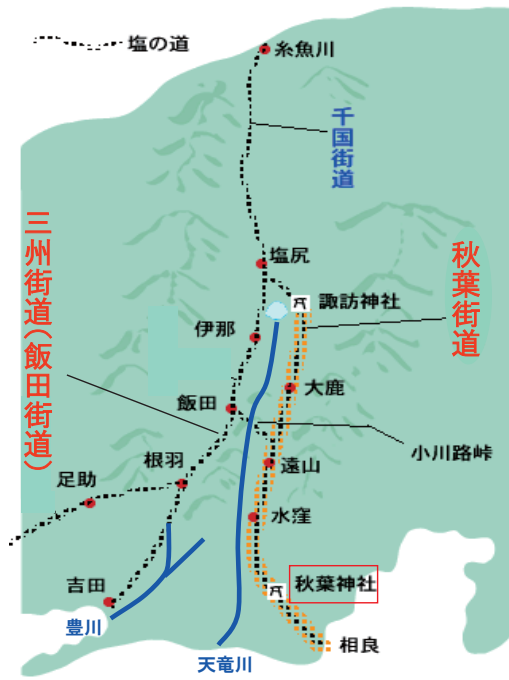


鉱物輸送船（久裡鉱山の帆かけ舟）

天竜川の舟運（鷲流峡付近）



荷物を運ぶ中馬



霜月祭り（飯田市上村）



秋葉神社（浜松市三郷町）

## 三遠南信自動車道の進捗

三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路 鳳来IC～引佐北IC間 平成23年度供用予定

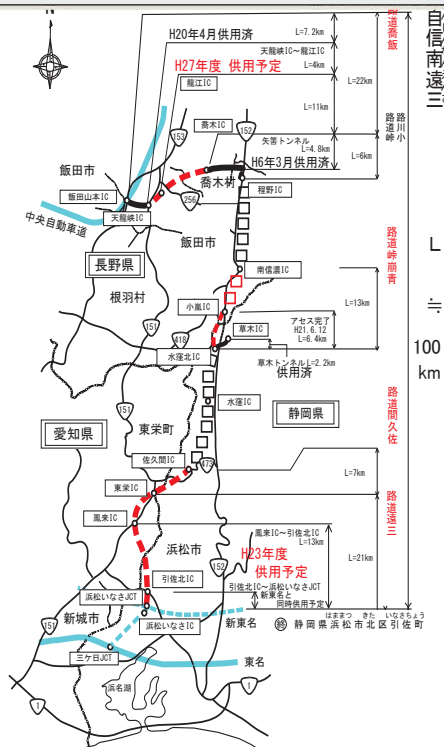
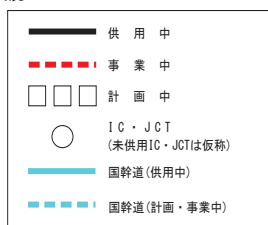
- 災害に強い地域ネットワークの構築 → 三連動地震等に備えた信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 高速サービスの向上による地域間連携の強化 → 新東名とつながり、南信地域と名古屋・静岡圏との交流活発化
- 地域医療サービスの向上 → 第三次救急医療施設へ60分以内での搬送が可能



三遠道路施工状況



飯橋道路施工状況



### 全線完成時の整備効果

飯田市⇄浜松市

【整備前】4時間

【整備後】2時間

整備後は、三遠南信自動車道及び東名高速道路を利用。

### 鳳来IC～引佐北IC供用時の整備効果

佐久間病院（第二次医療施設）

【整備前】75分

【整備後】45分

聖隷三方原病院（第三次医療施設）

整備後は、三遠南信自動車道及び東名高速道路を利用。

# 新東名高速道路の進捗

御殿場JCT～三ヶ日JCTの開通は、平成24年初夏。浜松いなさJCT～豊田東JCTの開通は、平成26年度。

- ダブルネットワーク化による信頼性の向上
- 日本の大動脈としての三大都市圏の連携強化
- 現東名の抜本的サービス改善

→現東名と相互補完・連携により道路の信頼性の向上  
 →最短ルートを選択により社会経済活動の活発化に寄与  
 →交通量に見合った交通容量の確保により、快適な道路空間を確保



# 中央リニアの進捗

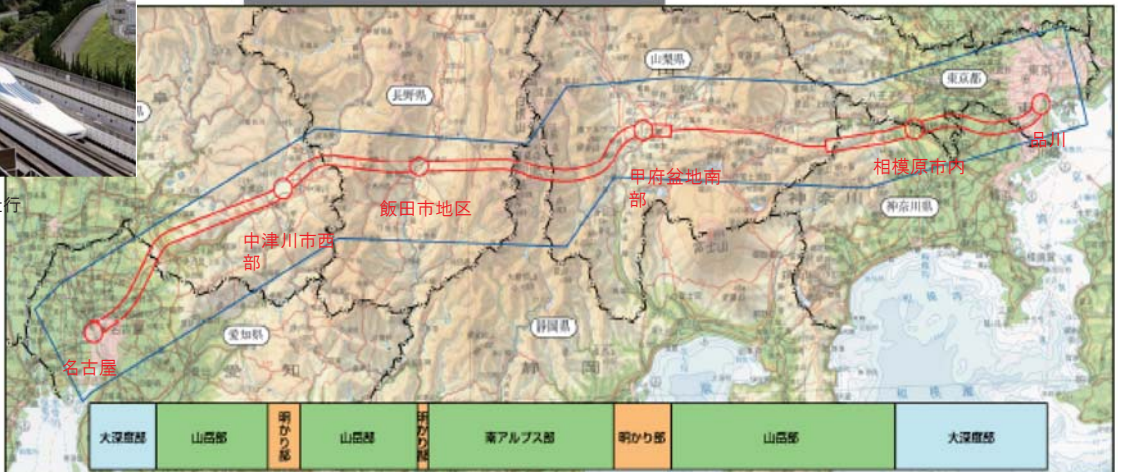
東京都～名古屋市間 2027年(平成39年)開業目標

- 三大都市圏を高速かつ安定的に直結 → 東京～名古屋：所要時間40分。東海道新幹線との大動脈の二重化。
- 三大都市圏以外の沿線地域の振興 → 自然に恵まれた内陸部の沿線地域の特性を活用し、地域の魅力を向上。
- 東海道新幹線の輸送形態の転換 → のぞみが停車しない駅の利用機会の増加などによる沿線地域の活性化。
- 経緯
  - ・昭和48年11月に運輸大臣が基本計画を決定。
  - ・平成23年5月に国土交通大臣がJR東海(株)社に対して建設を指示。
  - ・平成23年6～8月計画段階環境配慮書の公表、9月環境影響評価方法書の公告縦覧開始。
  - ・平成26年度(2014年度)の着工を目標。



山梨リニア実験線での試験走行

## 対象計画区域および事業実施想定区域

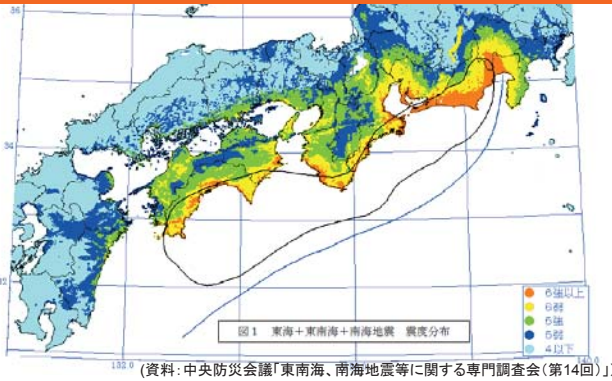


(資料:JR東海発表資料より引用)



# 安全・安心な地域づくりを目指して ～三連動地震の脅威～

## 三連動地震における震源域と震度分布



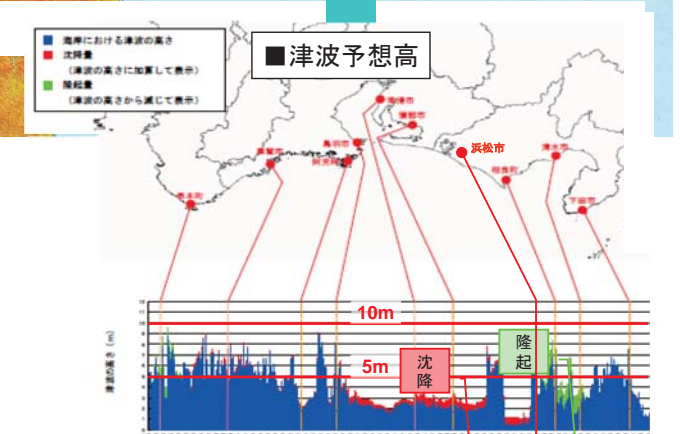
## 三連動地震による海岸部の地殻変動



## 三連動地震の被害想定(最大値)

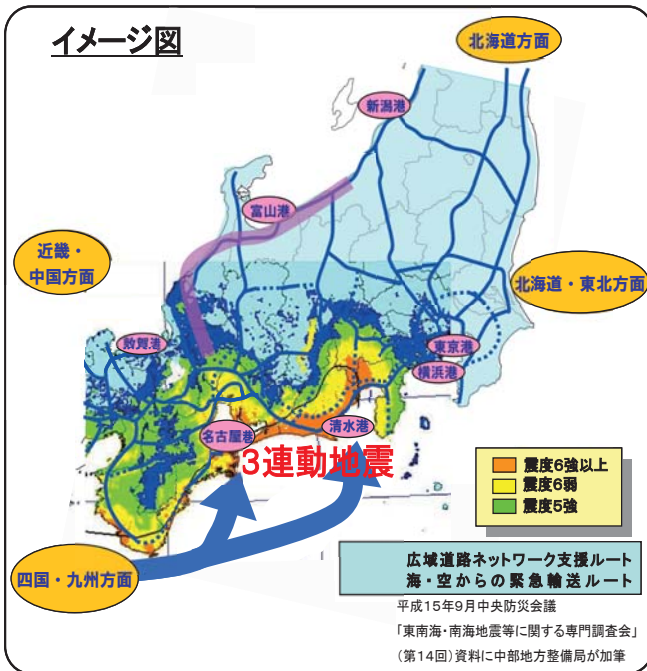
区分	東南海+南海		(参考) 東海		(参考) 東海+東南海+南海	
	死者数	全壊建物数	死者数	全壊建物数	死者数	全壊建物数
建物倒壊	6,600		6,700		12,200	
津波	8,600		1,400		9,100	
斜面災害	2,100		700		2,600	
火災	500		600		900	
合計	17,800		9,200		24,700	
罹災者	170,200		170,000		308,500	
液状化	83,100		26,000		89,700	
津波	40,400		6,800		42,300	
斜面災害	21,700		7,700		27,200	
火災	313,200		250,000		472,500	
合計	628,700		460,000		940,200	
直接被害	43兆		26兆		60兆	
間接被害	14兆		11兆		21兆	
合計	57兆		37兆		81兆	

(注) 1 数字は概数。内訳と合計は必ずしも一致しない。  
死者数は午前5時発生、全壊建物数は午後6時発生を想定。  
2 東海:中央防災会議「東海地震対策専門調査会」平成15年3月18日公表  
東南海+南海:中央防災会議「東南海、南海地震等に関する専門調査会」9月17日公表  
東海+東南海+南海:同上

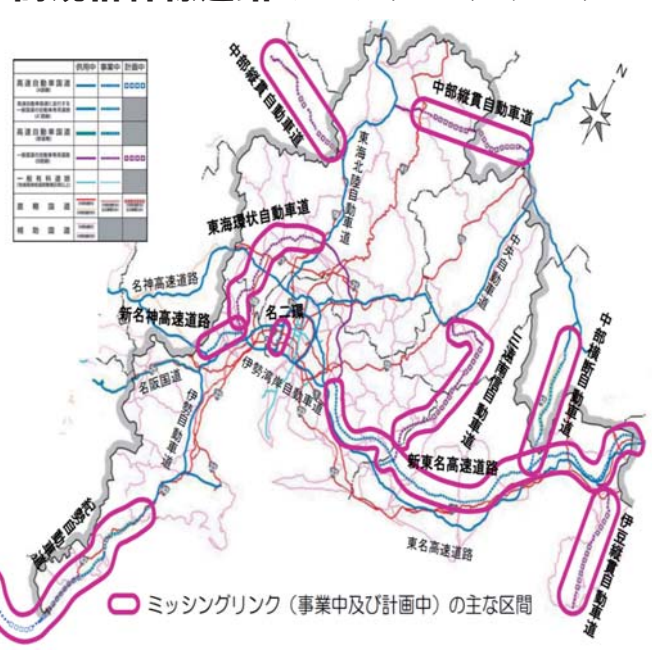


# 安全・安心な地域づくりを目指して ～東日本大震災の教訓を踏まえた、信頼性の高い道路ネットワークの確保～

## 緊急救援ルートの確保



## 高規格幹線道路のミッシングリンク



## 高規格幹線道路のミッシングリンクの解消が喫緊な課題

東日本大震災の教訓を踏まえれば、東海・東南海・南海地震に直面する中部地方において、信頼性の高い道路ネットワーク整備によるリダンダンシーの確保が急務であり、最優先される人命救助や救援物資輸送の観点からも、高規格幹線道路のミッシングリンクの解消が喫緊な課題。

# 安全・安心な地域づくりを目指して ～ハード・ソフトの施策を総合した津波に強い街づくり・地域づくり～

## 地域防災拠点の整備



## 避難階段の設置



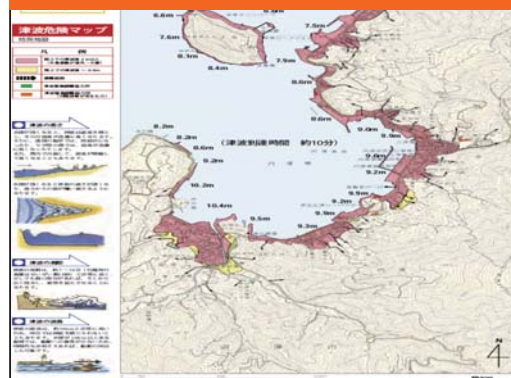
## 津波想定区域等の情報提供



## 津波避難訓練



## 津波ハザードマップ



## 地域づくりの要諦

- 湯布院、中谷健太郎氏
- 地域づくりは螺旋状、渦巻き状に発展
- いいテーマと巻き込む仕掛け
- チーム力、なでしこジャパン
- 役割と責任、コミュニケーション
- 老若男女、地域社会一丸
- 明治維新; 3千人の如く、止揚(アウフヘーベン)





# 分科会

## 資料

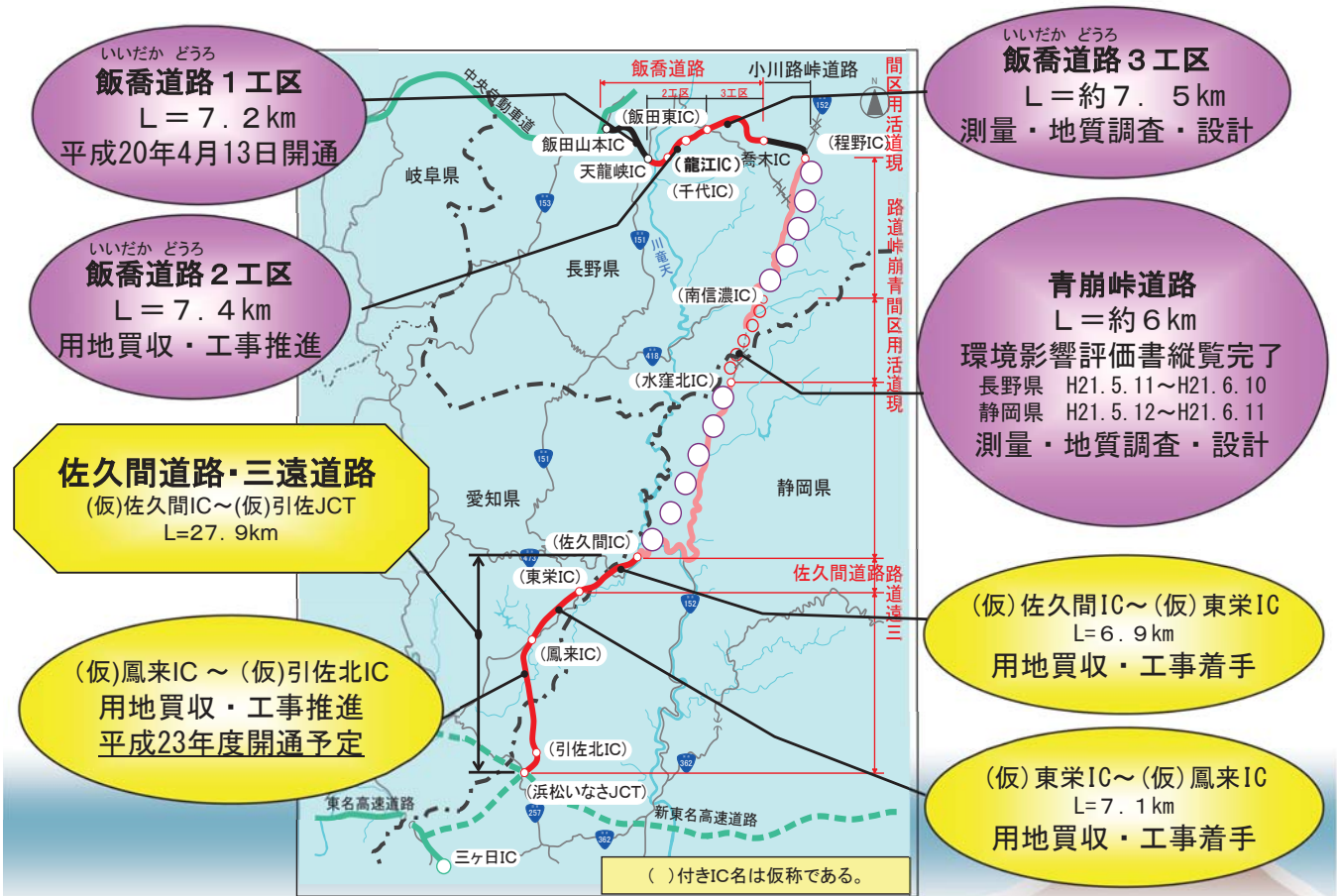


# 三遠南信自動車道の整備状況

平成23年10月24日

浜松河川国道事務所  
 所長 盛谷 明弘

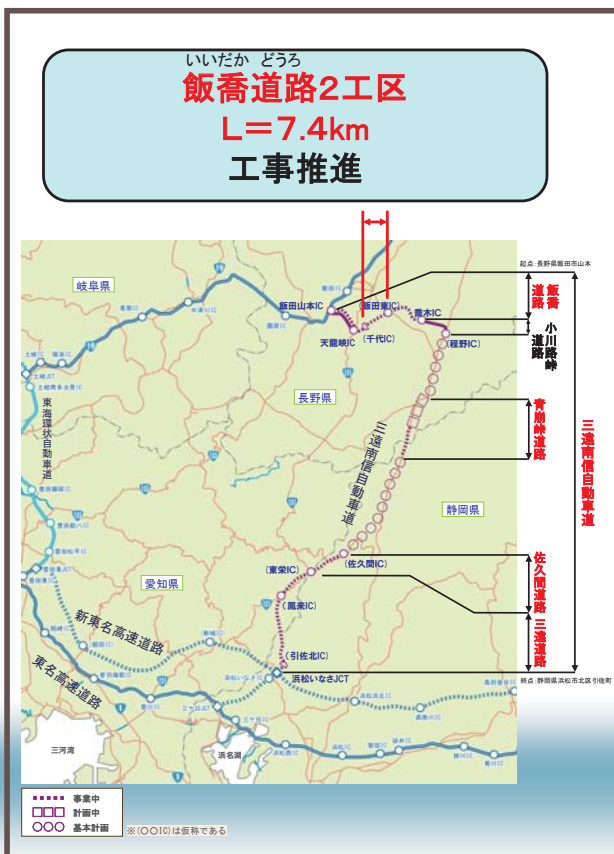
## 三遠南信自動車道【事業進捗状況】



## ◆ 三遠南信自動車道 長野県側 飯喬道路1工区



## ◆ 三遠南信自動車道 長野県側 飯喬道路2工区



# 三遠南信自動車道 長野県側 飯喬道路2工区 (進捗状況)



## ◆ 三遠南信自動車道 長野県側 飯喬道路3工区





# ◆ 三遠南信自動車道 静岡・長野県境 青崩峠道路

**青崩峠道路 L=約6km**  
 環境影響評価書縦覧完了  
 長野県 H21.5.11~H21.6.10  
 静岡県 H21.5.12~H21.6.11  
 測量、地質調査、設計

青崩峠

青崩峠付近

長野県 飯田市南信濃  
 市道南信濃156号兵越線  
 市道白倉川線  
 静岡県 浜松市天竜区水窪町  
 至 飯田  
 至 浜松  
 通行不能区間  
 国道152号  
 天龍村  
 現道活用区間  
**青崩峠道路 L=約6km**

# ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

注) IC、トンネル、橋梁名は仮称

**位置図**

静岡県 佐久間IC  
 愛知県 東栄IC  
 新東名自動車道  
 引佐北IC  
 浜松いなさJCT  
 東名高速道路  
 延長27.9km  
 平成23年度供用予定

(浜松いなさJCT~引佐北IC)

① 引佐北IC(ランプ)

三遠南信道方面  
 新東名方面  
 フランプ橋

平成23年10月撮影

② 引佐北IC(ランプ)

新東名方面

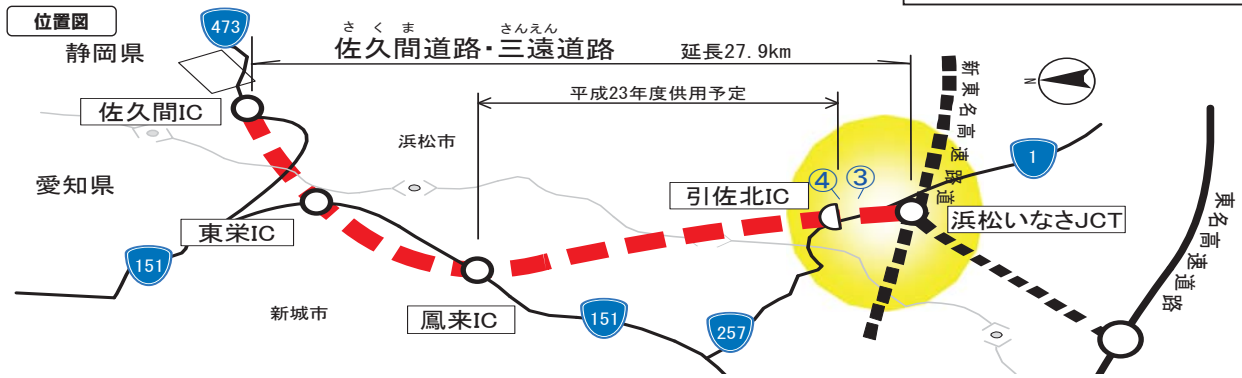
フランプ橋  
 三遠南信道方面

平成23年9月撮影

— 22 —

# ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

注) IC、トンネル、橋梁名は仮称

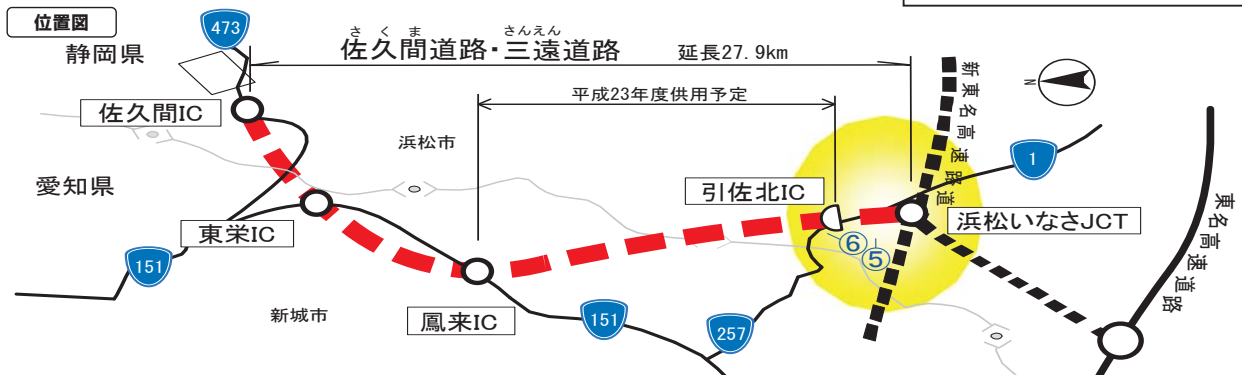


(浜松いなさJCT～引佐北IC)



# ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

注) IC、トンネル、橋梁名は仮称

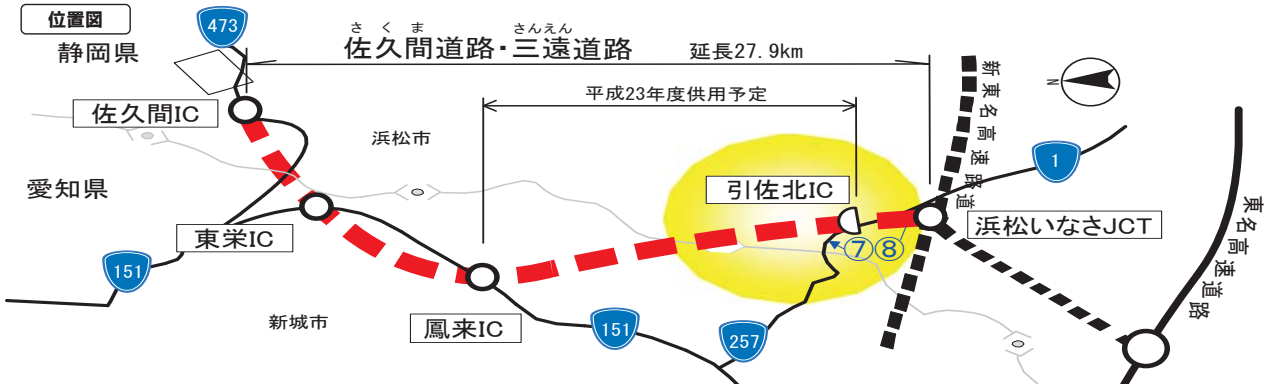


(浜松いなさJCT～引佐北IC)



# ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

注) IC、トンネル、橋梁名は仮称

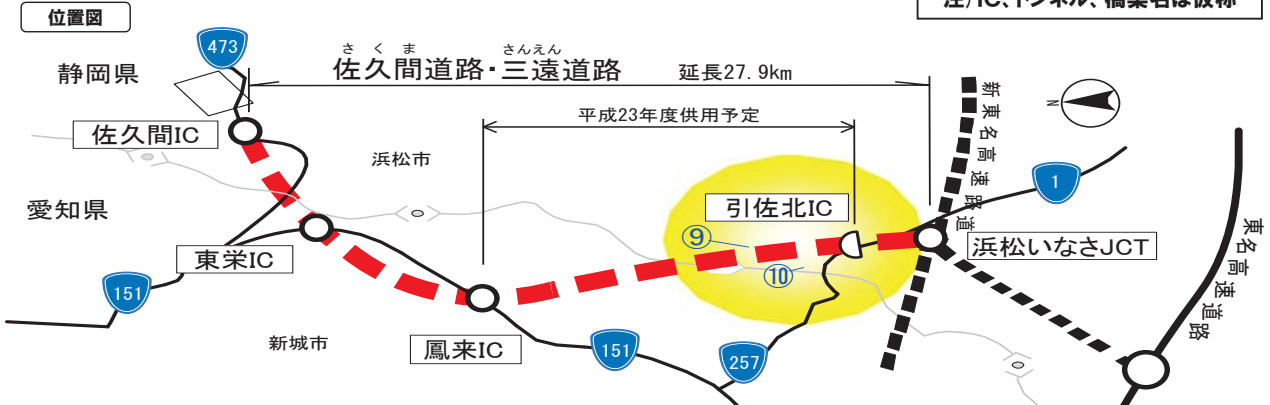


(浜松いなさJCT～引佐北IC)



# ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

注) IC、トンネル、橋梁名は仮称

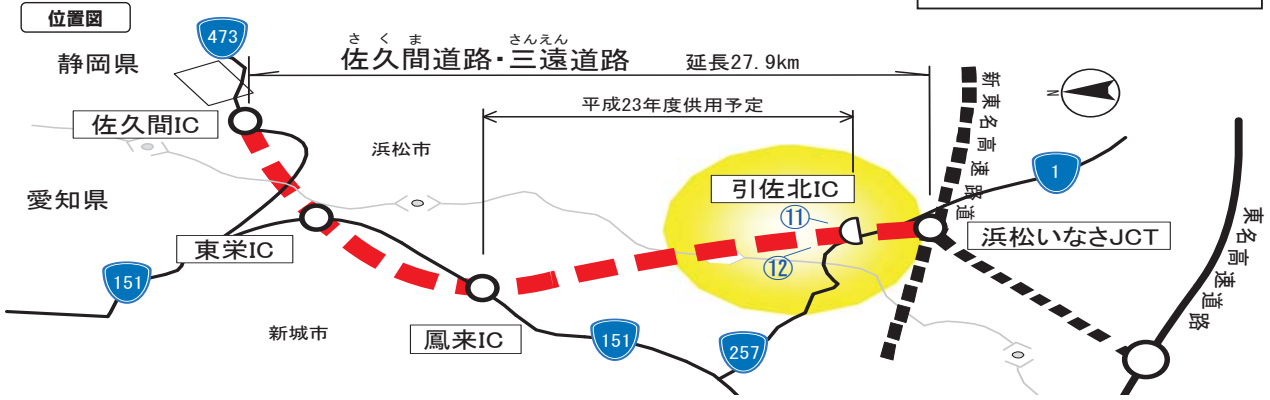


(浜松いなさJCT～引佐北IC)



# ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

注) IC、トンネル、橋梁名は仮称

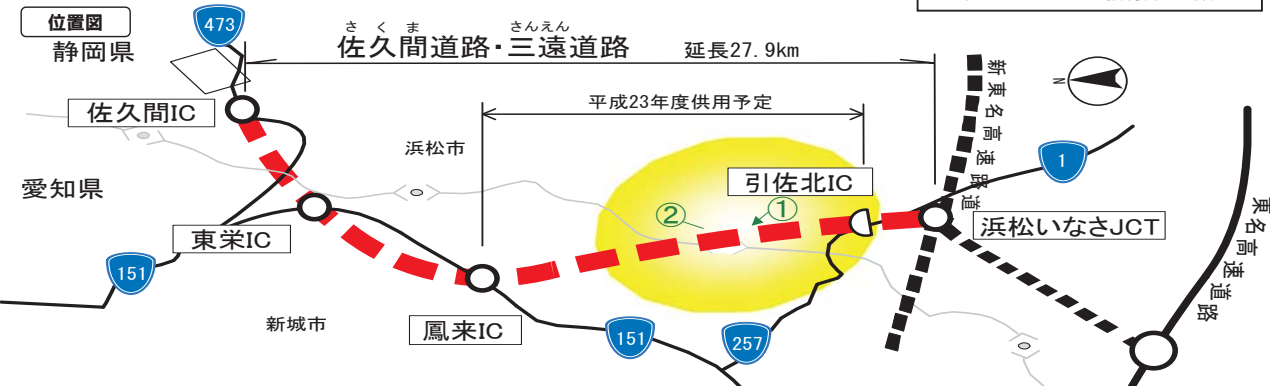


(浜松いなさJCT～引佐北IC)



# ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

注) IC、トンネル、橋梁名は仮称



(引佐北IC～鳳来IC)



## ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況



(引佐北IC～鳳来IC)



## ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

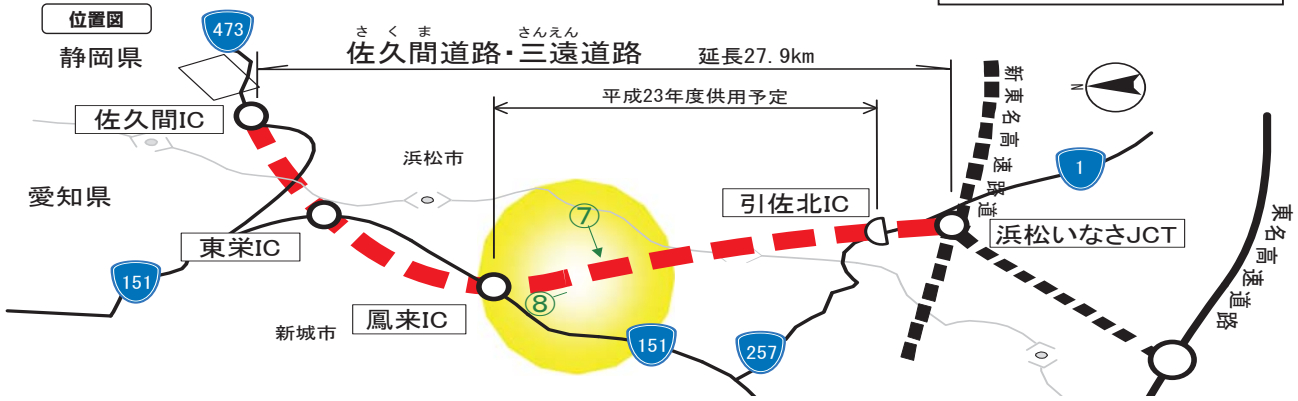


(引佐北IC～鳳来IC)



# ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

注) IC、トンネル、橋梁名は仮称



(引佐北IC～鳳来IC)

⑦ 大島地区(盛土部)

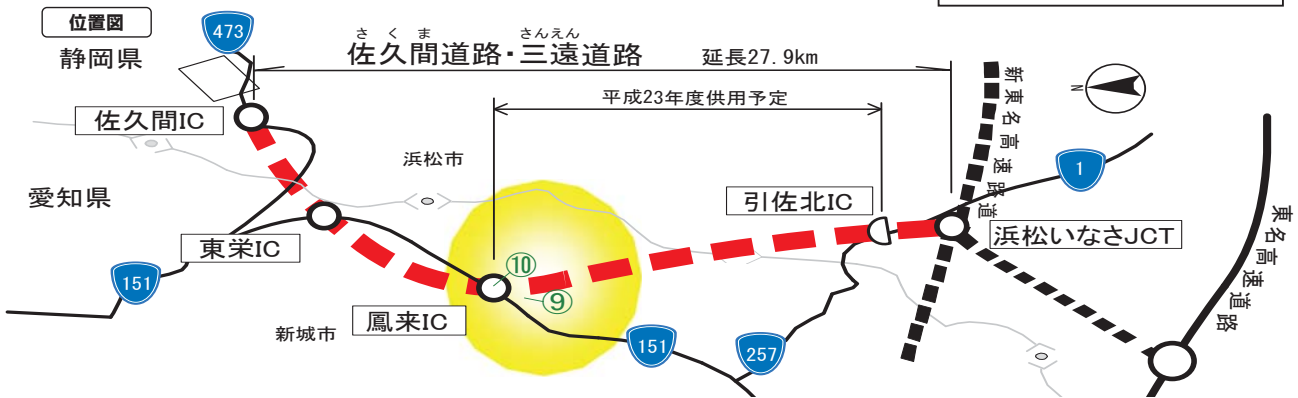


⑧ 名号高架橋



# ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

注) IC、トンネル、橋梁名は仮称



鳳来IC

⑨ 鳳来IC(本線・ランプ分岐部)

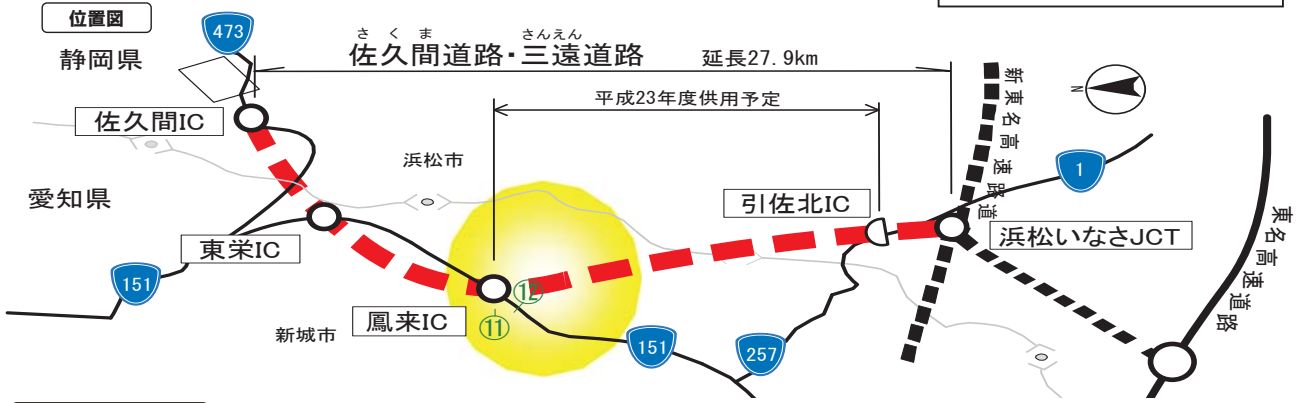


⑩ 鳳来IC(本線端末部)



# ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

注) IC、トンネル、橋梁名は仮称

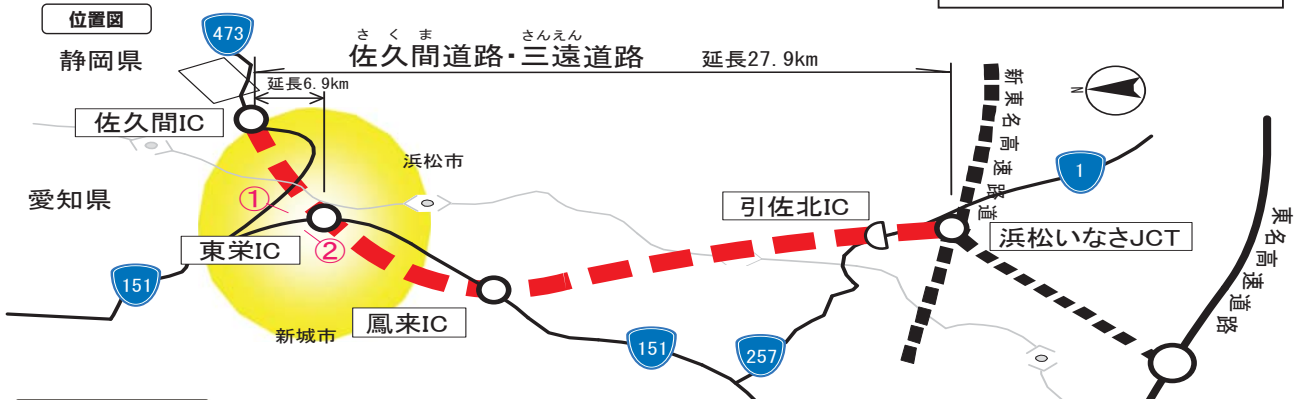


(鳳来IC)



# ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

注) IC、トンネル、橋梁名は仮称

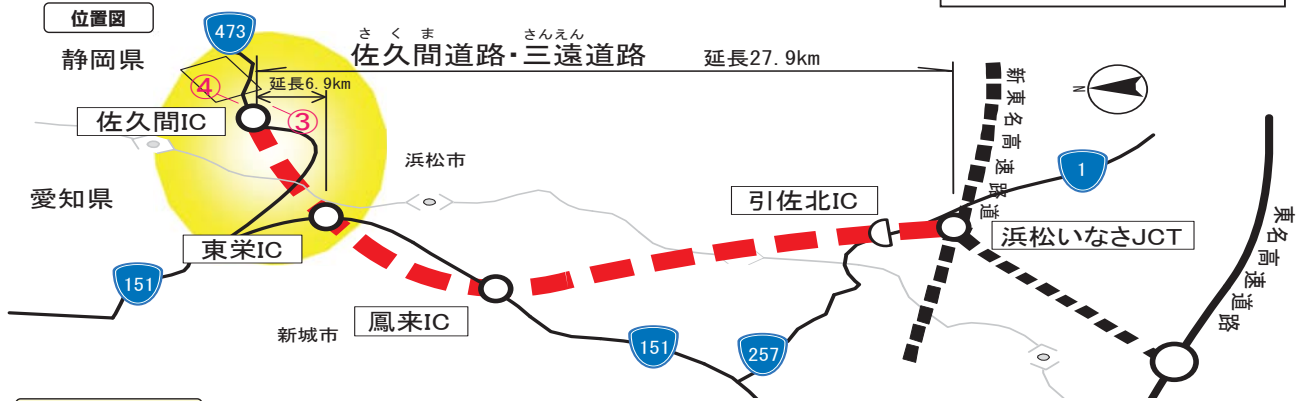


(東栄IC)



# ◆ 三遠南信自動車道 工事進捗状況

注) IC、トンネル、橋梁名は仮称



(佐久間IC)





## 政策の基本方針1：中部圏の中核となる地域基盤の形成

### ① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現

三遠南信 250 万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結び日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けた取り組みを推進します。

#### 【活動イメージ】

- ・ 三遠南信自動車道の高規格幹線道路としての全線にわたる早期整備を目指します。特に、(仮)青崩峠道路の早期開通を強く働きかけます。
- ・ 三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けて関係機関へ積極的に働きかけます。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国への要望などの活動を進めます。

### ② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実

国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した(シームレス)ネットワークを形成します。

#### 【活動イメージ】

- ・ 港湾、空港と高速道路が一体として機能できるように優先的整備を進めるため、国・県等の関係機関に働きかけるとともに、その積極的な利用に努めます。
- ・ 三河港は、世界的な自動車港湾としての機能を充実するとともに、コンテナ物流の機能を強化します。また、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路構想の実現など、高速道路へのアクセス強化、後背地と港湾を結ぶ国道 23 号バイパスの整備促進を働きかけます。
- ・ 御前崎港は、地域の物流拠点としての機能強化を図るとともに、国道 150 号や金谷御前崎連絡道路の整備を進めます。
- ・ 中部国際空港及び富士山静岡空港においては、就航本数や国内外定期便の増大など利便性の向上に向けた要望を行うとともに、交通アクセスの向上により地域の回遊性などを高め、観光客、航空貨物等の受け入れ態勢を整えます。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって国への要望などの活動を進めます。

### ③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置

リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。

#### 【活動イメージ】

- ・ リニア中央新幹線の早期実現に向けて、全国新幹線鉄道整備法の基本計画から整備計画への格上げを働きかけます。
- ・ 新しく策定される国土形成計画に、科学技術創造立国に相応しいリニア中央新幹線の整備を明確に位置づけるように働きかけます。
- ・ 関係機関と連携、協力し、建設促進の運動や要請活動、調査等を行うとともに、飯田駅実現に向けた運動に取り組みます。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国等への要望などの活動を進めます。

### ④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進

浜名湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。

#### 【活動イメージ】

- ・ 東名高速道路、国道1号・23号バイパス、国道151号、国道152号バイパス、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路を結び合わせることで、豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。
- ・ 東名高速道路部分については、第二東名高速道路に長距離交通が転換すると考えられ、スマートインターなどを活用して、利用を促進します。
- ・ 豊橋・浜松環状道路を取り巻く地域に対して、県境を越えた広域的な視点（広域調整）により都市構造やインフラなどの資本ストックを有機的に結び付けた基盤整備を進めます。特に広域都市の中心部に位置し、交流や居住など多様な可能性を有する浜名湖ゾーンの活用を図ります。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、整備方針を検討します。

## ⑤ 県境を越えるマスコミの連携

三遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。

### 【活動イメージ】

- ・ 三遠南信地域内の情報連携の基盤として、各マスコミの連携に向けた意見交換を促進します。
- ・ 県境近接地域での、医療情報等の生活情報の連携を働きかけます。
- ・ 「三遠南信版」の紙面確保や共同ポータルサイトの可能性検討、情報交換を働きかけます。
- ・ 県境を越えるCATVの番組流通や、県境隣接地域での他県の民間テレビ電波の受信の緩和を働きかけます。

### 【推進主体とその活動】

- ・ マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会、市民団体などと意見交換を行い、連携活動を検討します。

第 I 期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	1				
区分	道				
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成				
項目	1-①				
推進方針	三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現				
主要施策	三遠南信250万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結ぶ日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現に向けた取り組みを推進します。				
年度	平成21年度 2009.4~2010.3	平成22年度 2010.4~2011.3	平成23年度 2011.4~2012.3	平成24年度以降 2012.4~	
工程表	● 期成同盟会等を通じた国等への働きかけ		(三遠南信自動車道：鳳来IC-引佐JCT間開通予定) (三遠南信自動車道 現道区間：国道152号 向井万場拡幅(豆嵐橋、豆嵐トンネル)開通予定)		三遠南信自動車道の平成20年代後半の全線開通を目指す
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会によるPR活動（19年度～）</li> <li>○ 三遠南信道路建設促進期成同盟会（3県・市町村）による国土交通省等への要望活動（H21.6.15、H21.12.1、H22.6.4、H22.12.14、H22.12.17、H23.6.14）</li> <li>○ 三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進協議会による要望活動（H21.6.23、H22.11.16、H23.6.28）</li> <li>○ 三遠南信道路建設促進遠州地域期成同盟会による要望活動（H21.6.23、H22.6.4、H23.7.7）</li> <li>○ 三遠南信道路建設促進南信地域期成同盟会による国土交通省等への要望活動（H21.6.25、H22.6.24、H23.7.7）</li> <li>○ 三遠南信地域経済開発協議会の三遠南信自動車道早期開通キャンペーン（H21.9.9）</li> <li>○ 3市（浜松・豊橋・飯田）による国土交通省への要望活動（H21.10.27、H22.12.3）</li> <li>○ 三遠南信自動車道早期開通期成同盟会の3会議所による要望活動（H21.12.2、H21.12.3、H22.12.16）</li> <li>○ 伊勢湾口道路建設促進期成同盟会の活動（H21.7.21）</li> <li>○ 飯高道路3工区建設促進期成同盟会の設立（H23.6.2）</li> <li>○ 浜松市による国への国直轄による早期事業化の要望活動（H23.7.7）</li> </ul>				
推進主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt; 各期成同盟会、三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進協議員協議会 &gt;</li> <li>&lt; 商工会議所・商工会、自治体 &gt;</li> </ul>				

第 I 期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	2			
区分	道			
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成			
項目	1-②			
推進方針	三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実			
主要施策	国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した（シームレス）ネットワークを形成します。			
年度	平成21年度 2009.4~2010.3	平成22年度 2010.4~2011.3	平成23年度 2011.4~2012.3	平成24年度以降 2012.4~
工程表				
実施内容	<p>協議会等を通じた国への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会による要望活動 (H21.6.23)</li> <li>○ 国道23号豊橋・豊橋東バイパス建設促進協議会による要望活動 (H21.7.6、H21.7.8、H22.8.25)</li> <li>○ 国道23号蒲郡バイパス建設促進協議会による要望活動 (H21.7.1、H22.7.6、H23.8.18)</li> <li>○ 名豊道路建設促進協議会による要望活動 (H21.7.6、H21.7.8、H22.8.25、H23.8.17)</li> <li>○ 東三河縦貫道路建設促進期成同盟会による要望活動 (H21.7.6、H21.7.8、H22.8.25、H23.8.17)</li> <li>○ 三河港振興会による整備促進等の要望活動 (H21.6.30、H21.7.8、H21.10.5、H22.2.2、H22.4.19、H22.7.26、H23.5.11、H23.7.7)</li> <li>○ 静岡県西部8市長による静岡県への要望活動 (H22.1.4)</li> <li>○ 遠州地域御前崎港利活用推進協議会による国土交通省への要望活動 (H22.4.28)</li> <li>○ 御前崎港整備促進期成同盟会、御前崎振興会による国土交通省への要望活動 (H23.2.7)</li> </ul>			
推進主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt; 各期成同盟会、三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会 &gt;</li> <li>&lt; 商工会議所・商工会、自治体 &gt;</li> </ul>			

第 I 期重点プロジェクト工程表

No.	3
区分	道
政策の基本方針 項目	中部圏の中核となる地域基盤の形成 1-③
推進方針	リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置
主要施策	リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。
年度	平成21年度 2009.4~2010.3
工程表	平成22年度 2010.4~2011.3
	平成23年度 2011.4~2012.3
	平成24年度以降 2012.4~
実施内容	<p>○第17回三遠南信サミット2009 in 東三河のサミット宣言において「新たな東西軸を形成するリニア中央新幹線飯田駅の設置に向けて、SENAを中心に、地域一丸となって提案活動を進める。」と宣言 (H20~)</p> <p>○リニア中央新幹線飯田駅設置推進協議会 (H20.9設置) 募金開始 (H22.4~)</p> <p>(構成員7団体：商工会議所・商工会、経済団体、金融機関ほか)</p> <p>○リニア中央新幹線飯田駅設置推進協議会による夢のリニア中央新幹線セミナー開催 (4回)</p> <p>○飯田市によるリニア中央新幹線飯田駅整備推進基金設置 (H22.4~)</p> <p>○リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会によるリニア中央新幹線飯田駅設置総決起大会 (H22.5.8)</p> <p>(同盟会構成員：市町村、経済界、議会ほか) 総決起大会の開催に当たりSENA会長メッセージを送る。</p> <p>○リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会によるシンポジウムの開催 (H23.3.6、H23.9.10)</p> <p>○リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会によるJR東海との面談及び要望書の提出 (H23.6.9)</p> <p>○リニア中央新幹線建設促進長野県協議会による国土交通省への要望書提出 (H23.7.13)</p> <p>○リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会によるJR東海への意見書提出及び協議 (H23.9.7)</p>
推進主体	< 期成同盟会、商工会議所・商工会、自治体 >

第 I 期重点プロジェクト工程表

No.	4
区分	道
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成
項目	1-④
推進方針	豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進
主要施策	浜湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。
年度	平成21年度 2009.4～2010.3 平成22年度 2010.4～2011.3 平成23年度 2011.4～2012.3 平成24年度以降 2012.4～
工程表	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会による要望活動 (H21.6.23)</li> <li>○国道23号豊橋・豊橋東バイパス建設促進協議会の要望活動 (H21.7.6、H21.7.8、H22.8.25)</li> <li>○名豊道路建設促進協議会の要望活動 (H21.7.6、H21.7.8、H22.8.25、H23.8.17)</li> <li>○東三河縦貫道路建設促進期成同盟会の要望活動 (H21.7.6、H21.7.8、H22.8.25、H23.8.17)</li> <li>○新東名高速道路の整備促進の働きかけ             <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度 御殿場JCT-引佐JCT間 開通予定</li> <li>平成26年度 引佐JCT-豊田東JCT間 開通予定</li> </ul> </li> <li>○引佐連絡道路の整備促進の働きかけ             <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度 引佐JCT-三ヶ日JCT間 開通予定</li> </ul> </li> </ul>
推進主体	< 自治体、商工会議所・商工会 >

第 I 期重点プロジェクト工程表

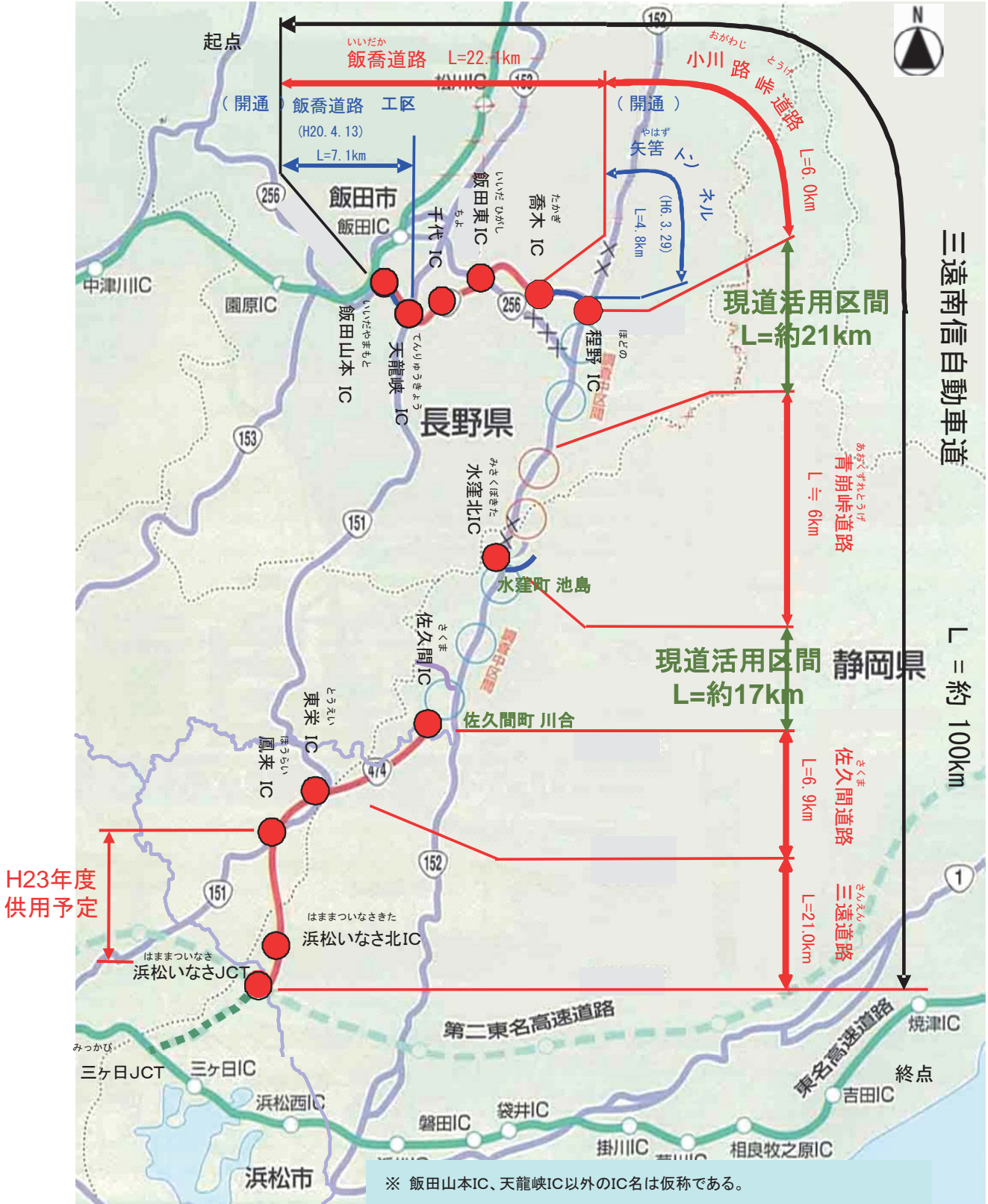
平成23年10月24日時点

No.	5
区分	道
政策の基本方針 項目	中部圏の中核となる地域基盤の形成 1-⑤
推進方針	県境を越えるマスコミの連携
主要施策	二遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。
年度	平成21年度 2009.4~2010.3 平成22年度 2010.4~2011.3 平成23年度 2011.4~2012.3 平成24年度以降 2012.4~
工程表	<p>情報提供の継続</p> <p>三遠南信地域のマスコミによる 意見交換、情報交換形態の検討</p>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「エフエムHaro」・「エフエム豊橋」・「飯田エフエム」3局合同番組の放送（通年）</li> <li>○テレビ局関係者とのメディア連携に関する意見交換（H22.4.27）</li> <li>○中日新聞「三遠南信紀行」への情報提供（21年度6回、22年度4回、23年度2回）</li> <li>○中日新聞による「東三河・南信」レターの新聞掲載（毎週日曜日）</li> <li>○南信州新聞による「三遠南信見聞録」の新聞掲載（毎月）</li> <li>○信濃毎日新聞社による「三遠南信をテーマとした連載」（随時）</li> <li>○浜松市・豊橋市・飯田市広報紙による情報掲載（毎月）・合同企画（2年に1回:H22.3月）</li> </ul>
推進主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜ 自治体、商工会議所・商工会、新聞社、テレビ・ラジオ放送局 ＞</li> <li>マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会などと意見交換を行い、連携活動を検討します。</li> </ul>



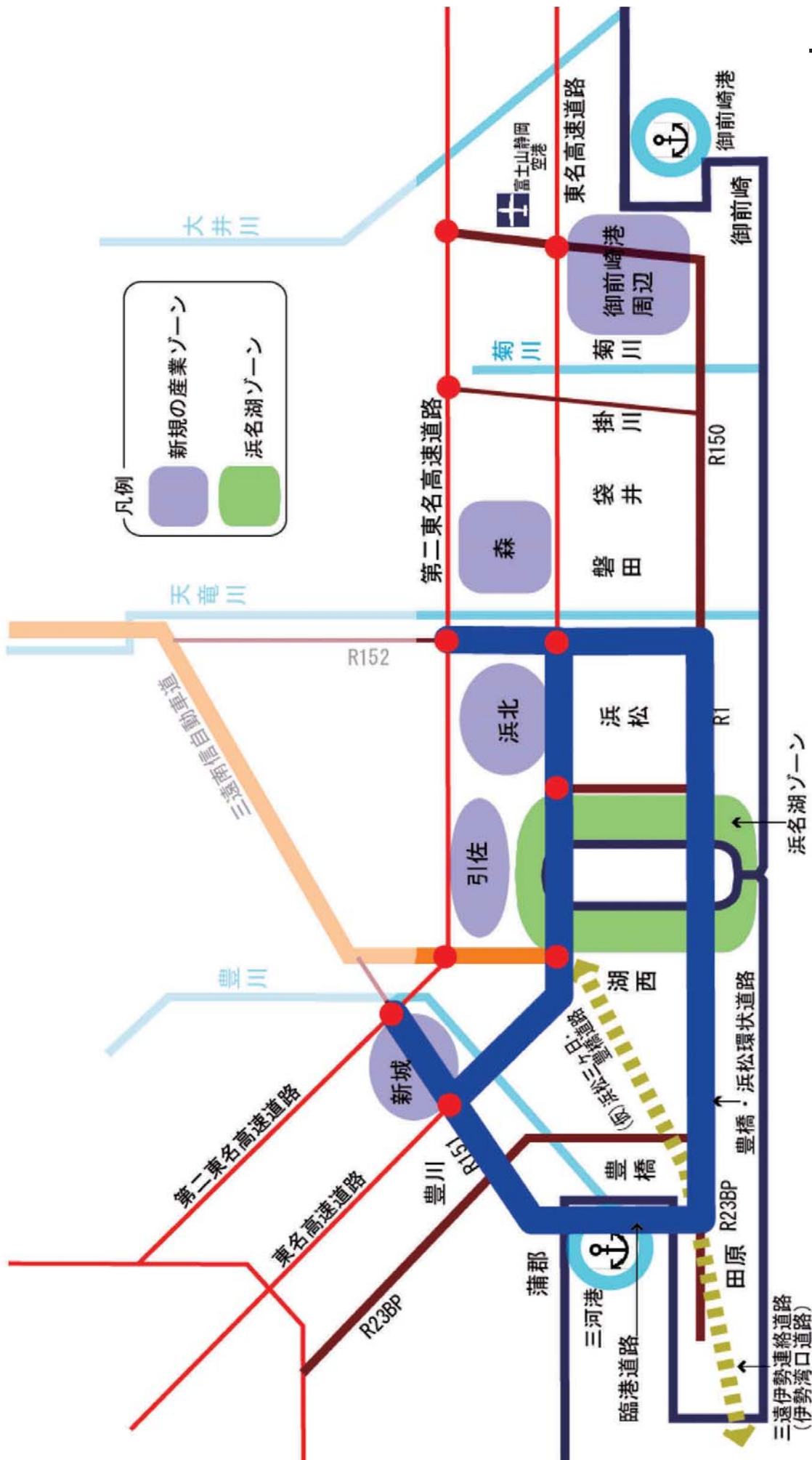
# 三遠南信自動車道

1-①  
資料



※ 飯田山本IC、天龍峡IC以外のIC名は仮称である。

浜松市土木部道路課  
三遠南信自動車道全体図



三遠南信地域連携ビジョン 図表3-7三遠都市帯

中央新幹線建設促進の経過

年月日	内容
平成21年7月21日	鉄道・運輸機構及びＪＲ東海が、「中央新幹線の維持運営費、設備更新費、輸送需要量」を公表
平成21年7月28日	国土交通省超電導磁気浮上式鉄道実用技術評価委員会が、営業線に必要となる技術が網羅的、体系的に整備され、今後詳細な営業線仕様や技術基準等の策定を具体的に進めることが可能と判断
平成21年10月13日	鉄道・運輸機構及びＪＲ東海が、「中央新幹線 東京都・大阪市間のデータ」を公表
平成21年12月24日	鉄道・運輸機構及びＪＲ東海が、中央新幹線（東京都・大阪市間）調査報告書を国土交通省へ提出
平成22年2月24日	国土交通大臣が交通政策審議会に対し、「中央新幹線の営業主体及び建設主体の指名並びに整備計画の決定について」諮問
平成22年4月28日	ＪＲ東海が、開業時期について、東京都～名古屋市附近間は平成39年、大阪市までは平成57年となる長期試算の見通しを公表
平成22年5月8日	リニア中央新幹線飯田駅設置総決起大会（主催：リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会）
平成22年8月27日	三遠南信地域交流ネットワーク会議、三遠南信地域経済開発協議会、南信州広域連合、南信州広域連合協議会がそれぞれ国土交通省に対し、中央新幹線計画に関するパブリックコメントを提出
平成22年11月24日	南信州広域連合がリニア将来ビジョンを策定
平成23年1月14日	三遠南信地域交流ネットワーク会議、南信州広域連合、南信州広域連合協議会が国土交通省に対し、中央新幹線小委員会中間とりまとめに関するパブリックコメントを提出
平成23年3月6日	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会が「リニアを見据えた地域づくりシンポジウム」を開催
平成23年5月12日	交通政策審議会が国土交通大臣へ「中央新幹線の営業主体及び建設主体の指名並びに整備計画の決定について」答申
平成23年5月20日	国土交通大臣が、営業主体及び建設主体としてＪＲ東海を指名
平成23年5月26日	国土交通大臣が、中央新幹線の建設に関する整備計画を決定
平成23年5月27日	国土交通大臣が、ＪＲ東海に対し建設を指示
平成23年6月7日	ＪＲ東海が、「中央新幹線（東京都・名古屋市間）計画段階環境配慮書」（長野県区間を除く）を公表
平成23年8月5日	ＪＲ東海が、長野県区間を補完した「中央新幹線（東京都・名古屋市間）計画段階環境配慮書」を公表
平成23年8月26日	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会、南信州広域連合、南信州広域連合協議会が環境配慮書に対してパブリックコメント提出
平成23年9月10日	リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会が「リニア中央新幹線を活かした地域づくりシンポジウム」を開催
平成23年9月27日	ＪＲ東海が、「中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価方法書」を公告



浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会  
浜松三ヶ日・豊橋道路マップ





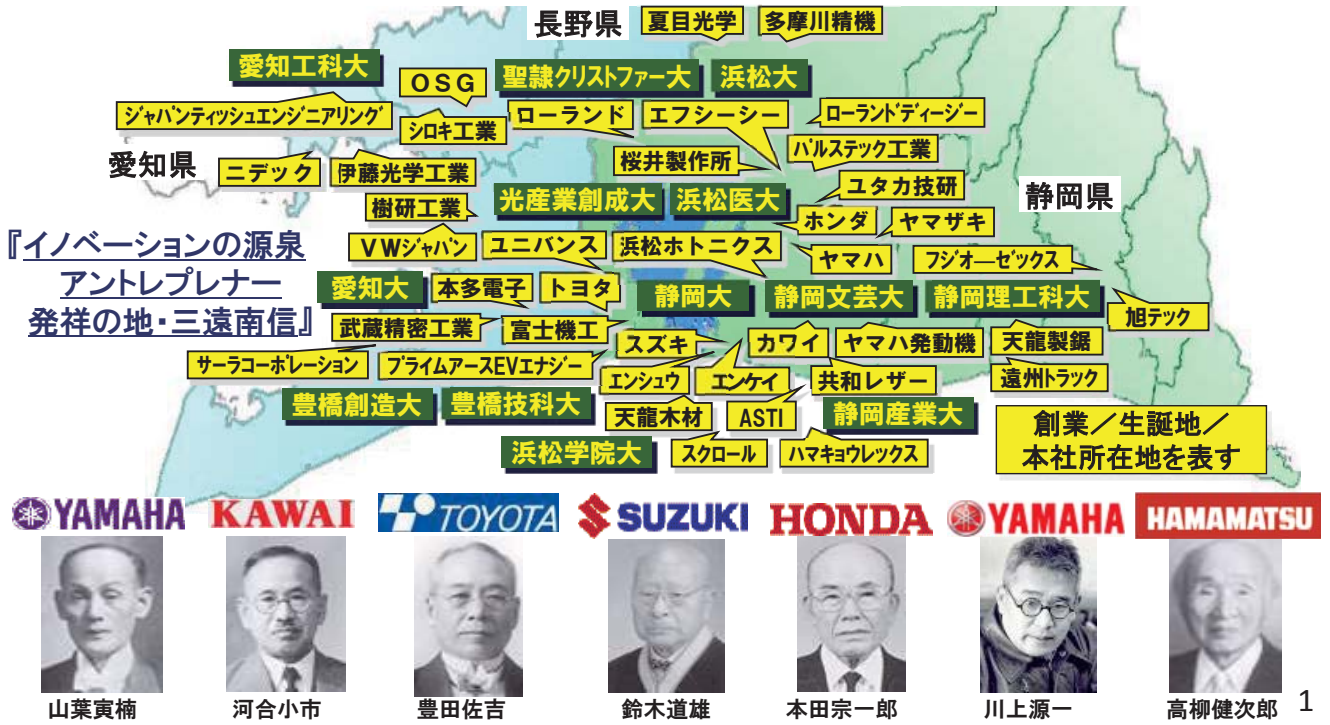
# 分科会

## 資料



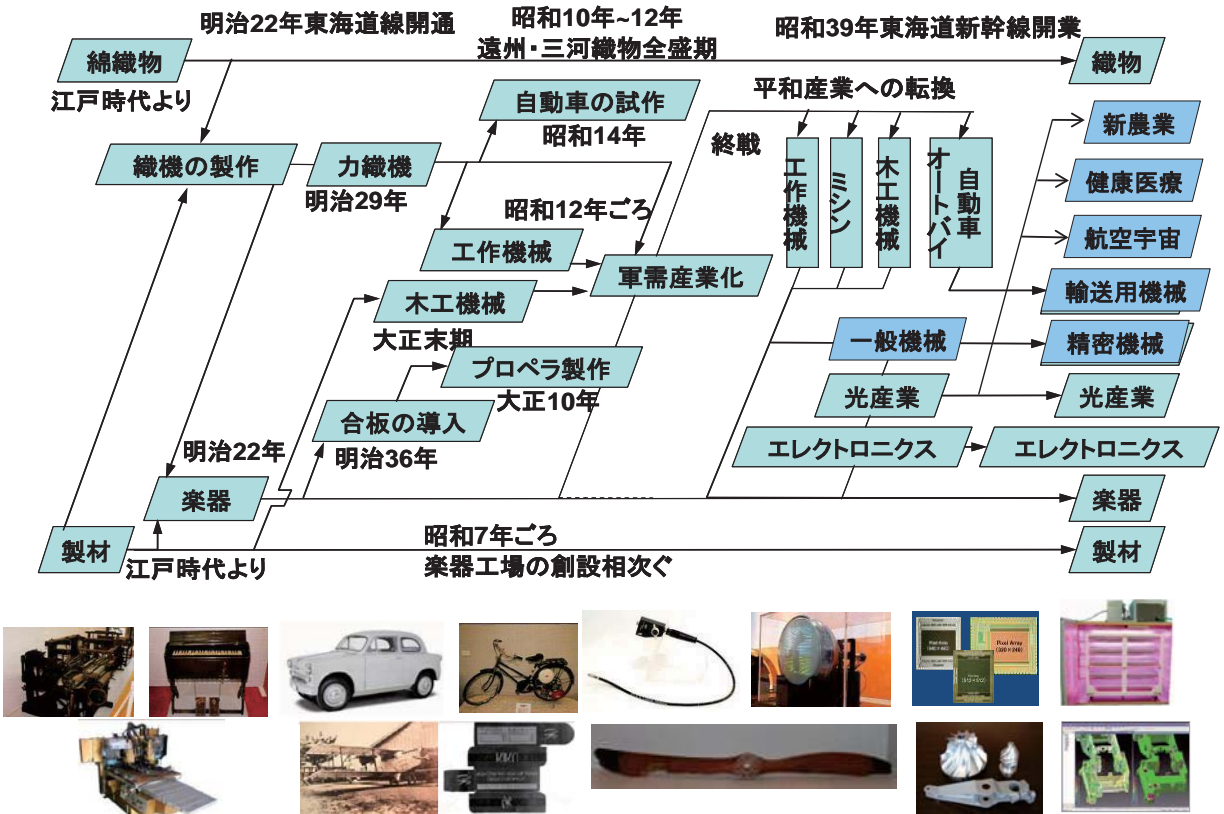
# 三遠南信発！ 産業イノベーション

三遠南信(浜松市・豊橋市・飯田市)地域産業集積活性化協議会  
 平成23年10月24日 浜松・東三河イノベーション戦略推進協議会



## 三遠南信地域における産業発展の系譜

ものづくりを追求し、常に時代の変化を先取りして、新たな基幹産業を創出し続けてきた。





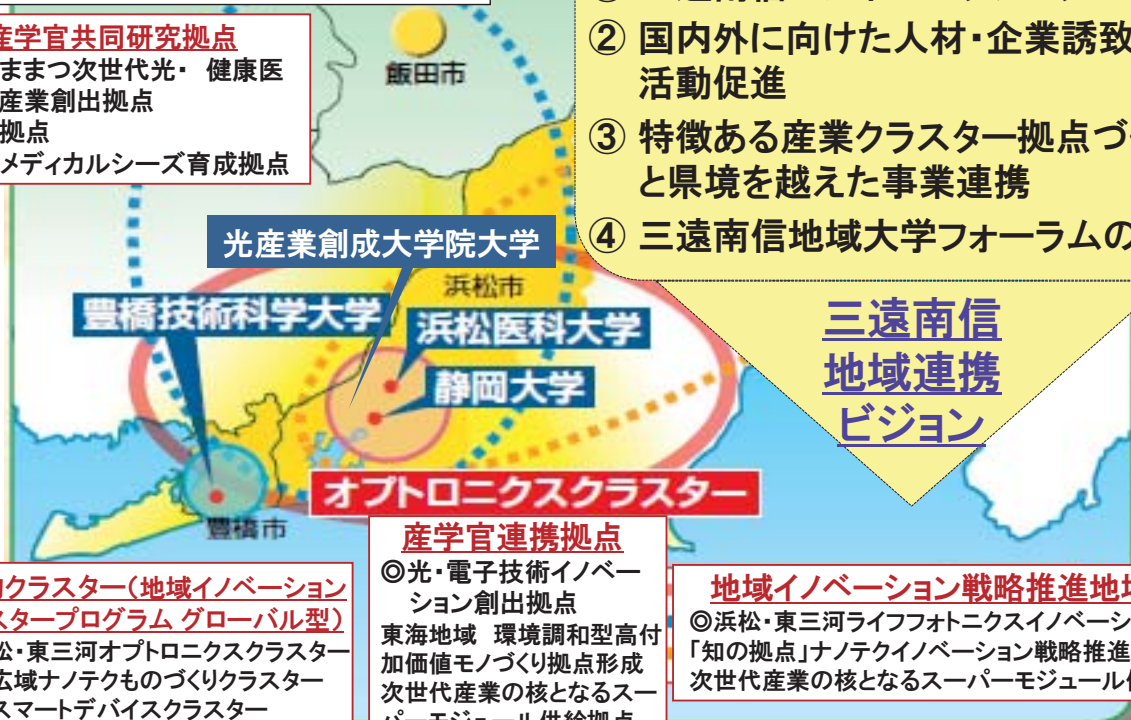
# 三遠南信地域における広域的な産業連携

## 三遠南信(浜松市・豊橋市・飯田市)地域基本計画

産業クラスター 成長産業・企業立地促進等  
事業費補助金 三遠南信クラスター推進会議

### 地域産学官共同研究拠点

◎はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点  
知の拠点  
信州メディカルシーズ育成拠点



## 持続発展的な産業集積の形成

- ① 三遠南信ビジネスマッチングの促進
- ② 国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進
- ③ 特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携
- ④ 三遠南信地域大学フォーラムの設置

## 三遠南信地域連携ビジョン

知的クラスター(地域イノベーション  
クラスタープログラム グローバル型)  
◎浜松・東三河オプトロニクスクラスター  
東海広域ナノテクものづくりクラスター  
信州スマートデバイスクラスター

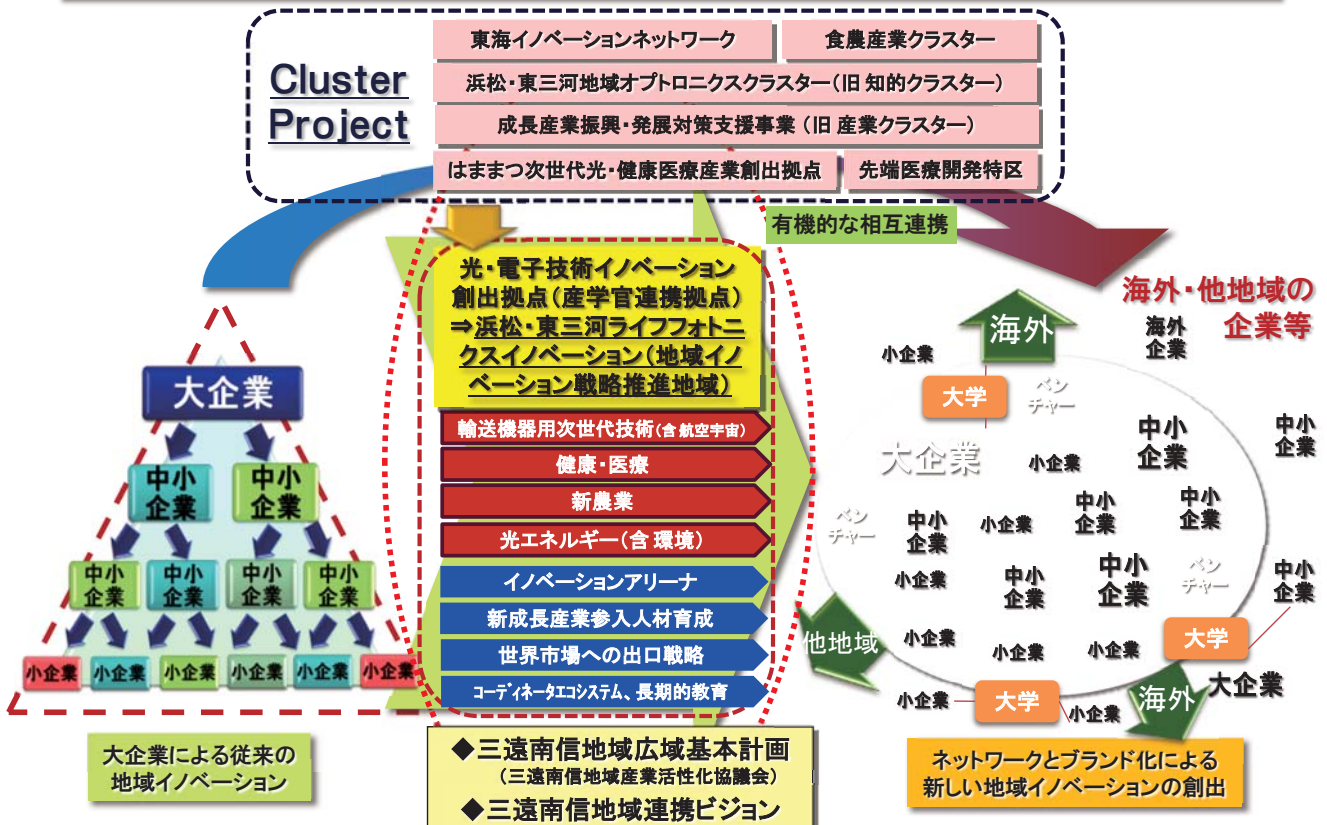
### 産学官連携拠点

◎光・電子技術イノベーション創出拠点  
東海地域 環境調和型高付加価値モノづくり拠点形成  
次世代産業の核となるスーパーモジュール供給拠点

### 地域イノベーション戦略推進地域

◎浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション「知の拠点」ナノテクイノベーション戦略推進地域  
次世代産業の核となるスーパーモジュール供給拠点

# 三遠南信地域におけるイノベーション創出プロジェクト



## 多層・複合的産業構造と新たな基幹産業の創成

# 企業立地促進法「三遠南信(浜松市・豊橋市・飯田市)地域基本計画」

国同意日：平成22年3月25日

申請者：静岡／愛知／長野県知事  
浜松／豊橋／飯田市長

同意者：財務大臣、厚労大臣、農水大臣、経産大臣、国交大臣

計画期間：平成26年度末まで(5年間)



同意書交付式：平成22年4月2日 浜松市役所  
左から、佐原豊橋市長、高原関東経済産業局長(現資源エネルギー庁長官)、鈴木浜松市長、牧野飯田市長

## 【計画概要】

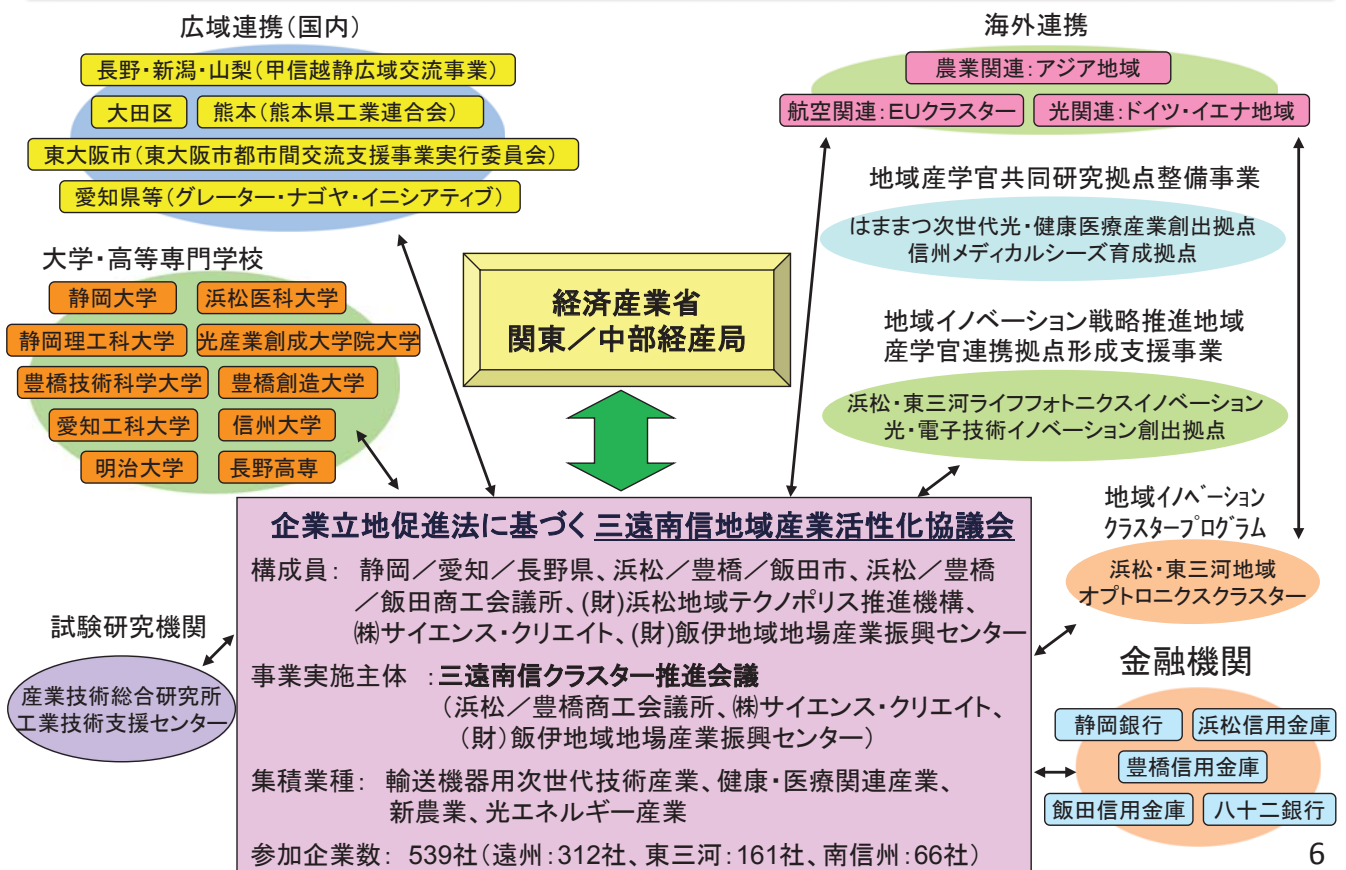
三遠南信地域において、知と産の融合、企業間連携、異業種・異分野融合等による「三遠南信広域イノベーションクラスター」の創成を通じ、当地域で高いポテンシャルを有する「輸送機器用次世代技術産業」「健康・医療関連産業」「新農業」「光エネルギー産業」の4分野の新産業集積と基幹産業化を目指す。



県境を跨ぐ広域的な新規基本計画(企業立地促進計画)への国同意は全国で2例目

5

# 成長産業振興・発展対策支援事業「三遠南信クラスター推進会議」

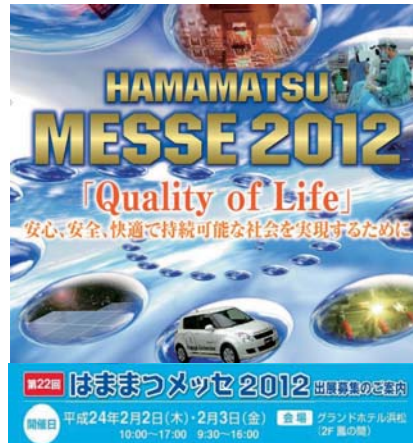
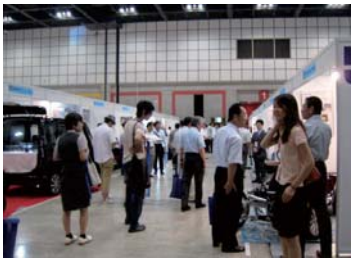


6

## 三遠南信地域におけるビジネスマッチング



入場者数：7,400人、出展数：253社/団体



7

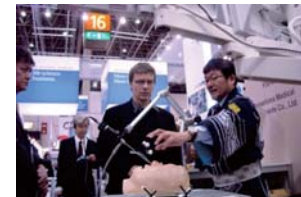
## 三遠南信地域における海外ビジネス展開

**ドイツ メディカ 2010 国際医療機器展**  
(11/17~20) ※2011年は11/16~19に出展  
三遠南信から、6社8名が参加

- ・入場者数：137,200人
- ・出展者数：4,400社/機関 (64カ国)



ジャパンプース内に出演



デモンストレーション

**香港 フード・エキスポ2011** (8/11~15)  
三遠南信から、7社7名が参加

- ・入場者数：382,500人
- ・出展者数：888社/機関 (18カ国)



出展ブース



植物工場の  
デモンストレーション

**フランス パリエアショー2011** (6/17~24)  
三遠南信から、5社11名が参加

- ・取引高：722億USドル
- ・入場者数：345,000人
- ・出展者数：2,113社/機関 (45カ国)
- ・展示機数：150機



展示物等



ブースにおける説明 8

## 戦略的な企業誘致・企業集積の取組み

成長伝説都市「浜松/三遠南信地域」  
～なぜ当地域から、いくつもの世界  
企業が生まれたのか～

ロケーション  
交通インフラ  
風土・気質

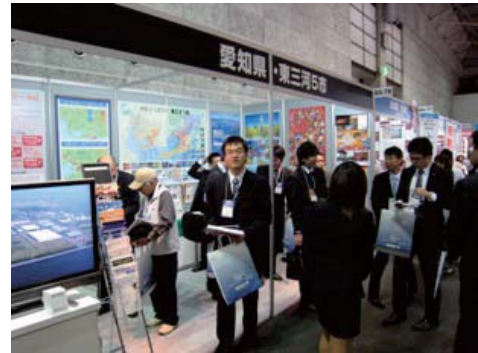
技術集積  
人材集積  
産業集積

支援環境  
(ヒト・モノ・カネ)

三遠南信地域の産業集積及び  
企業立地件数は全国有数

製造業、研究所等の立地に関する補助金(全国トップ級)  
大震災関連貸オフィス/工場等賃借料に関する補助金  
特例措置が適用される企業立地促進法の優遇制度  
充実した産業支援メニュー(ハード・ソフト支援)

東三河5市企業誘致推進連絡会議



関西機械要素技術展 2011



次世代自動車産業展 2010

9

## はままつ次世代環境車社会実験協議会

『次世代自動車の普及と産業化に向けた社会実験』を実施。第2期では、エリアを三遠南信地域に拡大し、東三河と南信州にも電気自動車や充電インフラ等を配備・実験予定

H22.5 協議会設立、H22.10 走行実験開始、H23.10～11 第2期スタート



車両走行実験部会

部品・制御技術開発部会

インフラ整備部会

はままつ次世代環境車社会実験協議会参画メンバー 【産学官15機関】

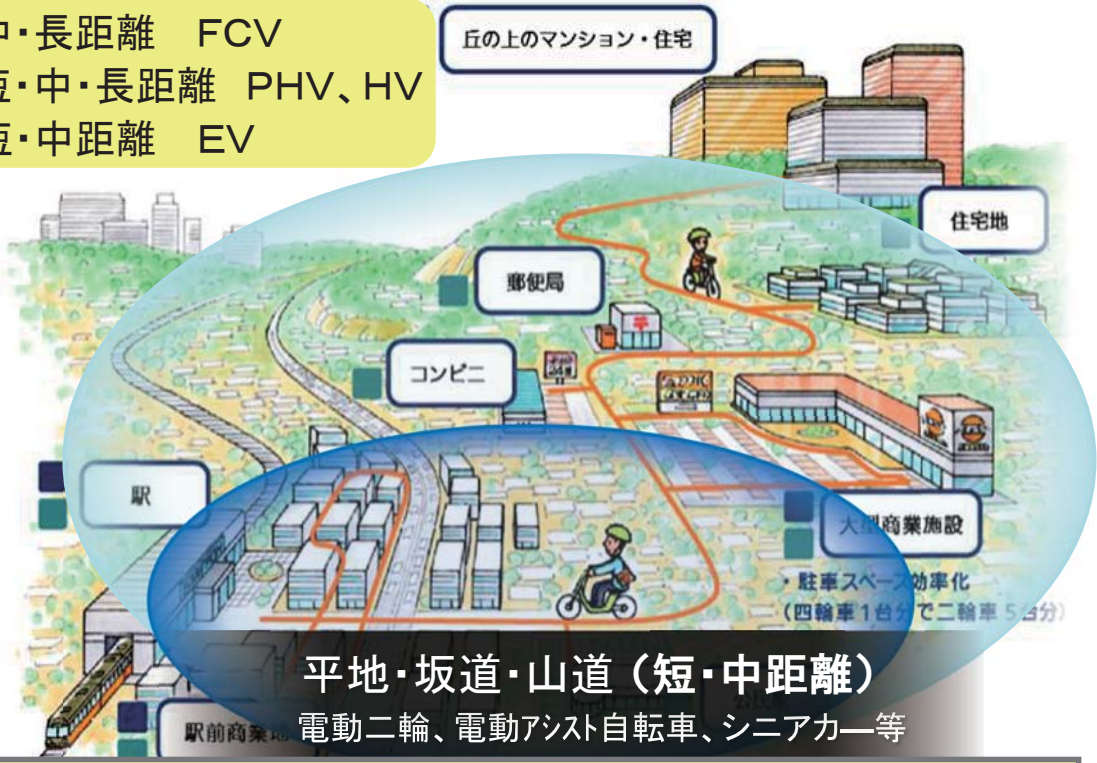
- 〔産〕 スズキ(株)、ヤマハ発動機(株)、フォルクスワーゲン、中部電力(株)、遠州鉄道(株)、ソフトバンクモバイル(株)、ASTI(株)、(株)エヌエスティー、浜松商工会議所、浜松地域テクノポリス推進機構
- 〔学〕 静岡大学、静岡理工科大学、静岡文化芸術大学
- 〔官〕 浜松市、静岡県(オブザーバー) ※地域中小・ベンチャー企業等は、産業支援機関会員や賛助会員として参画。

※東三河地域(豊橋市)、南信州地域(飯田市)が第2期事業から参画予定

10

# 移動距離の長短による次世代環境車の交通手段

中・長距離 FCV  
 短・中・長距離 PHV、HV  
 短・中距離 EV



技術開発の重要テーマ

軽量化	電氣化	情報化	蓄電池
-----	-----	-----	-----

# 次世代産業の創出に向けた取組状況①

## 輸送機器用次世代技術産業 (次世代ビークル、航空・宇宙、ロボット等)



電気自動車



電動二輪



バッテリーパック



次世代交通安全情報通信



小型・超小型電気自動車



3次元モデリング



新機種B787



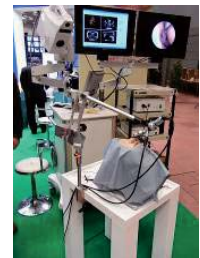
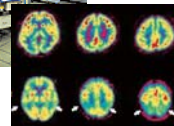
航空機部品

## 健康・医療関連産業

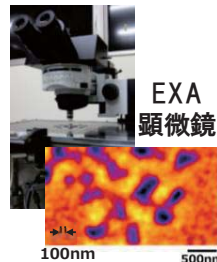
(医工連携、光・電子医療、医療機器、光学機器、健康機器、福祉機器等)



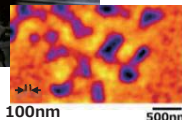
PET  
診断技術



手術ナビゲーション



EXA  
顕微鏡



質量分析顕微鏡



忠実色取得・  
再現顕微鏡



超音波画像診断装置

## 次世代産業の創出に向けた取組状況②

### 新農業

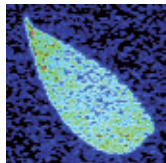
(農商工連携、IT農業、光農業、6次産業等)



植物工場(LED)



大葉選別装置



バイオフィトン



光栽培野菜



光計測糖度計



三ヶ日みかんペースト



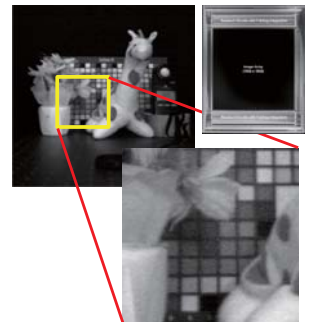
干し柿用自動皮むき・ヘタ取り機

### 光エネルギー産業

(センサ、レーザ、光源、電池、光学機器、環境機器、計測機器等)



半導体レーザー



非冷却高感度 CMOSカメラ



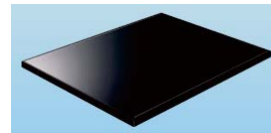
動画像理解ビジョンセンサ



LEDモジュール



エネルギー識別 放射線ラインセンサ



ソーラーパネル

USBメモリ透過画像

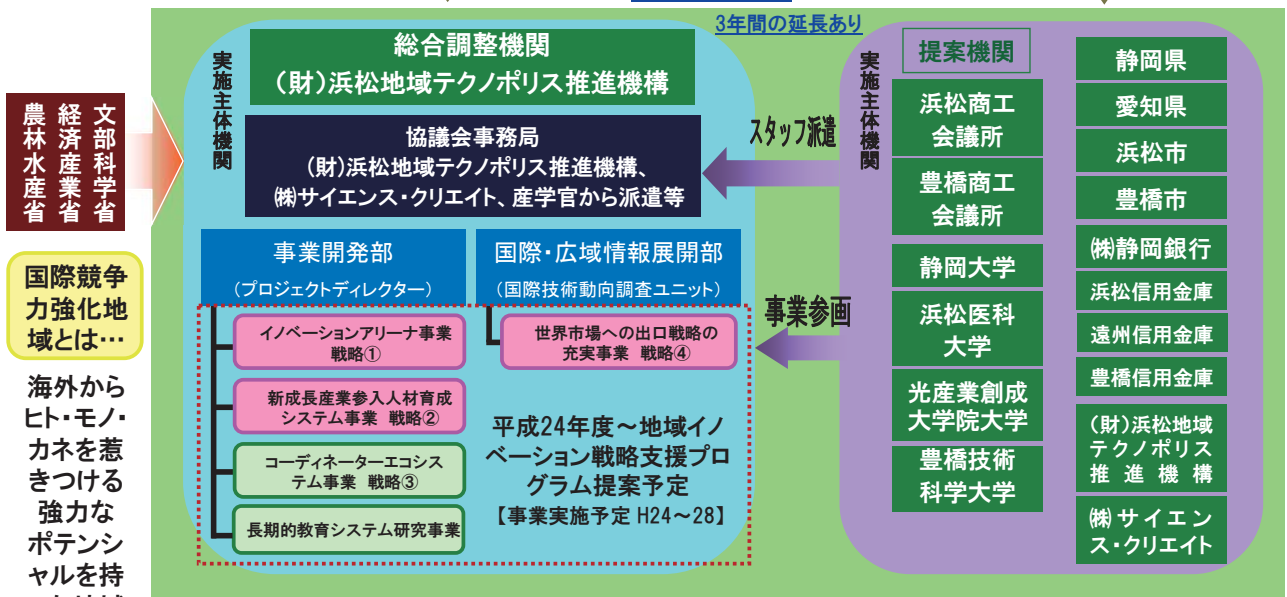
13

## 地域イノベーション戦略推進地域 国際競争力強化地域

「浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション」推進体制

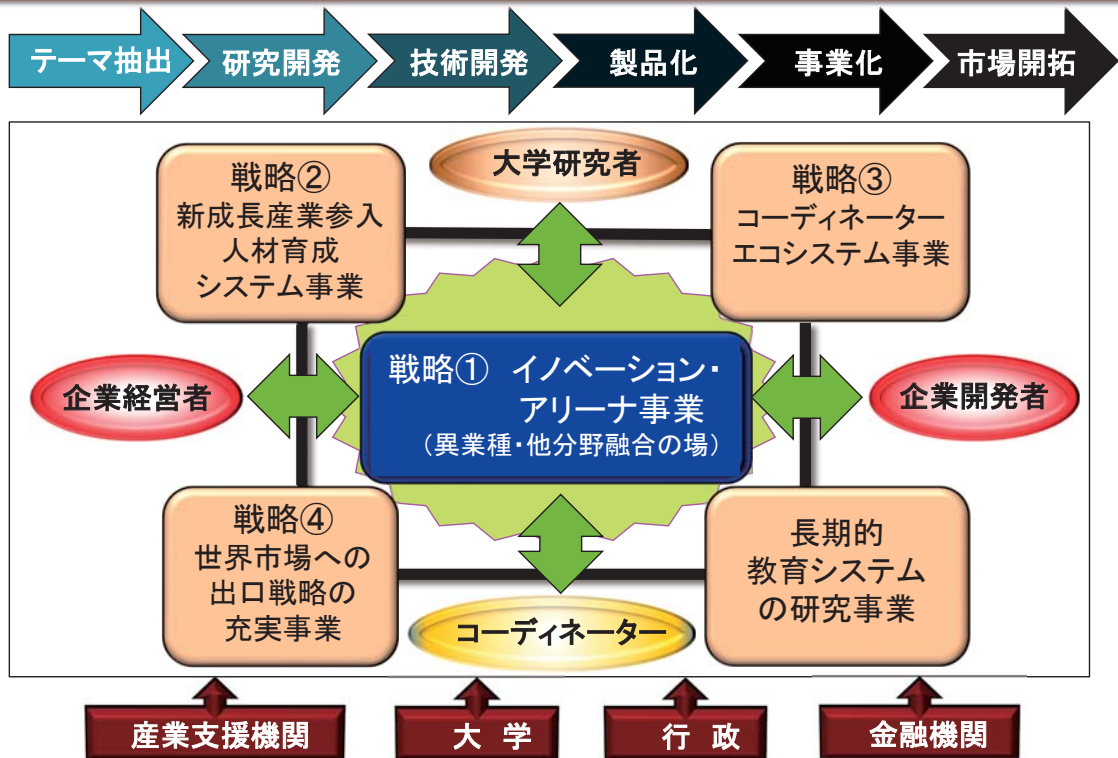
浜松・東三河イノベーション戦略推進協議会

事業提案 ↑ 方針・計画 ↓ 地域指定期間 H23～27年度 実施報告 ↑ 事業評価 ↓



知の拠点を有する浜松・東三河地域から、三遠南信地域等へと成果を波及14

# 国際競争力強化地域の実現に向けたスキーム



新産業4分野の創出・基幹産業化を通じて、より良いQOL(Quality of Life)を志向する安全・安心・快適で持続的に成長可能な社会の実現を目指す。<sup>15</sup>



## 三遠南信発！ 産業イノベーション



### 三遠南信(浜松市・豊橋市・飯田市)地域産業集積活性化協議会

事務局：浜松市商工部産業政策課 (Tel 053-457-2044)

### 浜松・東三河イノベーション戦略推進協議会

事務局：(財)浜松地域テクノポリス推進地域 (Tel 053-489-8111)

### 三遠南信クラスター推進会議

事務局：浜松商工会議所工業振興課 (Tel 053-452-1116)

## 重点プロジェクト

### 政策の基本方針 2：持続発展的な産業集積の形成

#### ① 三遠南信ビジネスマッチングの推進

三遠南信地域の地域経済の活力を高めていくために、県境を越えて企業間の交流を深め、新規ビジネスの創出を支援します。

##### 【活動イメージ】

- ・ 三遠南信地域を対象としたビジネスマッチング機会を積極的に創出します。
- ・ 信用金庫等の地域金融機関が連携して、企業・人材情報を蓄積し、企業交流を促進します。また、地域金融機関のサミットを開催します。
- ・ 各地域で開催される産業展示会等では、三遠南信地域内の企業が積極的に参加できるようなPR活動を進めます。
- ・ 県境を越えてビジネスプラン等を持つ企業の発表機会をより多く設けていきます。

##### 【推進主体とその活動】

- ・ 浜松市、豊橋市、飯田市の各商工会議所が中心となり、三遠南信地域経済開発協議会や地域金融機関等の協力・支援を得ながら推進します。

#### ② 国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進

「三遠南信」が知名度を高め、国内外へ向けた地域プロモーションを進めるため、三遠南信地域が一体化した人材・企業投資等の誘導戦略をつくり、人材・企業誘致活動を推進します。

##### 【活動イメージ】

- ・ 国内外の将来性豊かな企業を対象とした誘致活動を推進します。
- ・ 海外、国内他地域への情報発信力を強化するため、特徴ある産業集積、クラスター事業や、工業団地、企業立地優遇措置等について、複数言語によるポータルサイトの整備や、相談窓口の充実化を図ります。
- ・ 企業誘致パンフレットの共同制作の検討等、企業誘致活動における連携活動を充実します。

##### 【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所、商工会等が中心となって、活動を促進します。



### ③ 特徴ある産業クラスター拠点づくり県境を越えた事業連携

世界的な「ものづくり」地域として継続的な発展を続けるには、新規産業の育成が不可欠となっています。そのために特徴ある産業クラスターを形成するための拠点づくりと、県境を越えた事業連携を促進します。

#### 【活動イメージ】

- ・ 特徴ある産業クラスターとして、オプトロニクス（光電子工学）クラスター、航空宇宙産業クラスター、食農産業クラスター、農工連携、医工連携等の広域拠点づくりを進めます。
- ・ 自動車、鉄道などの輸送用機器や工作機械、ロボット等の産業を重点に、三遠南信全域を対象とした産業クラスターづくりを推進します。
- ・ 各産業クラスターの強化を図るため、三遠南信地域や他地域からの企業参加等を積極的に誘導するためのポータルサイトの整備や、窓口・仲介機能を充実します。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 三遠南信バイタライゼーション協議会が中心となり、はままつ産業創造センター、(株)サイエンス・クリエイト、(財)飯伊地域地場産業振興センター等と連携しながら推進します。

### ④ 三遠南信地域大学フォーラムの設置

三遠南信地域における人材の育成・定着、技術開発力の強化、文化や芸術の振興などに向けて、地域の総合的な学術研究機能や高等教育機能を高めるために、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムを設置します。

#### 【活動イメージ】

- ・ 大学間の意思疎通を高め、地域との連携を促進するために、三遠南信地域内の大学学長による意見交換の場を設けます。
- ・ 単位互換等を促進することで、三遠南信地域の大学が連携した総合大学としての魅力を創出します。また、地域集積が高い農林業分野等について、新規大学の誘致を検討します。
- ・ 大学の総合力を高めるために、各専門の枠を越えた研究者間の交流機会の創設、共同研究を促進します。
- ・ 人材の地域定着を促進するために、県境を越えるインターンシップ事業を促進します。
- ・ 地域との交流として、地域学の創設やコミュニティカレッジとしての役割を検討します。
- ・ 三遠南信地域の戦略的な分野に関して、国際学会誘致など全国の大学や国外の大学との連携を支援します。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 大学、自治体等が中心となって、運営組織を立ち上げ、活動を推進します。

第 I 期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	6			
区分	技			
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成			
項目	2-①			
推進方針	三遠南信ビジネスマッチングの促進			
主要施策	三遠南信地域の地域経済の活力を高めていくために、県境を越えて企業間の交流を深め、新規ビジネスの創出を支援します。			
年度	平成21年度 2009.4~2010.3	平成22年度 2010.4~2011.3	平成23年度 2011.4~2012.3	平成24年度以降 2012.4~
工程表	● 地域金融機関による 連携事業の実施		● 情報交換・発信機会の設置 企業交流の実施	● 経済団体によるビジネスマッチ ング事業の実施
実施内容	○三遠南信3シンクタンク連携協定 (H21.5.23) ○ビジネスマッチングフェアinHamamatsuの開催 (H21.7.22) (H22.7.21~7.22) (H23.7.20~7.21) ○三遠南信(8信金)しんさんサミット&しんさん物産展 (H21.10.6) (H22.11.13) ○平成21年度広域地方計画先導事業「商品評価会」(H22.3.12) ○合同人脈交流会 (H22.7.21)			
推進主体	< 商工会議所・商工会、自治体、金融機関、企業 > 浜松市、豊橋市、飯田市の各商工会議所が中心となり、三遠南信地域経済開発協議会や地域金融機関等の協力・支援を得ながら推進します。			

第 I 期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	7
区分	技
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成
項目	2-②
推進方針	国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進
主要施策	「三遠南信」が知名度を高め、国内外へ向けた地域プロモーションを進めるため、三遠南信地域が一体化した人材・企業投資等の誘導戦略をつくり、人材・企業誘致活動を推進します。
年度	平成21年度 2009.4~2010.3
工程表	平成22年度 2010.4~2011.3
	平成23年度 2011.4~2012.3
工程表	平成24年度以降 2012.4~
	<p>人材・企業誘致活動の推進</p> <p>起業支援・人材育成事業の実施</p> <p>連携誘致活動の検討 ポータルサイトの整備、相談窓口の充実化の検討</p>
実施内容	<p>○各市町村による人材・企業誘致活動の実施（随時）</p> <p>○三遠南信地域社会雇用創出事業の実施（H22.3.24~24.3.31）</p> <p>○三遠南信地域資源情報データベースをSENAホームページに掲載（H23.6.6）</p>
推進主体	<p>＜ 自治体、商工会議所・商工会、金融機関、企業 ＞</p> <p>自治体、商工会議所、商工会等が中心となって、活動を促進します。</p>

第 I 期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	8
区分	技
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成
項目	2-③
推進方針	特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携
主要施策	世界的な「ものづくり」地域として継続的な発展を続けるには、新規産業の育成が不可欠となっています。そのため に特徴ある産業クラスターを形成するための拠点づくりと、県境を越えた事業連携を促進します。
年度	平成21年度 2009.4~2010.3 平成22年度 2010.4~2011.3 平成23年度 2011.4~2012.3 平成24年度以降 2012.4~
工程表	● 広域拠点づくり、産業クラスターづくりの推進 ● 三遠南信（浜松・豊橋・飯田）地域基本計画に基づく事業の推進（25年度まで）
実施内容	○三遠南信バイタライゼーション協議会の各種事業の実施（21年度まで） ○三遠南信クラスター推進会議の各種事業の実施（22年度～） ○光・電子技術イノベーション創出拠点支援事業の採択（H21.6.18） ○三遠南信地域基本計画 同意（H22.3.25～H26.3.31） ○三遠南信地域産業活性化協議会（浜松市・豊橋市・飯田市）の事業（22年度～） ○産学官連携ネットワーク協議会の事業（H21.8～） ○はままつ次世代環境車社会実験協議会による社会実験（H22.5.17～） 三遠南信地域への活動エリアの拡大（23年度予定）
推進主体	＜ 産業支援機関、自治体、大学 ＞ 三遠南信クラスター推進会議が中心となり、浜松商工会議所、豊橋商工会議所、はままつ産業創造センター、(株)サイエンス・クリエイト、(財)飯伊地域地域産業振興センター等と連携しながら推進します。

第 I 期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	9
区分	技
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成
項目	2-④
推進方針	三遠南信地域大学フォーラムの設置
主要施策	三遠南信地域における人材の育成・定着、技術開発力の強化、文化や芸術の振興などに向けて、地域の総合的な学術研究機能や高等教育機能を高めるために、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムを設置します。
年度	平成21年度 2009.4~2010.3
	平成22年度 2010.4~2011.3
	平成23年度 2011.4~2012.3
	平成24年度以降 2012.4~
工程表	<p>●</p> <p>連携組織設置の検討・準備</p> <p>大学フォーラム準備検討会の開催（愛知大学、豊橋技術科学大学、静岡文化芸術大学の学長等による検討）</p> <p>大学フォーラム準備検討会 大学シンポジウム開催準備会</p> <p>↑</p> <p>検討・研究、準備会、立ち上げ</p>
実施内容	<p>○大学フォーラムの設置に向けた検討会議の開催（H22.7~H23.4 3回開催）</p> <p>○大学シンポジウム開催準備会の開催（H23.7~H23.10 3回開催）</p> <p>◎三遠南信地域大学シンポジウム開催（H23.10.24）</p> <p>◎三遠南信地域における官民連携主体による地域づくり推進事業（国土交通省事業）H23~</p>
推進主体	<p>＜ 大学、企業、自治体、商工会、商工会議所・商工会、住民団体 ＞</p> <p>三遠南信地域をフィールドとする大学等を中心に、事業内容を検討します。</p>

【社会起業インキュベーション事業】

2-②

資料

◆起業支援対象者数(市町村別)

(H23.10.1現在)

		第1期		第2期		第3期		第4期		合計	
		起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者
東三河	豊橋市	7	1	6	2	10		2		25	3
	豊川市	2	1	1	1	1		1		5	2
	田原市	1								1	0
	新城市			2	1	3		4		9	1
	名古屋市							1		1	0
	東海市							1		1	0
東三河 小計		10	2	9	4	14	0	9	0	42	6
遠州	浜松市	4	2	5		8		10		27	2
	磐田市	1	1	1						2	1
	御前崎市							1		1	0
	遠州 小計	5	3	6	0	8	0	11	0	30	3
南信州	飯田市	1	1	3		2		2		8	1
	大鹿村							1		1	0
	阿南町							1		1	0
	大阪府大阪市					1				1	0
	岡山県総社市							1		1	0
南信州 小計		1	1	3	0	3	0	5	0	12	1
合計		16	6	18	4	25	0	25	0	84	10

【社会的企業人材創出・インターンシップ事業】

◆研修申込・修了者数(市町村別)

(H23.10.1現在)

		第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		第6期		合計	
		研修申込者数	研修修了者数	研修申込者数	研修修了者数	研修申込者数	研修修了者数	研修申込者数	研修修了者数	研修申込者数	研修修了者数	研修申込者数	研修修了者数	研修申込者数	研修修了者数
東三河	豊橋市	33	29	21	18	8	5	30	30	21	17	18		131	99
	豊川市	3	3	2	2	4	3	11	11	3	2	5		29	21
	蒲郡市	1	1	3	2	1	1	0	0	3	1	0		8	5
	新城市	5	5	14	14	18	18	18	17	14	14	22		91	68
	田原市	1	1	11	11	3	3	10	7	2	1	7		34	23
	東栄町	0	0	1	1	1	1	0	0	7	7	0		9	9
	東三河 小計	43	39	53	48	35	31	69	65	50	42	52		302	225
遠州	浜松市	32	24	47	42	92	83	112	103	91	79	112		486	331
	磐田市	0	2	10	8	8	7	16	15	20	19	12		68	51
	掛川市	0	0	11	11	17	16	5	5	2	2	3		38	34
	袋井市	1	1	2	2	16	16	2	1	9	9	10		40	29
	湖西市	2	2	5	5	1	1	2	2	20	20	5		35	30
	御前崎市	0	0	0	0	0	0	4	4	3	3	8		15	7
	菊川市	0	0	1	1	5	5	0	0	2	2	0		8	8
	森町	0	0	0	0	0	0	5	5	2	1	2		9	6
	遠州 小計	37	29	76	69	139	128	146	135	149	135	152		699	496
	南信州	飯田市	1	1	24	19	15	12	12	10	3	3	1		56
松川町		0	0	3	3	1	1	1	1	0	0	1		6	4
高森町		0	0	3	2	0	0	0	0	0	2	2		5	2
阿南町		0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0		1	1
阿智村		0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0		3	1
泰阜村		0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0		2	1
喬木村		0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0		1	0
豊丘村		0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1		2	1
南信州 小計	1	1	32	26	19	12	15	12	4	4	5		76	55	
その他	愛知県	20	19	10	9	5	5	5	5	10	6	18		68	44
	静岡県	0	0	1	0	7	6	4	3	1	1	3		16	10
	長野県	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	3		5	2
	福島県	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0		1	1
	茨城県	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0		1	1
	群馬県	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0		1	1
	埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1		3	2
	千葉県	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0		3	3
	東京都	0	0	0	0	3	2	1	1	1	1	0		5	4
	神奈川県	0	0	0	0	2	2	1	1	1	1	0		4	4
	岐阜県	3	3	0	0	1	1	0	0	0	0	1		5	4
	三重県	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0		4	3
	滋賀県	0	0	0	4	4	4	0	0	0	0	0		4	4
	大阪府	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0		2	2
	兵庫県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0		1	1
	奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0		2	1
	広島県	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0		1	1
	その他 小計	25	24	12	10	29	27	13	12	20	15	27	0	126	88
	合計	106	93	173	153	222	198	243	224	223	196	236	0	1,203	864





# 分科会

## 資料





# 地域資源を生かして地域と人を元気にする取組

## 価値感の大変革期に、 三遠南信地域で 知恵を出し汗をかく

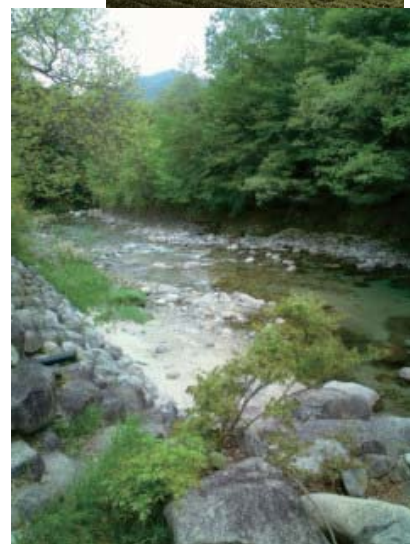
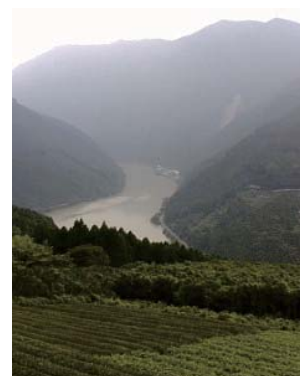
NPO法人三遠南信アミ

NPO法人三遠南信アミ 理事  
中野 眞  
(中小企業診断士・6次産業化プランナー)

NPO法人三遠南信アミ



天竜川の風景



NPO法人三遠南信アミ



伝統文化



NPO法人三遠南信アミ

## 三遠南信地域の特長

- 天竜川水系に広がる地域
  - 諏訪湖を源に3つの県にまたがる地域
- 東西南北の経済・文化の交差点
  - 古くは、南北、現代は東西中心に、経済・文化が交流してきた地域
- 豊かな自然環境を基礎に農業・工業・流通が発展、存在する
  - 標高0メートルから1000m
  - 桜が1か月楽しめる
  - 6次産業化の宝庫
- 日本の伝統文化が継承されている
  - 柳田國男・折口信夫・宮本常一
  - 花祭り・冬祭り・田楽・盆行事・神仏習合の世界
  - 田舎歌舞伎……

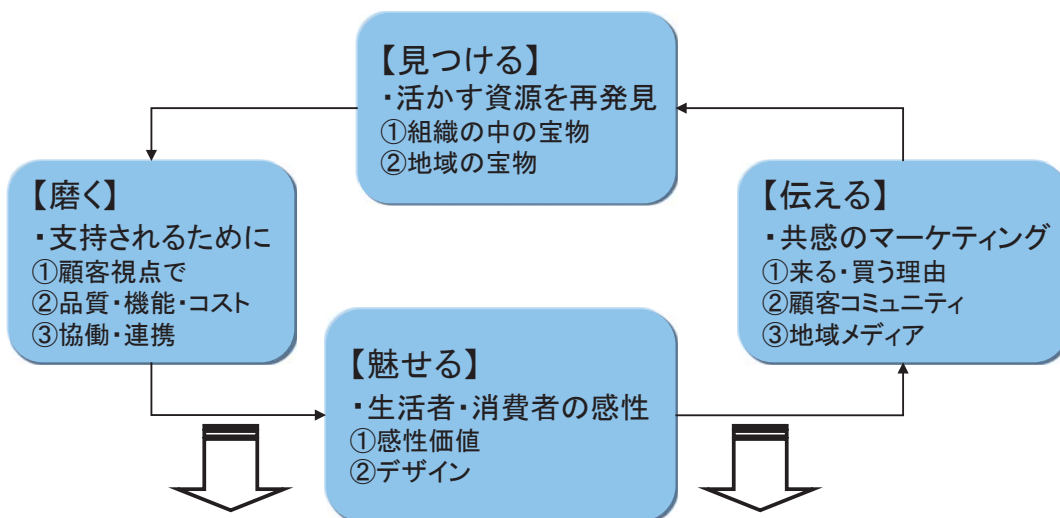
NPO法人三遠南信アミ

# 地域資源とは

1. 自然や風景
2. 歴史や文化
3. モノとコト
4. 人と技

NPO法人三遠南信アミ

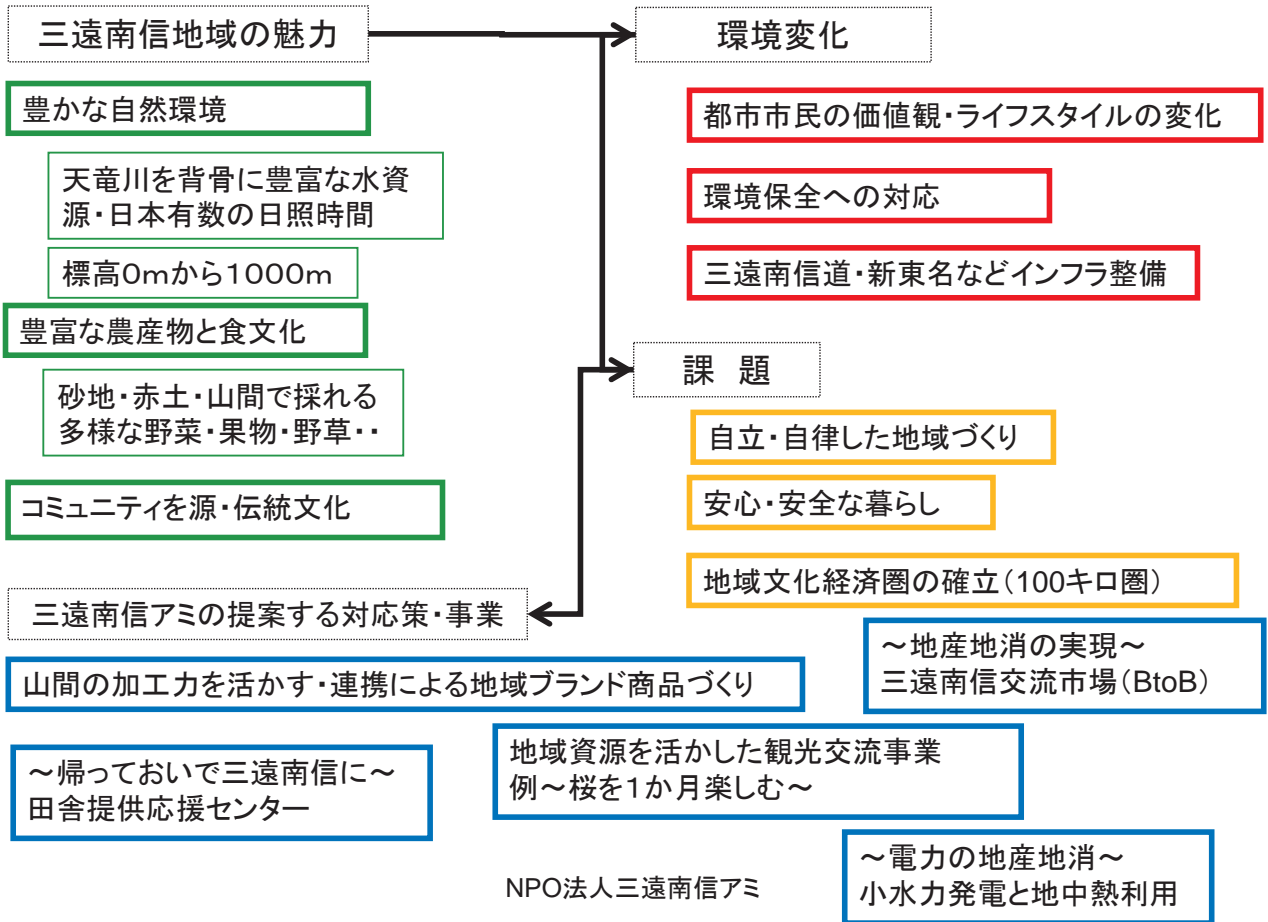
## ～価値の創造を目指すプロセス～



顧客価値 = (商品価値 + 感性価値) / 価格  
商品価値 = 品質 + 機能 + 安全性  
感性価値 = 使いやすさ + わかりやすさ + デザイン + 物語性 + 安心感

NPO法人三遠南信アミ

## 三遠南信の地域資源を活かした取り組み



## 三遠南信アミの提案する事業

1. 山間の加工力を活かす・連携による地域ブランド商品づくり
  - 全国有数の農産地である東三河、遠州と食文化、食品加工力の蓄積する南信州をつなぐ
2. 地産地消の実現～三遠南信交流市場(BtoB)
  - 多品種少量の物流の非効率さを超えて、三遠南信地域の物産を集め流通させる場づくり
3. ～帰っておいで三遠南信に～田舎提供応援センター
  - 都市部住民の田舎を提供するコーディネート。観光・交流・体験・短期滞在・半定住・定住
4. 地域資源を活かした観光交流事業
  - 桜を1か月楽しむ。自然とアート、スポーツツーリズム・・・
5. ～電力の地産地消～小水力発電と地中熱利用

# 三遠南信アミの取り組んでいる事業

1. 山と里と海をモノでつなぐ
  - ・ 山間で・赤土で・砂地で採れる野菜や果物・海や川の幸を届ける仕組みづくり
  - ・ 遠江特鮮市場とまちなか軽トラ市inモール街
  - ・ 北遠地域に野菜・果物を届ける！北遠地域のかあさんたちの食文化・加工を頼み都市部で売る
  - ・ 南信州の凍み大根を、浜松の三方原の大根で作る
  - ・ 春野のお茶をPR(7件の農家のお茶のお試し・飲み比べセット企画販売)
  - ・ 遠州地域の紅茶5種類セット
  - ・ 三遠南地域の「お米」セット(計画中)
  - ・ 薬草研究会(平成23年6月第1回実施)
2. 小水力発電で電力の地産地消で村を元気に！
  - ・ 豊かな水を活かす。自然エネルギーで電力の地産地消
  - ・ 小水力発電研究会をスタート(平成23年7月)
3. 田舎暮らし応援・提供と地域仕事作り
  - ・ 田舎暮らし・体験を求める人々と田舎暮らしの達人たちをつなぐ
  - ・ 体験・研修・リフォーム・メンテナンスの地域仕事作り
  - ・ 合言葉は、「帰っておいでよ疲れたら、三遠南信に」
4. 大人の社会科見学
  - ・ 三遠南信地域の魅力を体験・体感
  - ・ 世代・男女・職業を超えて集めて実施



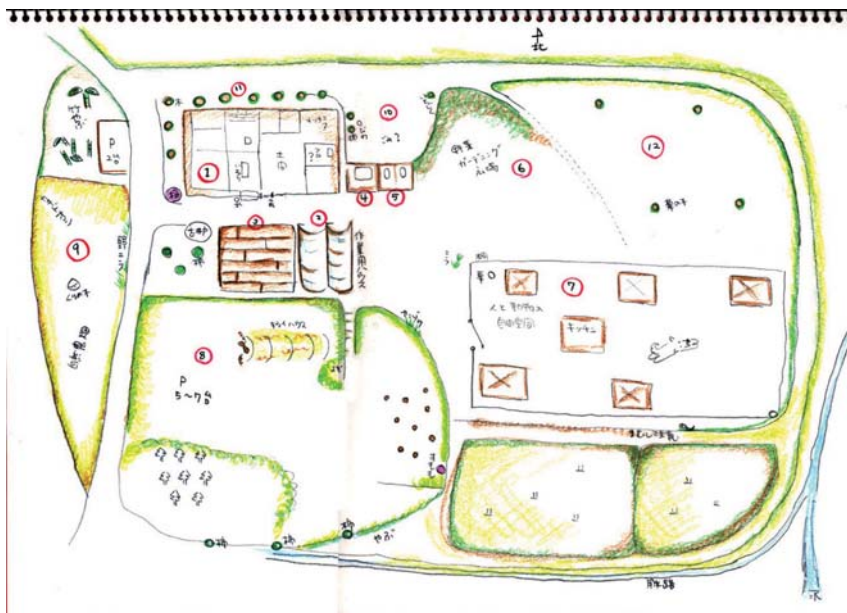
NPO法人三遠南信アミ

## 三遠南信の地産地消の八百屋さん「遠江特鮮市場」 商店街が農家と協働「地産地消」の八百屋で賑わいづくりを目指す 浜松のまちなか軽トラ市も



NPO法人三遠南信アミ

新城市黄柳野の古民家を活用した田舎暮らしのための体験ハウス



NPO法人三遠南信アミ

小水力発電研究：岐阜県郡上市白鳥町石徹白は、人口270人 でも小水力発電をきっかけに前向きに動き始めている



NPO法人三遠南信アミ

## ～コンセプトとスタンス～

---

1. やめる勇気、変える行動
2. このまちに暮らす喜びを創る
3. 仕事を創る。人のお役にたつことで稼ぐ
4. 暮らしを作り、支える地域ビジネスが大事
5. 三方よしを大切に(みんなが納得のいく利益) 対等な連携
6. 経済価値と幸福価値のバランス
7. 地域経済圏(100<sup>キ</sup>圏)での地産地消、取組
8. 地域循環の社会の仕組みづくり(エネルギーから食農)
9. 農家主体の6次産業化(1次産業×2次産業×3次産業)
10. 「つなぐ」「結ぶ」「合わせる」

NPO法人三遠南信アミ



## 政策の基本方針 3：塩の道エコミュージアムの形成

### ①「塩の道」風景街道の体制づくり

三遠南信地域は、歴史的に形成された南北の「塩の道」に沿って形作られており、自然・歴史・文化・産物など地域特有の資源を守り、掘り起こし、磨きあげ、往来の物語を構築します。このために、「塩の道」風景街道の体制づくりを進めます。

#### 【活動イメージ】

- ・ 国土交通省の「日本風景街道」に登録し、具体的な連携活動に取り組みます。
- ・ 三遠南信「塩の道」風景街道の風景価値を高めるための地域連携・発信活動に取り組みます。
- ・ 三遠南信「塩の道」風景街道の地域資源を掘り起こし、磨き、活かす活動に取り組みます。
- ・ 三遠南信「塩の道」風景街道の自然、歴史、伝統文化、暮らしを学び、伝える活動に取り組みます。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 三遠南信地域内の市民団体等を中心に、事業内容を検討します。

### ② 地域資源を活かす鉄道の有効利用

塩の道エコミュージアムの形成を支援する鉄道の観光活用を進めます。

#### 【活動イメージ】

- ・ 鉄道事業者と連携を取りながら、地域内を結ぶ鉄道と観光資源のネットワーク化を検討します。
- ・ JR東海道線の増便などの鉄道の利便性を向上させます。
- ・ JR飯田線、天竜浜名湖線の観光利用を地域運動として促進することを検討します。
- ・ 豊橋市の路面電車、佐久間レールパーク等鉄道資源を利用したイベントの開催を検討します。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 鉄道事業者、自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、事業内容を検討します。

### ③ 海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進

三遠南信地域の観光資源は、山から海までの自然資源、歴史、産業観光など多様であり、交通の利便性も高いことから、一地域での周遊性を期待する訪日外国人観光に適しています。このため、海外への観光情報発信と外国人観光客誘致を促進します。

#### 【活動イメージ】

- ・ 海外で開催される国際旅行博覧会等に参加し、三遠南信地域の観光PRをするため、外国語広域観光マップ等を活用して観光情報発信を進めます。
- ・ 複数の外国語で閲覧できる三遠南信観光ポータルサイト（インターネットホームページ）を作成します。
- ・ 地域の観光関連事業者と連携して、外国人観光客を対象とした三遠南信地域を巡る観光モデルツアーの商品化を検討します。
- ・ 海外へ三遠南信観光プロモーション団を派遣します。
- ・ 富士山静岡空港、中部国際空港への国際定期便の増便、路線増設、国際チャーター便の運行を航空会社、空港会社、国・県、旅行会社等へ働きかけます。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、観光関連事業者、三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会等が連携して、事業を促進します。

### ④ 三遠南信アンテナショップの開設

三遠南信地域の地域固有の商品・サービスを広く圏域内外にアピールし、新たな販路を広げるため、特産品販売の場づくりとして、三遠南信アンテナショップを開設します。

#### 【活動イメージ】

- ・ 浜松市、豊橋市、飯田市等の拠点都市の中心市街地等へ、三遠南信地域の特産品の展示・販売、観光情報、地域情報の発信等を行うアンテナショップ（仮称：三遠南信ふれあいショップ）の開設を検討します。
- ・ 大都市部（東京、名古屋、大阪等）での三遠南信アンテナショップの開設を検討します。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会、観光協会、農林水産団体等が中心となって、事業内容を検討します。

第Ⅰ期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	10
区分	風土
政策の基本方針	塩の道工コミュニティアムの形成
項目	3-①
推進方針	「塩の道」風景街道の体制づくり
主要施策	三遠南信地域は、歴史的に形成された南北の「塩の道」に沿って形作られており、自然・歴史・文化・産物など地域特有の資源を守り、掘り起こし、磨きあげ、往來の物語を構築します。このために、「塩の道」風景街道の体制づくりを進めます。
年度	平成21年度 2009.4~2010.3 平成22年度 2010.4~2011.3 平成23年度 2011.4~2012.3 平成24年度以降 2012.4~
工程表	<p>デジタルアーカイブ作成のため データ収集</p> <p>県境を越えた連携事業の推進</p>
実施内容	<p>○デジタルアーカイブの作成に向けた画像データの収集</p> <p>○秋葉街道信遠ネットワークによる活動 (H21~)</p> <p>○祭り街道フェスティバル実行委員会主催により、祭り街道制定10周年記念「祭り街道フェスティバル (H21.9.20)」を阿南町 (新野千石平道の駅) において開催。</p> <p>○祭り街道フェスティバル (H21.9.20)」を阿南町 (新野千石平道の駅) において開催。</p> <p>○三遠南信ふるさと歌舞伎交流実行委員会主催により、「第17回ふるさと歌舞伎交流 in 豊橋大会 (H22.11.7)」を豊橋市公会堂において開催。</p> <p>○三遠南信地域を語る会主催により、「第13回三遠南信地域資料展 (H22.1.30~2.28)」を豊橋市中央図書館において開催。</p>
推進主体	<p>＜ SENA、自治体、商工会、商工会議所・商工会、住民団体 ＞</p> <p>三遠南信地域内の市民団体等を中心に、事業内容を検討します。</p>

第 I 期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	11
区分	風土
政策の基本方針 項目	塩の道エコミュージアムの形成 3-②
推進方針	地域資源を活かす鉄道の有効活用
主要施策	塩の道エコミュージアムの形成を支援する鉄道の観光活用を進めます。
年度	平成21年度 2009.4~2010.3
工程表	平成22年度 2010.4~2011.3
	平成23年度 2011.4~2012.3
工程表	平成24年度以降 2012.4~
実施内容	○天竜浜名湖線市町会議による天竜浜名湖線の活用促進事業（H20～）
推進主体	＜ SENA、鉄道業者、観光会社、自治体、商工会議所・商工会 ＞ 鉄道事業者、自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、事業内容を検討します。

第 I 期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	12			
区分	風土			
政策の基本方針	塩の道工コミュニティアムの形成			
項目	3-③			
推進方針	海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進			
主要施策	三遠南信地域の観光資源は、山から海までの自然資源、歴史、産業観光など多様であり、交通の利便性も高いことから、一地域での周遊性を期待する訪日外国人観光に適しています。このため、海外への観光情報発信と外国人観光客誘致を促進します。			
年度	平成21年度 2009.4~2010.3	平成22年度 2010.4~2011.3	平成23年度 2011.4~2012.3	平成24年度以降 2012.4~
工程表	<p>国際インバウンドツーリズムの推進 海外旅行代理店、ランドオペレーターへの働きかけ</p> <p>海外への観光情報の発信と外国人観光客誘致等の検討</p>			
実施内容	<p>○三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会 海外ランドオペレーター現地視察招聘事業 (H21.12.7~12.11) (H22.11.29~12.3)</p>			
推進主体	<p>＜ 自治体、商工会議所・商工会、観光関係者 ＞ 自治体、観光関連事業者、三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会等が連携して、事業を促進します。</p>			

第 I 期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	13
区分	風土
政策の基本方針	塩の道エコミュージアムの形成
項目	3-④
推進方針	三遠南信アンテナショップの開設
主要施策	三遠南信地域の地域固有の商品・サービスを広く圏域内外にアピールし、新たな販路を広げるため、特産品販売の場づくりとして、三遠南信アンテナショップを開設します。
年度	平成21年度 2009.4~2010.3
工程表	平成22年度 2010.4~2011.3
	平成23年度 2011.4~2012.3
実施内容	平成24年度以降 2012.4~
推進主体	

社会実験の実施 (東三河)

社会実験の実施 (南信州)  
H23に延期

社会実験の実施 (南信州)  
社会実験の評価  
24年度以降の事業計画の検討

事業計画の検討・実施

社会実験の実施 (東三河)

社会実験の実施 (南信州)  
H23に延期

三遠南信「街道浪漫」クイズラリーの実施

○平成20年度広域ブロック自立施策等推進調査「社会実験&情報発信」  
浜松市 (H22.1.24~1.25)、東京都板橋区 (H22.1.31~2.1)

○平成21年度広域地方計画先導事業「社会実験&情報発信 (豊橋市)」 (H22.3.20~3.21)

○平成21年度広域地方計画先導事業「ガイドブックの発行」 (H22.3.25)

○各団体による物産展の実施

○三遠南信地域経済開発協議会により三遠南信「街道浪漫」クイズラリーの実施 (H22.7.1~11.30)

○OSENA主催により「三遠南信イチャイチャ逸品展」を飯田市で開催 (H23.8.6~8.7)

＜ SENA、自治体、商工会、商工会議所・商工会、観光関係者、生産者、有識者 >  
自治体、商工会議所・商工会、観光協会、農林水産団体等が中心となって、事業内容を検討します。





# 資 料







# 東日本大震災から学ぶこと

## ～三遠南信地域における 防災連携の在り方～

浜松市危機管理課



## 東日本大震災の特徴

広域複合大災害



被災地域：東北3県、関東

災害事象：地震・津波・原発

避難地域：全国各地

※死者・行方不明者 19,000人超  
避難者 386,739人  
(最大値/1週間後)

被災した南三陸町防災庁舎⇒



## 被災地への支援①

### 1. 物的支援

全国知事会などからの要請により、備蓄していた物資(非常食や飲料水、仮設トイレなど)のほか、市民や企業の協力のもと必要物資(毛布や自転車、食器類、紙おむつなど)を集め、提供

### 2. 人的支援

東日本大震災発生当日から緊急消防援助隊を派遣するなど、6月末までに延べ56,923人の自治体職員を派遣

## 被災地への支援②

### 3. ボランティアによる支援(9月25日現在)

※災害ボランティアセンターの設置状況と参加延人数

	岩手県	宮城県	福島県
設置状況	24カ所	12カ所	34カ所
延人数	約262,100人	約392,900人	約112,400人



大船渡市内で活動するボランティア

# 被災者への支援

## 全国の避難者数

**73,249人**(9月22日現在)

※全国避難者情報システムに届出されている人数

県	人数
静岡県	1,417人
愛知県	1,260人
長野県	1,169人

被災者に対し、国や日本赤十字社などの支援に加え、**独自の施策を構築している自治体も…!**

# 被災地・被災者への支援

- 3月22日 「**浜松市被災地支援対策本部会議**」を設置。市公式ホームページ内にも東日本大震災専用ページを用意
- 3月24日 被災地へ「**先遣隊**」を派遣
- 4月 5日 「**東日本大震災 被災地・被災者支援センター**」を開設



第1回被災地支援本部会議の様子



市長の訓示を受ける先遣隊



市役所内に設置された支援センター

# 三遠南信災害時相互応援協定

## (目的)

三遠南信地域内に災害が発生したとき、各都市相互の応援による応急措置等を円滑に遂行するため、必要な事項について定めるもの。

## (主な応援内容)

- ・職員の派遣
- ・資機材や物資の提供・貸与
- ・救援物資の提供
- ・被災者の一時受入れ



給水活動の様子(飯田市内)

# 三遠南信地域のデータ

面積 : 5,733.29 km<sup>2</sup> (H22.10.1現在)  
人口 : 2,089,794人 (H23.1.1現在)



## 三遠南信地域に見る災害特性



## 台風15号の爪痕(中山間地域)



# 台風15号の爪痕(中山間地域)



# 災害対応における課題



停電・河川氾濫・道路損壊・土砂崩れ・孤立集落の発生

指揮命令の混乱

初動の遅れ



# 防災対策の見直しについて

## 浜松市の現状

～東日本大震災以降の取り組み～

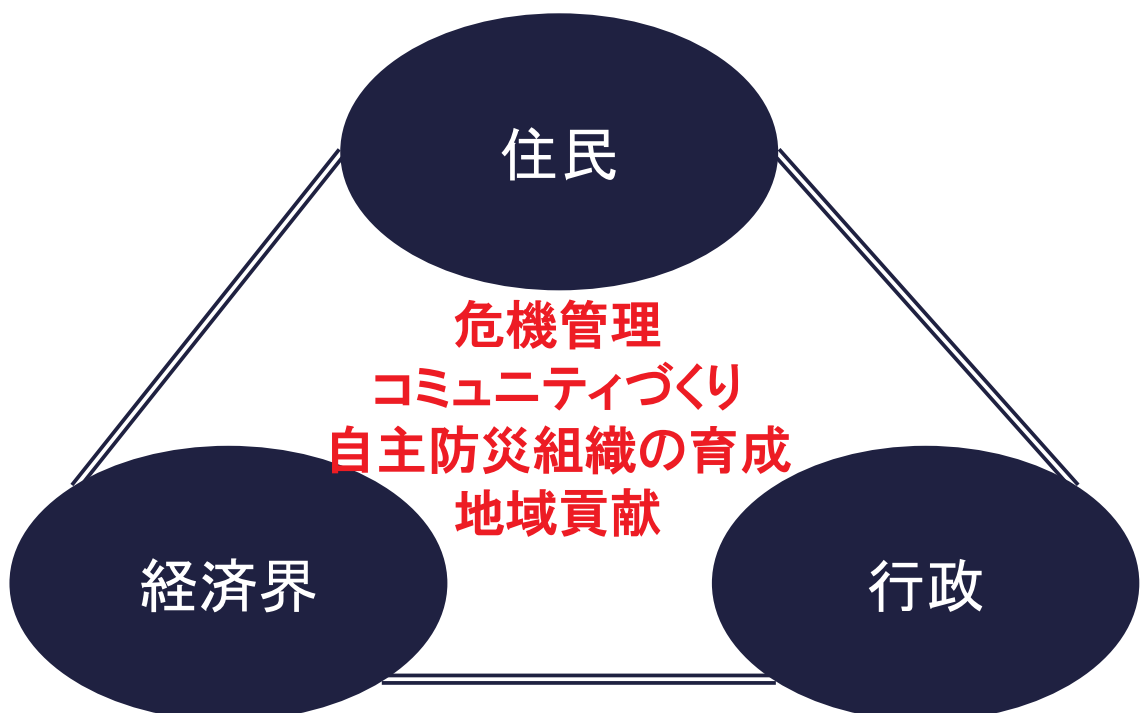
### (1) 地域防災計画の見直し

- ① 防災施設・資機材などを見直し
- ② 非常配備体制を見直し
- ③ 津波対策を見直し

### (2) 区版の「避難行動計画」の策定

### (3) オール浜松で対策を検討

## 今後における防災連携





## 政策の基本方針 4：中山間地域を活かす流域モデルの形成

### ①「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進

地域環境の持続性を確保するために、流域圏の「健全な水・物質循環」の視点から、水資源確保、水質改善、物質循環のメカニズム解明を進めながら、複数のプロジェクトを共同化することで関係機関の相互調整を促進します。

#### 【活動イメージ】

- ・ 「健全な水循環」に係る産・学・官・民による情報共有・情報交換ができる場づくりを進めます。
- ・ 産・学・官・民が参加し、県境を越えた「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトを推進します（遠州灘海岸の侵食防止、天竜川ダム再編事業、設楽ダム建設事業、浜名湖・三河湾の水質浄化活動、住民参加型の水質浄化に関する行動計画づくり等）。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 国、県の協力の下に、市町村が中心となって活動促進を働きかけます。

### ② 上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備

下流域都市住民の中山間地域への居住に対する関心を喚起することで、上流域への人口流入を図るとともに、流域圏の多様性を活用することによって三遠南信地域の定住の魅力を増大させます。このために、上流域と下流域の自治体が連携して流域定住の検討体制を構築します。

#### 【活動イメージ】

- ・ 受け入れ地区住民の意識調査等を行い、空き家、貸し家、遊休施設等の施設利用情報のデータベース化に取り組みます。
- ・ 流域定住や二地域居住を進めるための総合的な相談窓口の設置、居住体験が行える施設の整備、生活に関連した情報を円滑に提供できる仕組みづくりを進めます。
- ・ 長期滞在者向けの旅館利用や滞在施設（廃校、旧役場、空き家等）の整備を検討します。
- ・ 空き家、貸し家、遊休施設等の仲介を不動産会社等の民間企業に働きかけます。
- ・ 耕作放棄地や遊休施設に関心を持つ企業への施設・用地紹介や情報提供に取り組みます。
- ・ 遊休施設を社員保養施設として利用したい企業への支援を検討します。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 上下流域自治体による検討体制を設けます。



## 政策の基本方針 5：広域連携による安全・安心な地域の形成

### ① 医療分野の県境を越える連携の促進

住民生活の安心を確保するために、最も基本となる地域医療体制を、県境を越えて整備します。

#### 【活動イメージ】

- ・ 公立病院を中心とした医療施設の広域利用を進めます。
- ・ 医科大学と三遠南信地域自治体との連携を促進します。
- ・ 県境近接地域で、休日診療、夜間診療の連携が取れていないため、隣接県の医療施設の情報発信、医療施設利用の連携を進めます。
- ・ ドクターヘリの県境を越えた活動を支えるため、中山間地域での中継基地（燃料補給等）設置を検討します。
- ・ 情報通信技術を活用した遠隔地医療診断を検討します。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 自治体を中心となって、具体的な検討、関係機関への働きかけを進めます。

### ② 三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進

三遠南信地域住民に対する行政サービスの向上と施設の有効活用を図るために、公共施設情報の連携や公共施設の広域的な利用を促進します。

#### 【活動イメージ】

- ・ 公共施設の県境を越えた利用を促進するポータルサイトの構築を検討します。
- ・ 公共施設の三遠南信地域内住民に対する利用制限を撤廃するとともに、自地域住民並の利用料金の設定を検討します。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 自治体を中心となって、事業を推進します。

### ③ 県境を越える防災体制の強化

東海地震等の大規模災害が想定されることから、地域住民の生命、身体、財産等を災害から守るために、防災に関する関係機関の相互協力を、県境を越えて取り組みます。

#### 【活動イメージ】

- ・ 地域の防災力の向上のため、自主防災組織の充実・連携に取り組みます。
- ・ 「三遠南信災害時相互応援協定」において、災害廃棄物の相互処理など、必要な項目の追加を検討します。
- ・ 広域防災拠点の相互連携を強化するため、港湾機能、道路機能（防災道路、緊急輸送路等）の充実を図ります。

#### 【推進主体とその活動】

- ・ 自治体を中心となって、自主防災組織や自治会等と協力して事業内容を検討します

第 I 期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	14
区分	山
政策の基本方針 項目	中山間地域を活かす流域モデルの形成 4-①
推進方針	「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進
主要施策	地域環境の持続性を確保するために、流域圏の「健全な水・物質循環」の視点から、水資源確保、水質改善、物質循環のメカニズム解明を進めながら、複数のプロジェクトを共同化することで関係機関の相互調整を促進します。
年度	平成21年度 2009.4~2010.3 平成22年度 2010.4~2011.3 平成23年度 2011.4~2012.3 平成24年度以降 2012.4~
工程表	<p>● 県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プランの実施</p> <p>● 各団体による国への働きかけ</p>
実施内容	<p>○ 中部圏広域地方計画（三遠南信流域都市圏活力向上PJ：天竜川流域における山地から海岸までの一貫した総合的土砂管理や多様な主体による上下流連携の促進）</p> <p>○ 県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プラン研究会による報告（H23.3.30）</p> <p>○ 豊川水系総合開発促進期成同盟会、愛知県豊川改修工事促進期成同盟会、東三河県営水道受水団体協議会、豊川用水二期事業促進協議会、東三河商工会議所・商工会による設楽ダムの要望活動（H21.7.6、H21.7.8、H21.10.19、H22.5.11、H23.7.5）</p>
推進主体	<p>&lt; SENA、自治体、商工会議所・商工会、大学、環境団体、国、県 &gt;</p> <p>国、県の協力の下に、市町村が中心となって活動促進を働きかけます。</p>

第Ⅰ期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	15		
区分	山		
政策の基本方針 項目	中山間地域を活かす流域モデルの形成 4-②		
推進方針	上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備		
主要施策	下流域都市住民の中山間地域への居住に対する関心を喚起することで、上流域への人口流入を図るとともに、流域圏の多様性を活用することによって三遠南信地域の定住の魅力を増大させます。このために、上流域と下流域の自治体が連携して流域定住の検討体制を構築します。		
年度	平成21年度 2009.4~2010.3		
工程表	平成22年度 2010.4~2011.3	平成23年度 2011.4~2012.3	平成24年度以降 2012.4~
	各団体による取り組み	各団体による取り組み	研究組織の設置 推進体制、データベース化、整備方針、仲介機能、情報発信機能、活用支援体制の検討
実施内容	<p>○東三河シニアリフレッシュ事業 (H21.10~21.11) (H22.10~22.11)</p> <p>「極・奥三河」地域体験プログラム (H23.7~23.11)</p> <p>○南信州定住自立圏構想の取り組み (H21.3.24~)</p> <p>定住自立圏形成協定の締結 (H21.7.14) 救急医療体制の確保等に圏域内で連携して取り組む。</p> <p>病児・病後児保育事業 (H22.10.12追加協定)、図書館ネットワークシステムの構築 (H22.12.27追加協定)</p> <p>○浜松市中山間地域振興計画の推進 (H22.4.1~)</p>		
推進主体	<p>&lt; SENA、自治体、所有者、管理者、地域住民、企業、商工会議所・商工会 &gt;</p> <p>上下流域自治体による検討体制を設けます。</p>		

第 I 期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	16
区分	住
政策の基本方針 項目	広域連携による安全・安心な地域の形成 5-①
推進方針	医療分野の県境を越える連携の促進
主要施策	住民生活の安心を確保するために、最も基本となる地域医療体制を、県境を越えて整備します。
年度	平成21年度 2009.4~2010.3 ● ..... → 平成22年度 2010.4~2011.3 ..... → 平成23年度 2011.4~2012.3 ..... → 平成24年度以降 2012.4~ ..... →
工程表	<p>関係者への働きかけ</p> <p>設置に向けた準備</p> <p>検討組織の設置 広域利用、大学病院との連携、 情報発信、中継基地設置、遠隔 医療の検討・研究</p>
実施内容	<p>○医療機関、休日夜間緊急医の検索システムの活用 (ながの医療情報Net) (愛知県救急医療情報システム) (医療ネットしずおか)</p> <p>○浜松市と豊橋市、新城市、南信州広域連合による航空消防応援協定の締結 (H22.3.30)</p> <p>○浜松市と豊川市、蒲郡市、田原市による航空消防応援協定の締結 (H22.6.29)</p>
推進主体	<p>&lt; 自治体、医療機関、医師会、大学、SENA &gt; 自治体が中心となって、具体的な検討、関係機関への働きかけを進めます。</p>

第 I 期重点プロジェクト工程表

平成23年10月24日時点

No.	17
区分	住
政策の基本方針 項目	広域連携による安全・安心な地域の形成 5-②
推進方針	三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進
主要施策	三遠南信地域住民に対する行政サービスの向上と施設の有効活用を図るために、公共施設情報の連携や公共施設の広域的な利用を促進します。
年度	平成21年度 2009.4~2010.3 平成22年度 2010.4~2011.3 平成23年度 2011.4~2012.3 平成24年度以降 2012.4~
工程表	<p>公共施設の広域的利用の推進</p> <p>公共施設情報の収集、データベース化、ポータルサイトの構築、広域的な利用の仕組みづくりの検討</p>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 浜松市・豊橋市・飯田市美術館連携「ミュージアム・サミット美の競演-三遠南信交流展-」の開催</li> <li>○ 豊橋市美術館 (H21.10.10~11.15)</li> <li>○ 浜松市・豊橋市・飯田市美術館連携「ミュージアム・サミット美の競演-三遠南信交流展-」の開催</li> <li>○ 飯田市美術館 (H22.9.11~10.11)</li> <li>○ 浜松市・豊橋市・飯田市美術館連携「三遠南信交流展ミュージアム・サミット-美の競演」の開催</li> <li>○ 浜松市美術館・秋野不矩美術館 (H24.2.24~3.25) 予定</li> </ul>
推進主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜ 自治体、地域住民 ＞</li> <li>自治体を中心となって、事業を推進します。</li> </ul>

第 I 期重点プロジェクト工程表

No.	18
区分	住
政策の基本方針項目	広域連携による安全・安心な地域の形成 5-③
推進方針	県境を越える防災体制の強化
主要施策	東海地震等の大規模災害が想定されることから、地域住民の生命、身体、財産等を災害から守るために、防災に関する関係機関の相互協力を、県境を越えて取り組みます。
年度	平成21年度 2009.4~2010.3 平成22年度 2010.4~2011.3 平成23年度 2011.4~2012.3 平成24年度以降 2012.4~
工程表	<p>● 圏域内消防の広域連携活動 (合同会議 三遠南信地区消防本部の開催)</p> <p>● 圏域内消防の広域連携活動 (三遠南信地域消防連絡会の開催)</p> <p>● 連携強化、充実に向けた取り組み 協定への追加項目の検討</p> <p>● 防災に関する関係機関の相互協力の充実</p>
実施内容	<p>○三遠南信災害時相互応援協定 (H8.7~)</p> <p>(1999年：豊橋市へ災害派遣活動実施、2010年：飯田市への災害派遣活動実施)</p> <p>○航空消防応援協定締結 (浜松市と東三河5市町村及び南信州14市町村) (H22.3.30)、施行 (H22.7.1~)</p> <p>○航空消防応援協定締結 (浜松市と東三河3市) (H22.6.29)、施行 (H22.7.1~)</p> <p>○「合同会議 三遠南信地区消防本部」での準備を経て、22年度「三遠南信地域消防連絡会」発足 (H22.7.30)</p> <p>○H23.3.30浜松市、南信州広域連合航空消防応援協定に基づき消防航空隊の出動要請があり消火活動を実施 (豊丘村)</p>
推進主体	<p>&lt; 自治体 (消防・防災・環境)、自主防災会、消防団 &gt; 自治体が中心となって、自主防災組織や自治会等と協力して事業内容を検討します。</p>

# 東三河広域協議会

■ **東三河8市町村の自治体により構成** ※商工会議所・商工会は賛助会員  
(豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村)

■ **平成5年4月設立** (東三河地方拠点都市地域整備推進協議会)

■ **目的** 自分のライフスタイルや生活環境を自らが選択し、自由に生きることができるような幅広い機能を備えた「生活の都」づくりを目指す。

■ **取組み 広域交流活動** ・田舎暮らしツアー、林業体験ワーキングホリデー、「ほの国スタンプラリー」、「ほの国通信」発行、愛知万博フレンドシップフォーラム 等



**広域課題研究**

東三河地域の共通課題を整理し、その課題解決に向けて政策調整や推進体制の協議、検討を行う。

・広域地域医療、広域消防、広域合併・道州制研究  
三河材の活用、東三河の将来像研究

・ **東三河シニアリフレッシュ事業**  
(団塊の世代対策、中山間地域の活性化)

## 東三河シニアリフレッシュ事業 ~ 都市部のシニアを呼び込み、意欲的なシニアを発掘 ~ 東三河広域協議会

### ■ 事業の目的

- ① 滞在型体験事業を実施することで、都市部のシニア層を東三河の中山間地域に呼び込み、心身ともにリフレッシュしてもらう。
- ② 地域体験・職業体験(異日常体験)などを通じて多様なライフスタイルを提案し、新たな就業に意欲的なシニアを発掘する。
- ③ 二地域居住や移住・定住の促進を図る。

### ■ 事業の概要

- 主な対象：リタイアした都市部の団塊世代  
事業期間：数週間～数ヶ月位  
事業内容：心身ともにリフレッシュでき、健康につながるような滞在型体験事業
- > 趣味の深堀、技術・技の習得(短期では難しい本格的な内容)
  - > 地域の伝統的な産業の職業体験、地元住民との交流 など

### ■ 事業経過 及び スケジュール

#### 【平成19年度】

- ・地域資源調査、先進事例調査

#### 【平成20年度】

- ・各種調査(地域資源、地元企業・都市部シニア層の意識調査)
- ・上記調査結果のマッチングにより、新たなビジネスモデルの検討
- ・東三河シニアリフレッシュシンポジウムの開催

#### 【平成21年度】調査モニター事業

- ・5つの奥三河プログラムを作成
- ・三泊四日程度の「滞在型体験事業」のモニタリング調査
- ・実施後のアンケート等により、参加者、受入者の意見聴取

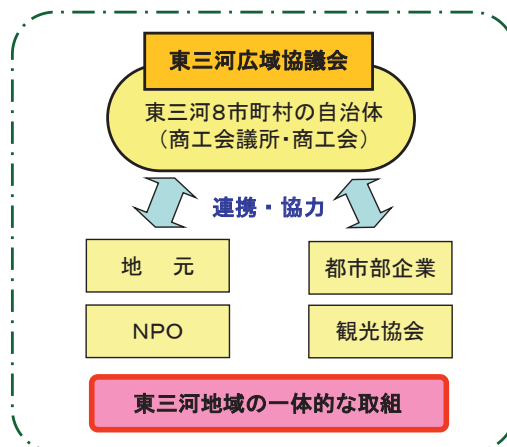
#### 【平成22年度】実証事業

- ・5つの「地域体験プログラム(短期滞在型)」、2つの「地域産業支援プログラム(長期滞在型)」を実証事業として実施

#### 【平成23年度】本格実施

- ・5つの「地域体験プログラム(短期滞在型)」、2つの「地域産業支援プログラム(長期滞在型)」を本格実施
- ・継続的な運営体制の構築に向け、各機関で調整

### ■ 連携体制



### ■ プロモーション

- ・各種イベントでのPR
- ・都市部企業へのPR
- ・各団体とのプロモーション連携



H22.10.12追加協定

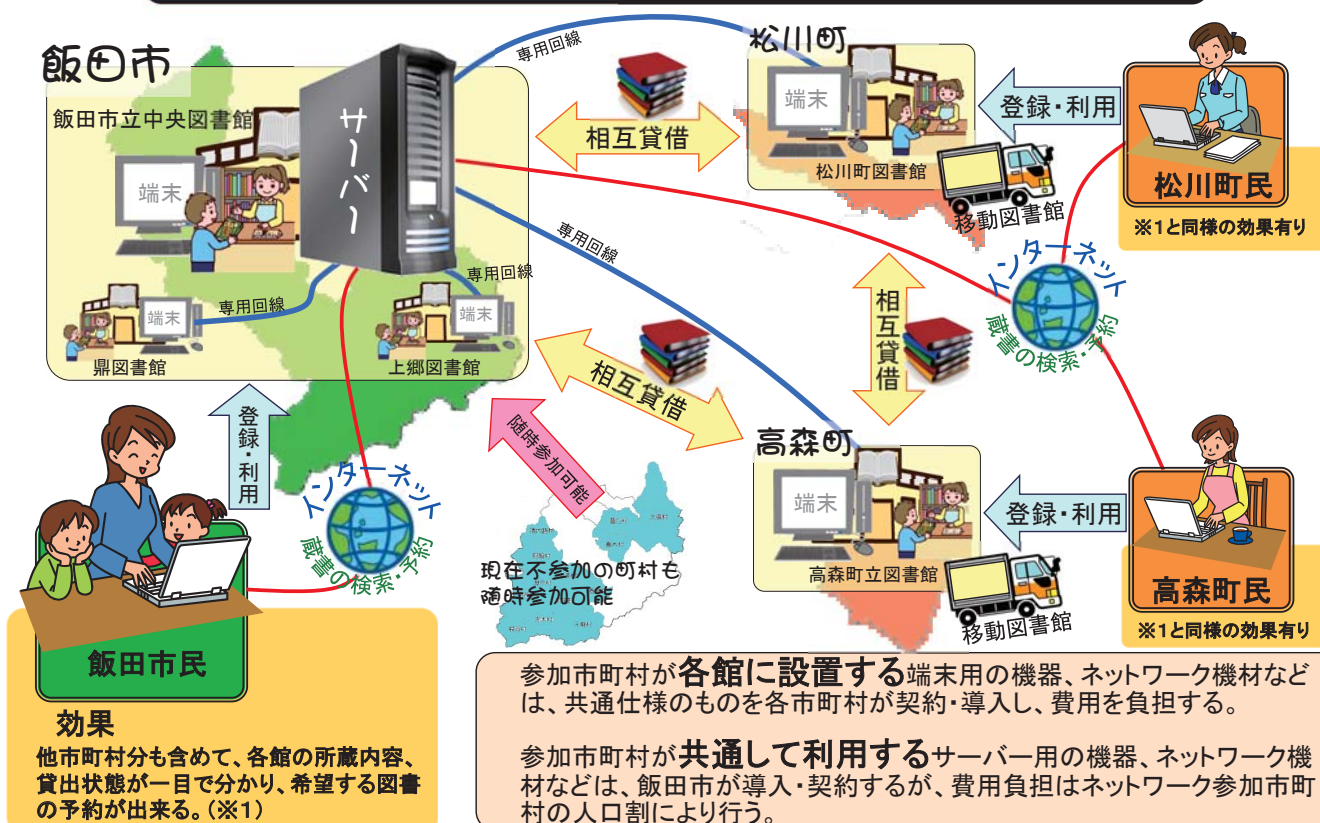
## 病児・病後児保育事業

市内の民間病院が、民間投資促進交付金(H21年度)を活用し施設整備



H22.12.27追加協定

## 図書館ネットワークシステムの構築







# 三遠南信地域連携ビジョン 概要版

## 三遠南信地域連携ビジョン概要版

# —世界につながる日本の中央回廊— 三遠南信 **250** 万流域都市圏の創造

三遠南信地域は、愛知県東三河地域、静岡県遠州地域、長野県南信州地域からなる3県の県境地域です。人口230万人、豊かな経済資源や多様な自然環境、特色ある歴史・文化は、都道府県にも匹敵する大きなポテンシャルを有しています。近年、市町村合併や広域交通ネットワークの整備による地域構造の変化、また、道州制や国土形成計画など国の地域づくり制度の検討が進められる中、地域住民をはじめ、大学、経済界、行政など圏域の発展を願う様々な関係者が力を合わせ、「三遠南信地域連携ビジョン」を策定しました。

「三遠南信 250 万流域都市圏の創造—世界につながる日本の中央回廊—」をテーマとし、三遠南信に対する思いと活動のベクトルを一致させることにより、相乗効果を発揮し、地域の振興発展を加速させていくことを期待しています。圏域の皆様には、「三遠南信地域連携ビジョン」にご理解をいただきますとともに、ビジョン推進に積極的なご参加をお願い申し上げます。

### ■ 三遠南信地域連携ビジョンを策定するに当たって以下の5つの目的があります。

- 道州制や国土形成計画など県境を越える地域づくり制度へのアピール
- 経済活動のグローバル化に対応した県境を越える産業競争力の強化
- 市町村合併による地域構造の変化に対応した広域行政の推進
- 地域連携活動の相乗効果の発揮
- 県境を越えた社会基盤を活かした地域づくり

### ■ 目標期間

三遠南信地域連携ビジョンの目標期間は、概ね10年間とし、三遠南信地域の目指すべき将来像と連携事業の方針を定めます。

### ■ 策定体制

#### ○三遠南信サミット

三遠南信地域の市町村長や議会、経済団体の代表、地域住民、国、県の関係機関などが一堂に集まり、平成5年度から毎年1回、地域の一体的な振興発展のために議論しています。この場で三遠南信地域連携ビジョンを審議し、決定しました。

#### ○三遠南信地域連携ビジョン検討委員会

三遠南信サミットから委嘱を受けた地域住民や大学、経済界、行政の代表で組織し、オブザーバーである国、県の意見を反映しながら、検討案を策定し、三遠南信サミットへ提案しました。

#### ○幹事会

三遠南信地域の行政、経済界、国、県の実務者レベルで組織し、検討委員会の審議に向け、関係間で調整しました。

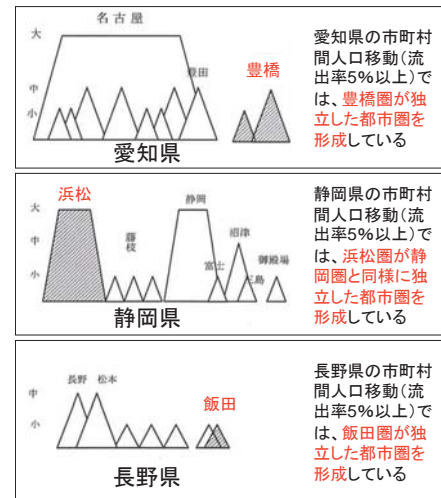
## ■ 三遠南信地域のポテンシャル

### ○都道府県に匹敵する経済規模

指標	順位	県名	規模	全国シェア (%)
事業所数※	17位	宮城県	107,565 事業所	1.8
		三遠南信	105,875 事業所	1.8
製造品出荷額等	18位	群馬県	101,876 億円	1.7
	5位	埼玉県	138,021 億円	4.9
年間商品販売額	6位	兵庫県	134,778 億円	4.7
	17位	群馬県	60,455 億円	1.1
農業産出額		三遠南信	58,822 億円	1.1
	18位	栃木県	54,723 億円	1.0
年間商品販売額	6位	愛知県	3,108 億円	3.6
	7位	熊本県	2,984 億円	3.5

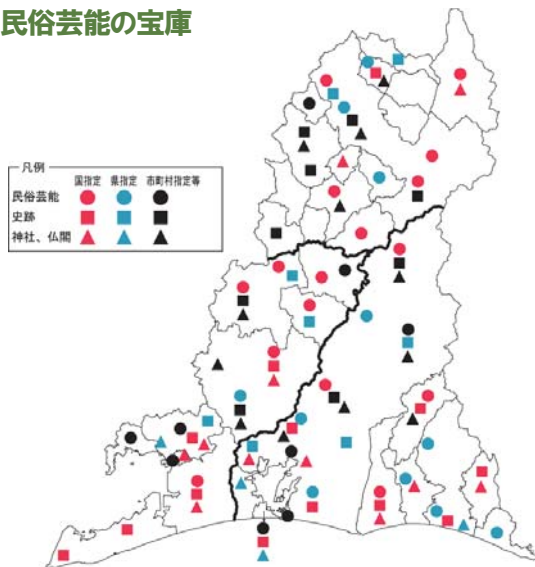
※事業所数は事業内容等不詳事業所を含む

### ○自立的な人口 230 万人の圏域

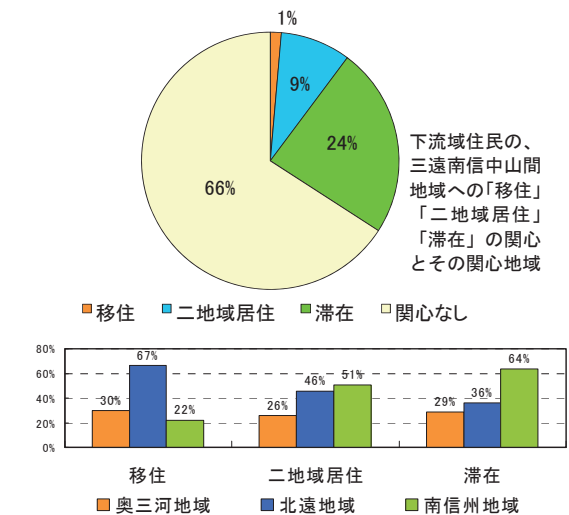


大：都市圏人口が100万人以上、核都市は50万人以上  
中：都市圏人口が50万人以上、核都市は20万人以上  
小：都市圏人口が10万人以上、核都市は5万人以上

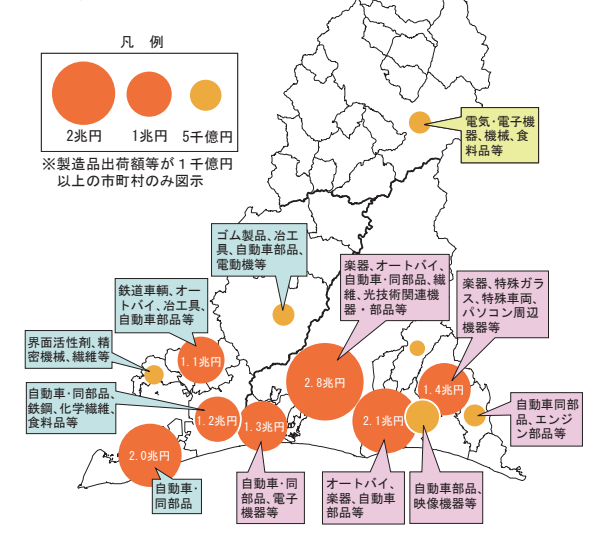
### ○民俗芸能の宝庫



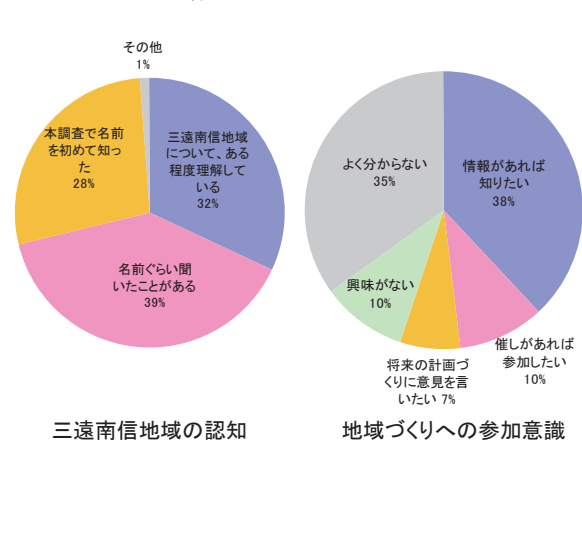
### ○下流域から上流域への定住指向の高まり



### ○特徴あるものづくり産業の集積



### ○三遠南信地域への高い関心



## ■ ポテンシャルから導き出される 5 つの課題

三遠南信地域のポテンシャルから、地域連携ビジョンを策定する上での課題として、次の5点を挙げます。

- 中部圏における「**自立した世界的都市圏**」としての機能強化
- グローバル化や産業構造に変化に対応した「**国際的な産業競争力**」の強化
- 自然や歴史に育まれた地域文化を活かした「**地域アイデンティティ**」の確立
- 天竜川・豊川流域圏において自然資源、人的資源、産業資源など補完と連携による「**流域循環圏**」の構築
- 道州制を見据えた「**県境を越える広域的な地域連携政策機能**」の構築

## ■ 三遠南信地域連携ビジョンのテーマ

三遠南信 250 万流域都市圏の創造 **—世界につながる日本の中央回廊—**



### ■ 目指すべき地域像

#### ① 日本の中央回廊の形成

太平洋側と日本海側の両地域を東西日本の中心で結びます。



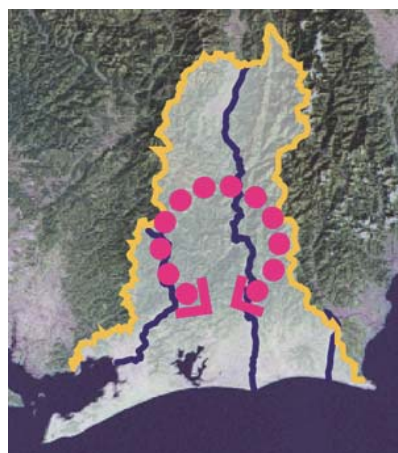
#### ② 大伊勢湾環状地域を構成する中核的都市圏の形成

伊勢湾を中心に産業や文化等の多様なネットワークを構築します。



#### ③ 流域循環圏の形成

上下流域が環境や経済をはじめ、広範な分野で有機的にネットワークする「流域循環圏」を構築します。



## ■ ゾーニング

三遠南信地域を東名高速道路、第二東名高速道路などを境界として、3つのエリアにゾーニングし、整備方針を掲げます。

### ①既存集積ゾーン

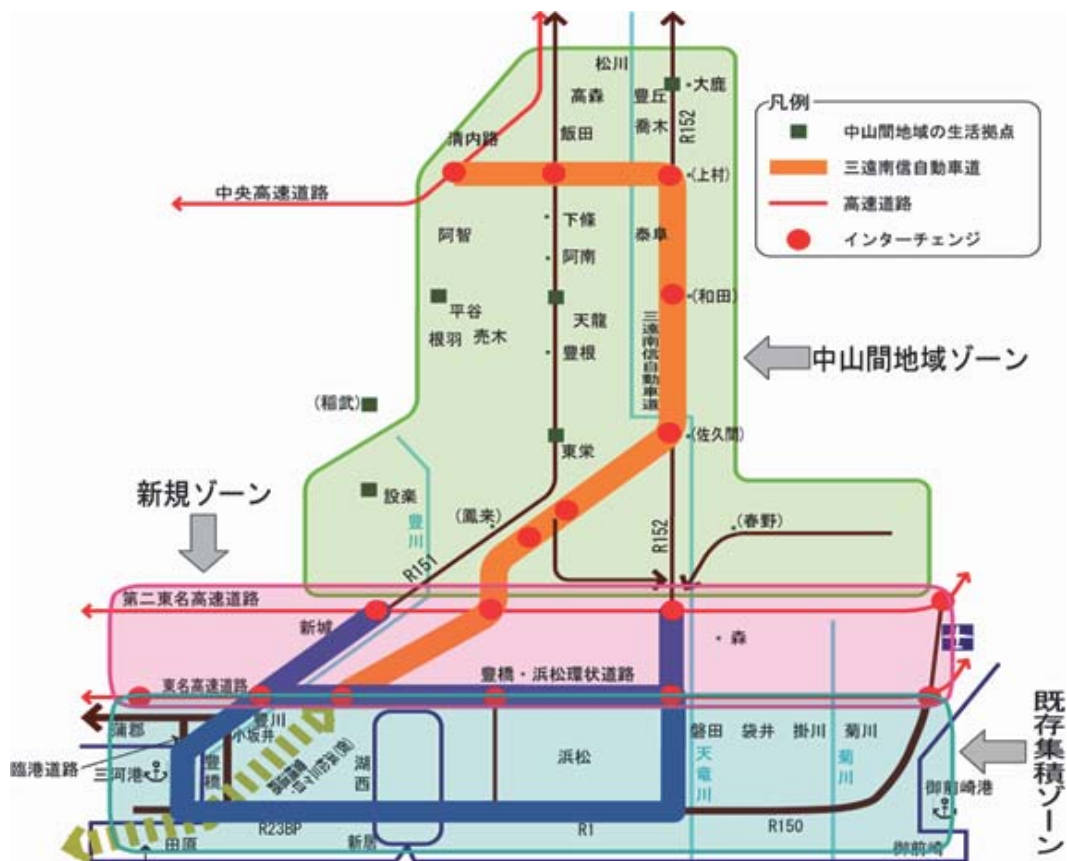
三遠南信地域南部の JR 東海道線、東名高速道路に沿った地域は、特色をもった都市が連続しており、高度な都市機能が集積しています。広域幹線道路として、東名高速道路や国道1号の東西幹線が地域を貫き、圏域の東西には三河港や御前崎港の国際港湾を擁しています。政令指定都市・浜松と中核市・豊橋とを広域交通網や情報網でより緊密に結びつけ、圏域の核として一体的な経済・文化圏を形成することにより、圏域全体の発展を牽引します。

### ②新規ゾーン

東名高速道路と第二東名高速道路に挟まれた地域で、住居系の郊外市街地と都市近郊農業地帯が混在する地域です。今後は、第二東名高速道路の開通に伴い、インターチェンジ周辺等への新たな産業集積が期待されます。浜名湖や地域の森林などの自然環境との調和を保ちつつ、バランスのとれた土地利用が必要です。

### ③中山間地域ゾーン

圏域北部の中山間地域は、過疎化・高齢化が進んでいる地域です。優れた自然環境の保全を基調とし、ライフスタイルの多様化に対応した交流人口の拡大を進めます。三遠南信自動車道の整備により、特色ある地域資源を活かすとともに、新規ゾーンや既存集積ゾーンとの活発な交流による地域振興が必要です。





## ■ 三遠南信地域連携ビジョンの5つの基本方針と重点プロジェクト

三遠南信地域の目指すべき地域像を踏まえたテーマを達成していくため、5つの政策の基本方針を設けて積極的に推進します。

### ○連携事業の政策体系

テーマ	政策の基本方針	推進方針	主要施策
三遠南信二五〇万流域都市圏の創造 ―世界につながる日本の中央回廊―	中部圏の中核となる地域基盤の形成	人との流動促進	三遠南信地域のゲートウェイの基盤整備 高原新定住圏の基盤整備 県境を越える三遠都市帯の基盤整備
		情報の流動促進	中山間地域の情報基盤整備 県境を越える情報共有化の推進
	持続発展的な産業集積の形成	既存産業の活力増進	人材・労働力の確保・育成 広域的な産業連携活動の推進 未利用資源の広域的な連携による有効活用の推進
		新規産業の創造と特徴ある産業クラスターの形成	特徴ある産業クラスターの形成 コミュニティ・ビジネスの育成 県境を越える大学・研究機関連携組織の形成
	塩の道エコミュージアムの形成	塩の道エコミュージアムによる文化の発信	歴史・文化資源の保全と風土記ネットワークづくり ものづくり文化の啓発と産業観光ネットワークづくり 多様な自然資源の保全とやすらぎのネットワークづくり
		エコミュージアムのプラットフォームづくり	エコミュージアムのプラットフォームづくり エコミュージアムの担い手づくり 三遠南信地域ファンづくり
	中山間地域を活かす流域モデルの形成	自然資源の循環モデルの形成	健全な水・物質循環を目指した環境保全活動の推進 森林資源の有効活用 新エネルギー導入の推進
		流域定住推進モデルの形成	流域定住推進体制の整備 中山間地域での居住環境の確保
	広域連携による安全・安心な地域の形成	生活環境の維持と質的向上	医療・福祉の連携 教育の連携 公共施設利用の柔軟性確保
		多文化共生の基盤づくり	多文化共生の基盤づくり
		広域的な防災体制の充実化	広域的な防災体制の充実化

### ○重点プロジェクト

#### 1 中部圏の中核となる地域基盤の形成

- ① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現
- ② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実
- ③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置
- ④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進
- ⑤ 県境を越えるマスコミの連携

#### 2 持続発展的な産業集積の形成

- ① 三遠南信ビジネスマッチングの促進
- ② 国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進
- ③ 特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携
- ④ 三遠南信地域大学フォーラムの設置

### 3 塩の道エコミュージアムの形成

- ① 「塩の道」風景街道の体制づくり
- ② 地域資源を活かす鉄道の有効活用
- ③ 海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進
- ④ 三遠南信アンテナショップの開設

### 4 中山間地域を活かす流域モデルの形成

- ① 「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進
- ② 上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備

### 5 広域連携による安全・安心な地域の形成

- ① 医療分野の県境を越える連携の促進
- ② 三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進
- ③ 県境を越える防災体制の強化

## ■ 推進体制

### ○三遠南信地域連携ビジョン推進会議( SENA セナ)の設置

- ・ 平成20年度に「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」を設置します
- ・ 地域住民、大学、経済界、行政の代表者により組織します

### ○三遠南信地域連携ビジョン推進会議( SENA セナ)の役割

- ・ 重点プロジェクトを推進します
- ・ 重点プロジェクトの評価・見直しを行います
- ・ 道州制等の国の動きに対する働きかけを行います
- ・ NPO法人や企業等が取り組む連携活動に対する支援を行います

### ○新連携組織への移行

- ・ 平成24年に、三遠南信地域連携ビジョンに基づいた連携事業を行うため、恒常的な新・連携組織を設置します



# 三遠南信地域連携ビジョンの推進

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）





## 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）の取組み — 三遠南信地域連携ビジョンの推進 —

平成23年10月24日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）

### I 三遠南信地域連携のあゆみについて

三遠南信とは、

愛知県東部の東三河（ひがしみかわ）地域を「三」、  
 静岡県西部の遠州（えんしゅう）地域を「遠」、  
 長野県南部の南信州（みなみしんしゅう）  
 地域を「南信」とした、  
 3県の県境にまたがる地域です。



人	口	約 230万人
総	面積	約 6,060平方km
農	業産出額	308,360百万円
製	造品出荷額等	13,797,391百万円
年	間商品販売額	5,882,218百万円
三遠南信地域連携ビジョン策定時点（H20.3）		

# 1 三遠南信の圏域①



# 1 三遠南信の圏域②

【凡例】  
 ※1は商工会議所がSENA構成員  
 自治体がオブザーバー参加  
 ※2は自治体がオブザーバー参加  
 ※（ ）の数字はSENA構成員の市町村数

長野県伊那市のオブザーバー参加  
 SENA委員会承認 平成23年9月28日

## 東三河地域 (8)

愛知県

豊橋市・豊川市・蒲郡市  
 新城市・田原市・設楽町  
 東栄町・豊根村

## 南信州地域 (14)

長野県

飯田市・松川町・高森町・  
 阿南町・阿智村・平谷村・  
 根羽村・下條村・売木村・  
 天龍村・泰阜村・喬木村・  
 豊丘村・大鹿村

## 遠州地域 (5)

静岡県

浜松市・磐田市・袋井市  
 湖西市・森町



H23.4.1現在

## 2 三遠南信地域の歴史的つながり

三遠南信地域は、天竜川、豊川の両河川の流域であることから、これらの河川を利用した水運が盛んでした。

また「塩の道」と呼ばれる三州街道（飯田街道）、遠州街道（秋葉街道）、中馬街道などの陸運によっても平野部と内陸部とが結ばれ、交流が活発に行われていました。

これにより、この地域は、文化、経済、信仰など様々な分野において、行政の境界を越えて独自の生活文化圏を形成してきました。

この生活文化圏は、戦国大名による勢力圏の変遷や明治維新による政治的な意図に基づく地域分割にもかかわらず、現在も続いています。



荷物を運ぶ中馬



川合花の舞（遠州 浜松市佐久間）

5

## 3 広域的な取り組みの経緯

- |               |  |
|---------------|--|
| 昭和27 (1952) 年 | 「天竜・東三河特定地域総合開発計画」(国土総合開発法)  |
| 49 (1974) 年   | 「天竜奥三河地域総合調査報告」(3県知事会合意に基づく)   |
| 60 (1985) 年   | 「三遠南信トライアングル構想」(中部経済連合会策定)   |
| 62 (1987) 年   | 「四全総」により「三遠南信自動車道(高規格幹線道路)」位置づけ  |
| 平成 5 (1993) 年 | 「三遠南信地域整備計画結果の公表」  |
| 6 (1994) 年    | 「三遠南信地域整備連絡会議」設立 ①<br>(建設省、長野県、愛知県、静岡県、59市町村、中部経済連合会、飯田・豊橋・浜松商工会議所)<br>「第1回 三遠南信サミット&シンポジウム」開催                           |
| 8 (1996) 年    | 「三遠南信地域交流ネットワーク会議」設立(59市町村) ②  |
| 9 (1997) 年    | 「三遠南信地域経済開発協議会」設立(68商工会議所・商工会) ③   |
| 17 (2005) 年   | 「三遠南信自動車道早期開通期成同盟会」の設立   |
| 20 (2008) 年   | 「三遠南信地域連携ビジョン」を合意(20年3月策定)<br>「三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)」の発足(20年11月)  |
| 21 (2009) 年   | 「三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会」の発足<br>(飯田・豊橋・浜松の3市議会)<br>「三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)」の事務局体制の強化(浜松市・豊橋市・飯田市の職員で事務局を構成)             |
| 22 (2010) 年   | 「三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会」の改組<br>(東三河、遠州及び南信州地域の市町村議会の議員により構成)<br>「三遠南信地域市町村議会議長協議会」の発足<br>(東三河、遠州及び南信州地域の市町村議会の議長により構成) |

※①～③は、SENAの構成員

6



## 4 三遠南信サミットの歴史

回数	開催日	開催テーマ	開催場所
1	H6.2.10	三遠南信地域に今、21世紀の風が吹く *「三遠南信サミット&シンポジウム」として開催	浜松市
2	H6.11.21	交流がつくる三遠南信の未来	豊橋市
3	H7.10.11	次代に向けて動く三遠南信 ～地域を変える交流の創出～	飯田市
4	H8.11.22	三遠南信地域の新たな連携と共生に向けて	浜松市
5	H9.11.17	三遠南信地域の新たな連携 ～循環型社会の構築と新たな活力の創造～	豊橋市
6	H10.10.8	三遠南信の新たなステージをめざして ～交流から参加と連携へ～	飯田市
7	H11.7.23	人が、物が、そして地域が動く *「三遠南信サミット」と名称変更	雄踏町
8	H12.7.26	絆、そして融合 ～三遠南信地域の明日をめざして～	豊橋市
9	H13.11.8	交流の新たなステージへ ～21世紀 三遠南信地域住民交流の創出～	飯田市
10	H14.7.24	快適空間・三遠南信 ～元気な観光・交流の新たな創出～	浜松市
11	H15.10.27	まるごとミュージアム・三遠南信 ～魅力再発見からもてなしのまちづくりへ～	豊橋市
12	H16.11.25	新たな歴史の扉を拓く ～三遠南信からの発信～	飯田市
13	H17.11.4	三遠南信・新たな時代の幕開け ～夢街道いよいよ実現へ～	浜松市
14	H18.10.23	三遠南信・圏域の創生をめざして ～つながる 広がる 躍動する～	豊橋市
15	H19.11.14	将来(あす)への展望 ～今、三遠南信地域の新たな協創のとき～	飯田市
16	H21.2.10	三遠南信250万流域都市圏の創造に向けた挑戦5	浜松市
17	H21.11.13	日本の県境連携モデルの構築 -三遠南信地域連携ビジョンの実現に向けて-	豊橋市
18	H22.11.12	地域主権時代における県境地域連携モデルの推進 ～融合に向けた自発的な地域づくりの実践～	飯田市
19	H23.10.24	三遠南信流域都市圏構築への挑戦 ～融合、新たなステージへ～	浜松市

H18  
道州制において  
同じ道州を目指  
すことを決議

H19  
三遠南信  
地域連携ビジョン  
を合意

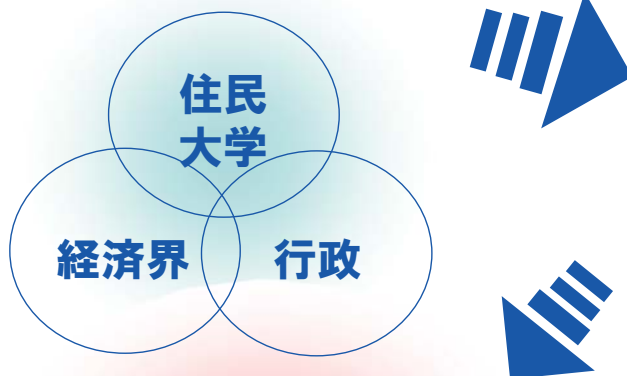
H20  
三遠南信  
地域連携ビジョン  
推進会議の立ち上  
げにより本格的な  
稼動

7

## II 三遠南信地域連携ビジョンについて

### 検討委員会

(平成18年10月設置)



### 三遠南信地域連携ビジョン 平成20年3月策定

<新たな地域振興の指針>

(構成員全員の書面決議)

### 三遠南信サミットで合意

三遠南信地域連携ビジョン

「目指すべき地域像」

「地域連携事業の方針」

<H19.11.14 >



8

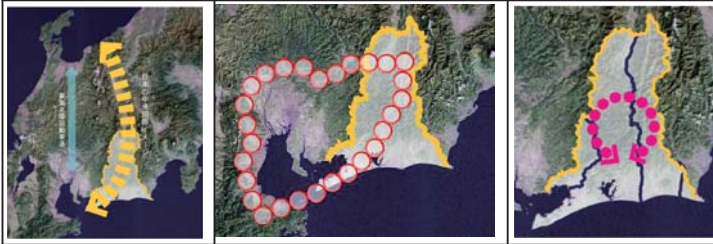
# 1 三遠南信地域連携ビジョンの概要

## ■三遠南信地域連携ビジョンの将来像

—世界につながる日本の中央回廊—

## 三遠南信250万流域都市圏の創造

### ■目指すべき地域像



#### ①日本の中央回廊の形成

太平洋側と日本海側の両地域を東西日本の中心で結ぶ

#### ②大伊勢湾環状地域を構成する中核的都市圏の形成

伊勢湾を中心に産業や文化等の多様なネットワークを構築

#### ③流域循環圏の形成

上下流域が環境や経済をはじめ、広範な分野で有機的にネットワークする「流域循環圏」を構築

### ■五つの目的

- 道州制や国土形成計画など県境を越える地域づくり制度へのアピール
- 経済活動のグローバル化に対応した県境を越える産業競争力の強化
- 市町村合併による地域構造の変化に対応した広域行政の推進
- 地域連携活動の相乗効果の発揮
- 県境を越えた社会基盤を活かした地域づくり

### ■目標期間

三遠南信地域連携ビジョンの目標期間は、概ね10年間とし、三遠南信地域の目指すべき将来像と連携事業の方針を定める。

### ■策定体制

- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENAセナ）
  - ・平成20年11月に立ち上げ、事務局を浜松市に開設
  - ・平成21年4月に豊橋市、飯田市職員が事務局に加わる
- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENAセナ）の役割
  - ・重点プロジェクトの推進
  - ・重点プロジェクトの評価・見直し
  - ・道州制等の国の動きに対する働きかけ
  - ・NPO法人や企業等が取り組む連携活動に対する支援

### ■五つの基本方針



中部圏の中核となる地域基盤の形成



持続発展的な産業集積の形成



塩の道エコミュージアムの形成



中山間地域を活かす流域モデルの形成

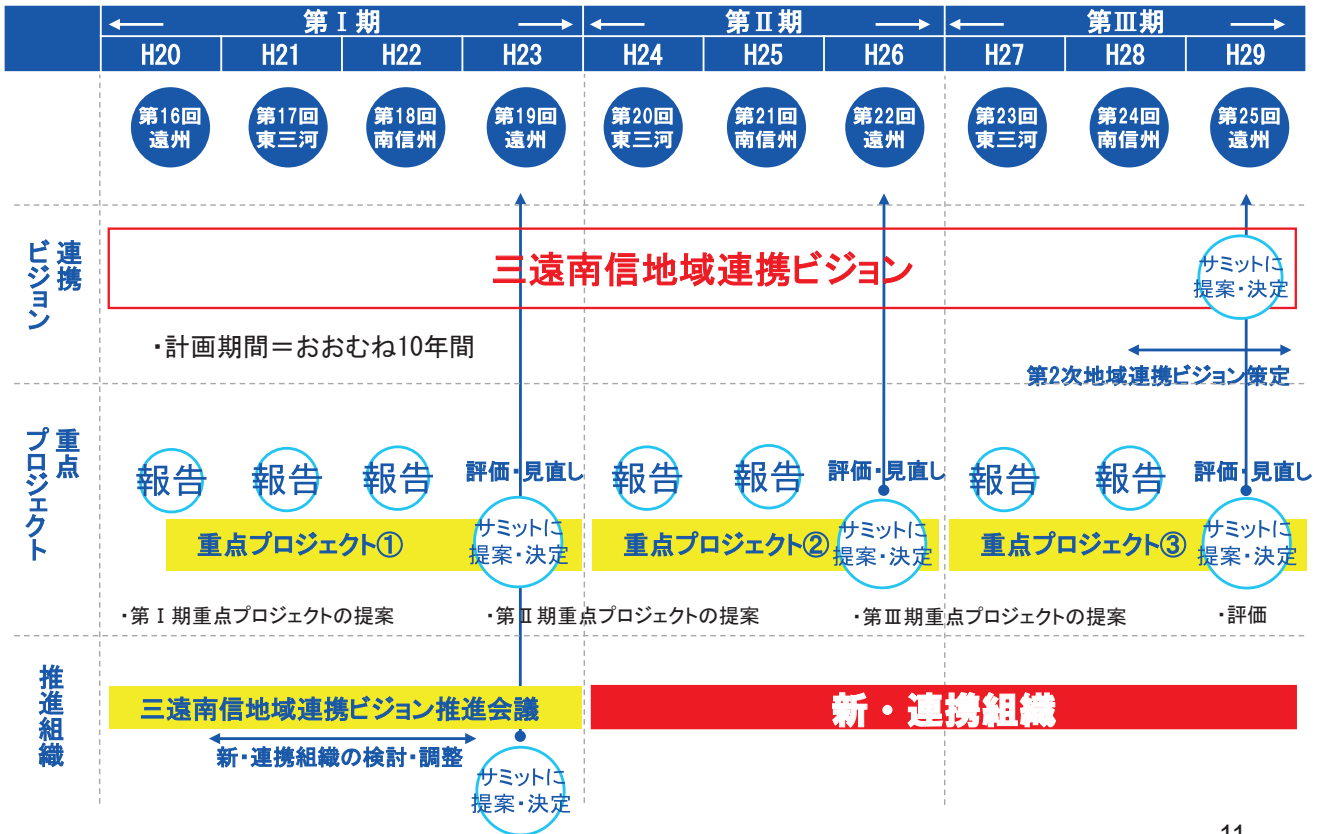


広域連携による安全・安心な地域の形成

# 2 五つの基本方針と重点プロジェクト

連携事業の政策体系			重点プロジェクト
テーマ	政策の基本方針	推進方針	
三遠南信250万流域都市圏の創造 —世界につながる日本の中央回廊—	中部圏の中核となる地域基盤の形成	人との流動促進	<b>1. 中部圏の中核となる地域基盤の形成</b> ①三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現 ②三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実 ③リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置 ④豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進 ⑤県境を越えるマスコミの連携  <b>2. 持続発展的な産業集積の形成</b> ①三遠南信ビジネスマッチングの促進 ②国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進 ③特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携 ④三遠南信地域大学フォーラムの設置  <b>3. 塩の道エコミュージアムの形成</b> ①「塩の道」風景街道の体制づくり ②地域資源を活かす鉄道の有効活用 ③海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進 ④三遠南信アンテナショップの開設  <b>4. 中山間地域を活かす流域モデルの形成</b> ①「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進 ②上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備  <b>5. 広域連携による安全・安心な地域の形成</b> ①医療分野の県境を越える連携の促進 ②三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進 ③県境を越える防災体制の強化
		情報の流動促進	
	持続発展的な産業集積の形成	既存産業の活力増進 新規産業の創造と特徴ある産業クラスターの形成	
	塩の道エコミュージアムの形成	塩の道エコミュージアムによる文化の発信 エコミュージアムのプラットフォームづくり	
	中山間地域を活かす流域モデルの形成	自然資源の循環モデルの形成 流域定住推進モデルの形成	
広域連携による安全・安心な地域の形成	生活環境の維持と質的向上 多文化共生の基盤づくり 広域的な防災体制の充実化		

### 3 三遠南信地域連携ビジョン スケジュール



11

### 4 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）

#### 目的

三遠南信地域連携ビジョンのテーマである「三遠南信250万流域都市圏の創造」のため、東三河地域、遠州地域及び南信州地域の県境を越えた地域連携を推進し一体的な圏域の発展を目指す。

#### 事業

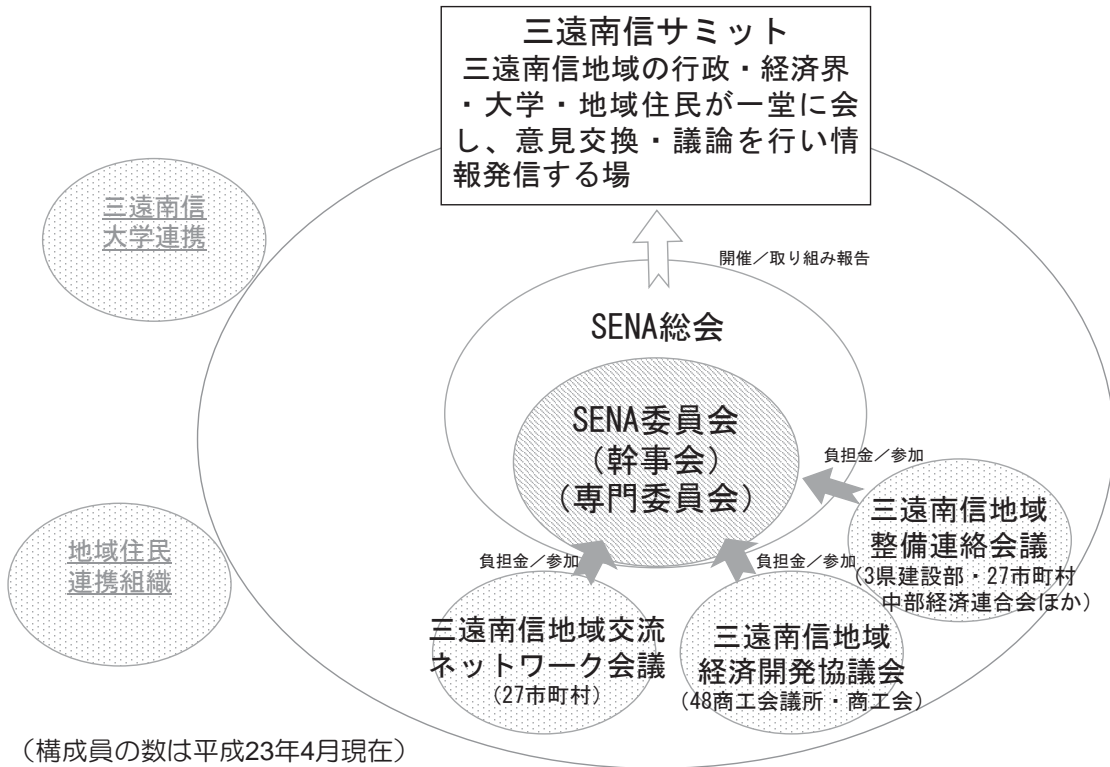
- (1) 三遠南信サミットの開催
- (2) 連携ビジョンに定めた重点プロジェクトの推進
- (3) 重点プロジェクト推進状況の評価
- (4) 道州制に関する国等への働きかけ
- (5) NPO法人、企業等が取り組む三遠南信地域の連携に資する活動に対する支援
- (6) 三遠南信地域の一体的な圏域を確立するための組織の検討
- (7) その他SENAの目的達成に必要な事業

#### 構成員

- (1) 三遠南信地域交流ネットワーク会議の構成員
- (2) 三遠南信地域経済開発協議会の構成員
- (3) 三遠南信地域整備連絡会議の構成員
  - ・連携ビジョンの推進に適切な助言を得るため、アドバイザーを置くことができる。
  - ・必要に応じて、オブザーバーを置くことができる。

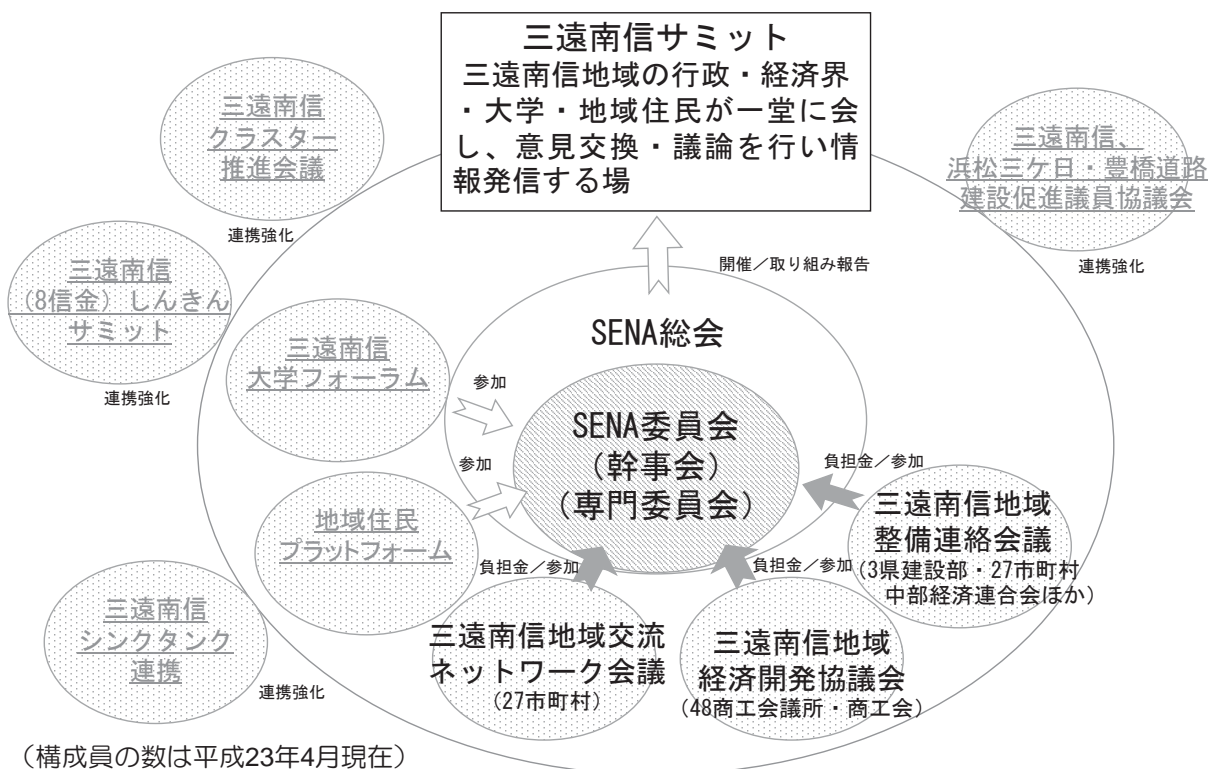
12

## 5 SENA組織体制（1）（現在のすがた）



13

## SENA組織体制（2）（目指すべき姿）



14

# Ⅲ 三遠南信地域の連携・交流事業の概要

## 1 第18回三遠南信サミット2010 in南信州の概要

日 時：平成22年11月12日（金）13:00～20:00  
場 所：飯田文化会館・シルクホテル  
テーマ：地域主権時代における県境地域連携モデルの推進  
ー融合に向けた自発的な地域づくりの実践ー  
主 催：三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）  
共 催：三遠南信交流ネットワーク会議  
三遠南信地域経済開発協議会  
三遠南信地域整備連絡会議  
後 援：国土交通省・経済産業省・農林水産省  
長野県・静岡県・愛知県



- 1 各種総会／役員会  
三遠南信地域経済開発協議会役員会  
三遠南信地域住民セッション
- 2 全体会 ◆トップ対談  
テーマ「地域主権時代における三遠南信地域の目指すべき姿」  
コーディネーター：（財）東三河地域研究センター 常務理事 戸田敏行 氏  
パネリスト：浜松市長、豊橋市長、飯田市長、  
浜松商工会議所会頭、豊橋商工会議所会頭、飯田商工会議所会頭
- 3 分科会 「道」「技」「風土」「山・住」分野に関する議論
- 4 報告会 分科会成果報告、サミット宣言
- 5 交流会 三遠南信「地酒」サミット（地酒の試飲会）

15

## 1 第18回三遠南信サミット2010in南信州 <サミット宣言>②

### 地域主権時代における県境地域連携を自負と責任を持って先導

- 1 圏域の背骨となる三遠南信自動車道の早期開通をはじめ、リニア中央新幹線の早期開業と圏域北部の玄関口となるリニア中央新幹線飯田駅の設置を目指すとともに、東西南北高速移動時代に備えた浜松三ヶ日・豊橋道路等の整備、三遠伊勢連絡道路の実現に向け、三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）を中心とした強固な連携の下、地域一丸となって提言活動を進めます。
- 2 新産業の集積と基幹産業化、既存産業の再成長に向け、産学官金連携を一層強固にし、次世代輸送用機器、農商工連携、医工連携、光エネルギー環境分野の取り組みを加速させるとともに、海外市場も見据えながら広域的な展開を図ります。また、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムの設置に向けた取り組みを進めます。
- 3 三遠南信地域の塩の道エコミュージアムを構成する歴史的・文化的な地域資源の情報の一元化と発信体制の強化を図ります。また、三遠南信地域社会雇用創造事業を通して社会的企業を支える人材の育成や社会的企業の起業支援に取り組み、三遠南信250万流域都市圏を支える雇用創造ネットワークの構築を目指します。
- 4 安全・安心な地域づくりの実現に向け、地域住民の生命、身体、財産等を災害から守るために県境を越えた広域防災連携を推進します。また、中山間地域における定住促進や流域定住推進モデルの形成に向け、情報の一元化と圏域内外への発信体制の整備に取り組みます。
- 5 三遠南信地域の融合に向けて、広域連合など平成24年度からの新・連携組織への移行について準備を進めます。

16

## 2 三遠南信地域連携ビジョンの推進

### 三遠南信地域住民団体意向調査

- 1 事業費 290,136円
- 2 事業期間 平成23年2月10日から平成23年3月31日まで
- 3 事業内容 県境を越えて広域的に活動する住民団体に対する支援や、住民団体相互による連携体制の構築に向けた支援するための基礎資料として、以下の3点に焦点を当てたアンケート調査を実施。  
①団体基本情報（2011年1月31日現在）、  
②NPO法人や住民団体との交流・連携の意向  
③NPO法人や住民団体との交流・連携ネットワーク構築
- 4 実施方法 592団体（愛知県、静岡県、長野県にNPO登録されている団体または住民セッションに参加経験のある団体）に対して実施。136団体から回答を得た。
- 5 実施結果
  - ・回答したどの団体も、他の団体との交流・連携の実績があった
  - ・「他団体の活動を参考にできた」「活動の幅が広がった」といった意見が連携・交流による効果として挙げられた。
  - ・交流・連携の必要性については多くの団体が認めている。
  - ・団体との交流・連携ネットワーク構築にあたっては、情報共有・交換のためのメーリングリスト等の仕組みやツールが整備が望まれている。
  - ・団体との交流・連携を図る意見交換会（交流会）の開催が期待されている。
- 6 結果報告 SENAホームページにて掲載 (<http://www.sena-vision.jp/news/026.html>)

17

## 3 三遠南信アンテナショップ開設の検討①

### 目的

三遠南信地域連携ビジョンの主要施策である「三遠南信地域ファンづくり」を推進し、地域の情報発信力を高め、地域固有の商品・サービスの提供を図る。

その情報発信と特産品販売の場となる、三遠南信アンテナショップ設置に向け、検討材料となる各種事業を行う。

#### ①地域資源の販売 社会実験（平成21年1月24日～25日）

- ・場所 浜松市（べんがら横丁）
- ・内容 浜松市、豊橋市、飯田市等の拠点都市での地域資源の販売戦略の検討および情報発信のため特産品物産展を実施した。



#### ②地域資源の販売 社会実験（平成21年1月31日～2月1日）

- ・場所 東京都板橋区（ハッピーロード大山商店街）
- ・内容 大都市部での地域資源の販売戦略の検討および情報発信のため、特産品物産展を実施した。



#### ③商品評価会（平成22年3月12日）

- ・場所 浜松市（ホテルコンコルド）
- ・内容 三遠南信地域の物産を集め、小売業者・卸売業者による商品評価会を実施した。



18

### 3 三遠南信アンテナショップ開設の検討②

- ④三遠南信ガイドブック（平成22年3月25日発行）
- ・内容 三遠南信地域の知名度・認知度の向上を図るため、三遠南信地域の魅力ある地域資源を紹介する情報誌「三遠南信ガイドブック」を発行。



- ⑤三遠南信「塩の道」物産展—ええじゃないか市—（平成23年3月20日～21日）
- ・場所 豊橋市（ジャスコ豊橋南店）
  - ・内容 三遠南信地域資源の魅力向上、差別化による独自ブランドの創出を目指し、圏域内への周知と情報共有を図ることを目的に社会実験を実施。

- ⑥三遠南信地域資源情報データベース（平成23年6月掲載）
- ・内容 小売業者、卸売業者、宿泊業者、飲食業者、マスコミ等が簡単に各種地域情報を閲覧することで、新たな連携の契機となるよう、広域地方計画先導事業において収集した地域資源情報を整理し、「三遠南信地域資源情報データベース」を作成した。



- ⑦イチオン逸品展（平成23年8月6日～7日）
- ・場所 飯田市（アイパーク）
  - ・内容 各地域が取り組む地域活性化や商品の販路拡大を後押しするため、社会実験として特産品物産展を実施。



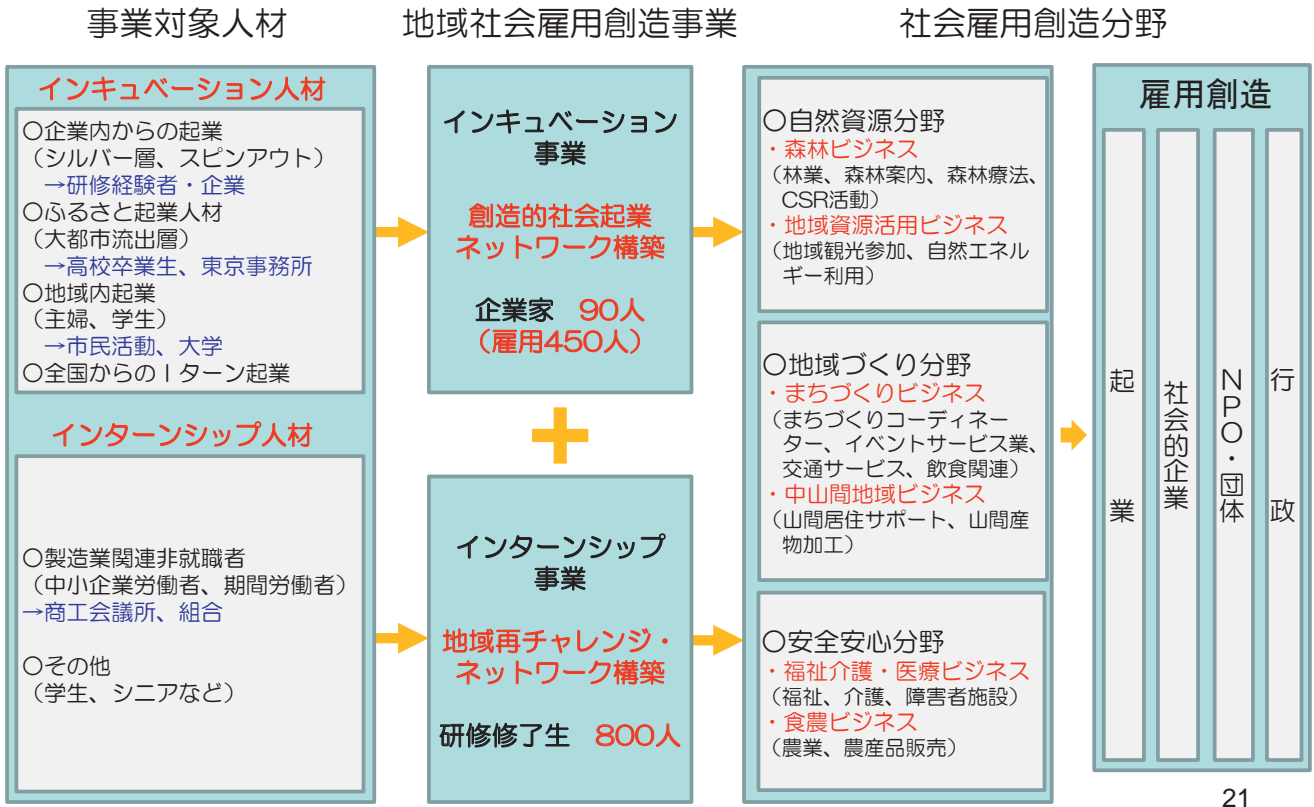
19

### 4 三遠南信地域社会雇用創造事業①

- |        |  |
|--------|--|
| 1 事業費  | 7億円（平成22年3月24日交付決定）<br>内閣府の「地域社会雇用創造事業」に応募し、採択（53事業者の応募のうち、採択は全国12事業者）   |
| 2 事業期間 | 平成22年3月24日から平成24年3月31日まで   |
| 3 事業目的 | 次の3分野において、社会起業インキュベーション事業及び社会的企業人材創出・インターンシップ事業を行うことにより、雇用創造のネットワーク・システムを構築し、社会的企業による継続的な雇用創造を図る。<br>(1) 自然資源を活用した雇用創造分野（森林ビジネス、地域資源活用ビジネス）<br>(2) 地域づくりによる雇用創造分野（まちづくりビジネス、中山間地域ビジネス）<br>(3) 安心安全を確保するための雇用創造分野（食農ビジネス、福祉介護・医療ビジネス）   |
| 4 事業内容 | <p>【社会起業インキュベーション事業】</p> <p>三遠南信地域においてビジネスインキュベーションの実績を持つ諸機関と連携し、「企業内から発生する起業」、大都市及び全国へ流出した人材による「ふるさと起業」、地域内居住者による「地域内発起業」及び全国からの「Iターン起業」を支援します。</p> <p>数値目標：起業支援者数 90人</p> <p>【社会的企業人材創出・インターンシップ事業】</p> <p>三遠南信地域において社会活動の実績を持つNPO法人等と連携し、非就業者（期間雇用者等）、学生・シニアなどを対象としたインターンシップ事業を行い、社会的企業への就職を支援します。</p> <p>数値目標：インターンシップ研修修了生 800人</p> |
| 5 事業主体 | 三遠南信地域連携ビジョン推進会議   |

20

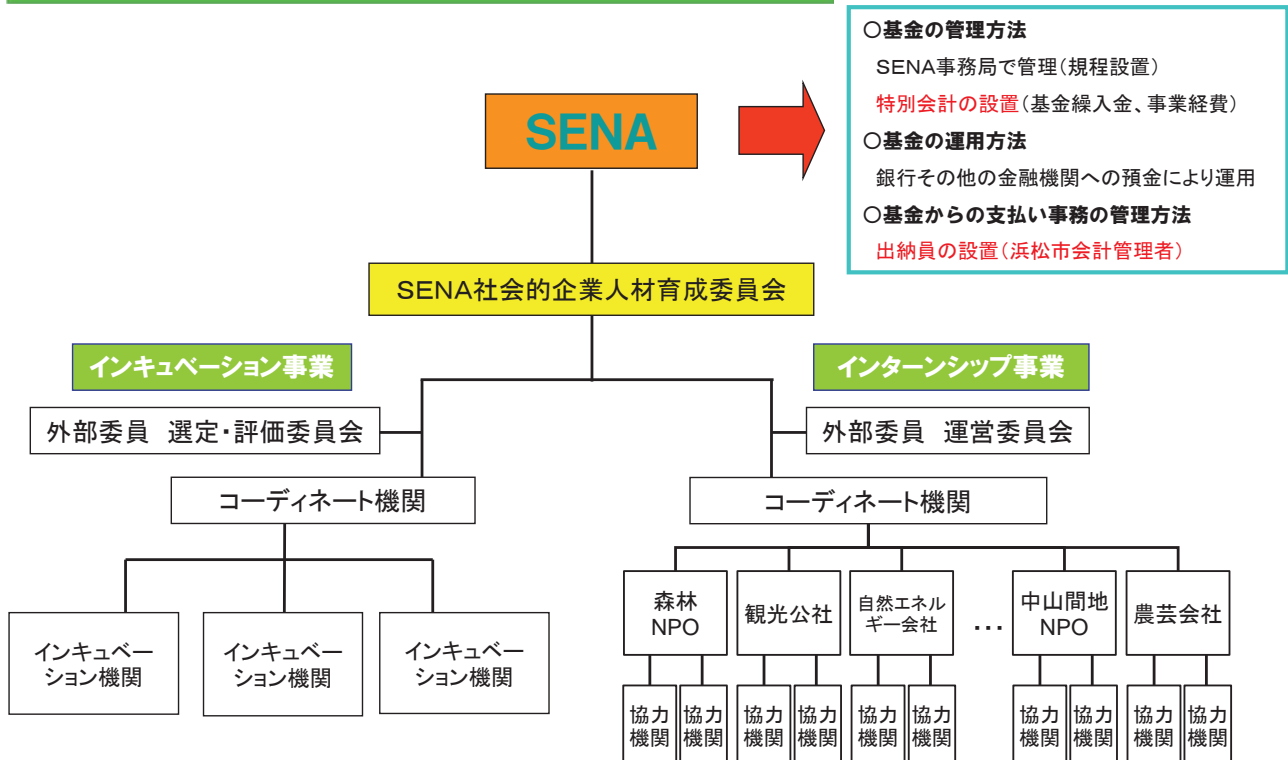
## 4 三遠南信地域社会雇用創造事業② 事業対象人材と雇用創造分野



21

## 3 三遠南信地域社会雇用創造事業③

### 推進体制及び基金の運用・管理方法



22



## 4 三遠南信地域社会雇用創造事業④ H23上半期までの実績

【社会起業インキュベーション事業】 起業支援者数 84人

◆起業支援対象者数（起業地域別）

（H23.10.1現在）

地域名	第1期		第2期		第3期		第4期		合計	
	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者	起業支援対象者	起業者
東三河	10	2	9	4	14	0	9	0	42	6
遠州	5	3	6	0	8	0	11	0	30	3
南信州	1	1	3	0	3	0	5	0	12	1
合計	16	6	18	4	25	0	25	0	84	10

【社会的企業人材創出・インターンシップ事業】

インターンシップ研修修了生 864人

◆研修申込・修了者数（住所地域別）

（H23.10.1現在）

地域名	第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		第6期		合計	
	申込者数	修了者数	申込者数	修了者数	申込者数	修了者数	申込者数	修了者数	申込者数	修了者数	申込者数	修了者数	申込者数	修了者数
東三河	43	39	53	48	35	31	69	65	50	42	52	0	302	225
遠州	37	29	76	69	139	128	146	135	149	135	152	0	699	496
南信州	1	1	32	26	19	12	15	12	4	4	5	0	76	55
その他地域	25	24	12	10	29	27	13	12	20	15	27	0	126	88
合計	106	93	173	153	222	198	243	224	223	196	236	0	1,203	864



## 5 三遠南信地域の取り組み（各地域における連携事業等）

### （1）産業連携

#### ①光・電子技術イノベーション創出拠点（地域中核産学官連携拠点）H21.6.18採択

新産業創成のため、次代を担う世代の理数教育や産業支援人材を含めた、中・長期的な人材育成を徹底的に行うとともに、垂直型からネットワーク型への産業構造の転換を進める。  
（浜松・東三河地域）

#### ②三遠南信地域基本計画 H22.3.25同意

ものづくり基盤技術と先端光・電子技術を活かして新産業の創出を図り、10年後の基幹産業化を目指す。  
（浜松市、豊橋市、飯田市）

#### 地域企業立地促進等事業費補助事業

平成22年4月1日から、平成27年3月31日までの5年間にわたって「三遠南信クラスター推進会議」が進める事業が採択される予定。平成22年度から各種シンポジウムやセミナー、連携事業が実施されている。



同意書交付式：平成22年4月2日

#### ③浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション【地域イノベーション戦略推進地域】 H23.8.1採択

最先端の光・電子技術を基盤として、「輸送機器用次世代技術産業」「新農業」「健康医療産業」「光エネルギー産業」の新産業4分野の基幹産業化を図ることにより、より良いQOL（Quality of Life）を志向する安全・安心・快適で持続的に成長可能な社会を実現する。（浜松・東三河地域）

## ◆三遠南信(浜松市・豊橋市・飯田市)の基本計画の概要

### 【地域のポテンシャル】

- 輸送用機器、精密加工産業の全国的集積地域
- 全国有数の農業生産額
- 世界水準の光・電子関連技術・産業

### 【地域ビジョン】

- 「三遠南信地域連携ビジョン(H20.3策定)」
- 産学官連携拠点「光・電子技術イノベーション創出拠点(H21.6認定)」

### 【計画のポイント】

三遠南信(浜松市・豊橋市・飯田市)地域において、知と産の融合、企業間連携、異業種・異分野融合等による三遠南信広域イノベーションクラスターの創成を通じて、当該地域で高いポテンシャルを有する輸送機器用次世代技術産業、健康・医療関連産業、新農業、光エネルギー産業の4分野における新産業の集積と基幹産業化の実現を目指す。

#### 【1. 集積区域】

静岡県浜松市、愛知県豊橋市、長野県飯田市 (可住地面積) 821.91ha

#### 【2. 集積業種】

①輸送機器用次世代技術産業 ②健康・医療関連産業 ③新農業 ④光エネルギー産業

#### 【3. 成果目標(目標年次:平成26年度)】

- 新規事業件数 3,360件
- 製造品出荷額 9,750億円
- 新規雇用創出数 10,000人

#### 【4. 目標に向けた事業環境整備等】

- 三遠南信広域イノベーションクラスター形成  
(次世代輸送用機器、航空宇宙、健康医療、新農業、光・電子)
- 人材育成 (コーディネータの戦略的育成、中長期的な人材育成)
- 事業環境整備 (三遠南信地域連携ビジョン推進会議、三遠南信ビジネスマッチング、首都圏等における展示商談会の実施等)

25

## ③次世代環境車の普及と産業化の促進

### ■はままつ次世代環境車社会実験協議会による社会実験の実施

平成22年5月17日、次世代環境車の普及と産業化の促進に向けた社会実験を行う「はままつ次世代環境車社会実験協議会」が設立されました。

この協議会には、産業界、大学、行政から15の機関が参加し、総力をあげて社会実験に取り組みます。平成23年11月からエリアを三遠南信地域に拡大し、豊橋市、飯田市において、社会実験を行う予定です。

協議会活動は、車両走行実験、部品・制御技術開発、インフラ整備の3つの部会を中心に進めていきます。こうした新たな取り組みを通じて、地域経済の発展と高度な技術力を国内外に向けて発信します。



実験車両  
PHV「スイフト レンジ・エクステンダー」



実験車両  
ヤマハ発動機 EC-03

26

## (2) 三遠南信自動車道等の建設促進

### 三遠南信自動車道

延長：約100kmの高規格幹線道路  
区間：長野県飯田市山本～静岡県浜松市北区三ヶ日町

### 提案活動の状況（平成22年度）

- ①三遠南信道路建設促進期成同盟会  
【構成】県、市町村  
・6月、12月に提案活動
- ②三遠南信自動車道早期開通期成同盟会  
【構成】商工会議所・商工会・11JA  
・6月経済開発協議会役員会時に選出国会議員に要望  
・12月に提案活動
- ③三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会  
【構成】東三河、遠州及び南信州の市町村議会  
・11月に提案活動
- ④3市提言（12月）  
・豊橋市長、飯田市長、浜松市長が国交省に提案活動

### ○三遠南信自動車道

平成23年度 鳳来IC～引佐JCT間開通予定  
平成23年度 現道区間：国道152号 向井万場拡幅  
(豆嵐橋、豆嵐トンネル) 開通

### ○新東名高速道路

平成24年度 御殿場JCT～浜松いなさJCT間 開通予定  
平成26年度 引佐JCT～豊田東JCT間 開通予定

### ○引佐連絡道路

平成24年度 引佐JCT～三ヶ日JCT間 開通予定



引佐JCT(新東名から引佐連絡路へ入る高架橋の上)から、引佐北IC方面を望む (H23.2.7現在)



三遠道路の上で、引佐北IC(仮称)側から引佐JCTを望む (H23.2.7現在)

27

## (3) リニア中央新幹線飯田駅の設置

三遠南信圏域の東西－南北の連携基軸によって、  
圏域全体の活性化に大きな役割を担う。

リニア飯田駅の  
設置により  
南信州は  
三遠南信地域の  
北の玄関口に！



リニア中央新幹線の  
開業

東海道新幹線  
ひかり停車数の増加

28

## (4) 防災・医療連携

### ① 浜松市消防ヘリコプターの広域運用

- ・平成22年5月運用開始（浜松市域内）
- ・災害救助や遠距離の救急搬送
- ・浜松市と隣接市が消防ヘリコプターに関する応援協定を締結  
（平成22年3月30日締結、7月施行）
- ・浜松市と豊川市、蒲郡市、田原市が航空消防に関する応援協定を締結  
（平成22年6月29日締結、7月施行）



三遠南信地域での活躍も期待される  
浜松市消防ヘリコプター「はまかぜ」

### ② 三遠南信災害時相互応援協定

- ・平成8年7月に締結
- ・平成17年11月に改定（災害時の初動体制の迅速化等の見直し）
- ・災害時に救出・救護・応急や職員派遣、資機材・物資の供給
- ・毎年、災害備蓄品の相互応援供給訓練や情報伝達体制の確認

- ◆平成22年7月16日 飯田市からの給水車派遣要請があり、  
応援協定に基づき給水車が派遣された。
- ・浜松市 2トン給水車1台、4トン給水車1台
  - ・袋井市 2トン給水車1台 ・磐田市 1トン給水車3台
  - ・豊橋市 2トン給水車1台 ・田原市 2トン給水車1台
  - ・豊川市 1.8トン給水車1台



給水活動の様子(飯田市内)

29

## (5) 経済団体等との交流・連携①

### ① 三遠南信「街道浪漫」クイズラリーの実施

- ・目的 三遠南信地域の産業や特産品をPRするため
- ・期間 平成22年7月1日（木）～11月30日（火）
- ・内容 3圏域にそれぞれ10カ所クイズの出題地点設定  
30カ所すべてに解答する街道浪漫満喫コース  
（抽選で5万円相当のペア宿泊券と旅行券 3組）  
各圏域を3カ所計9カ所に答える街道ぶらり散策コース  
（各地域の特産品）
- ・主催 三遠南信地域経済開発協議会
- ・共催 三遠南信地域交流ネットワーク会議  
三遠南信地域整備連絡会議
- ・後援 愛知県・静岡県・長野県  
三遠南信地域連携ビジョン推進会議



### ② 三遠南信地域大学シンポジウム

「三遠南信地域における大学連携のすがた」をテーマとして、  
三遠南信地域大学シンポジウムを平成23年10月24日（月）に  
開催。各大学の学長等による意見交換を実施。

参加大学

東三河：愛知大学、豊橋技術科学大学、豊橋創造大学、  
遠州：静岡産業大学、静岡大学、静岡文化芸術大学  
静岡理工科大学、聖隷クリスティー大学  
浜松医科大学、浜松学院大学、浜松大学、光産業創成大学院大学  
南信州：飯田女子短期大学



30

## (5) 経済団体等との交流・連携②

### ③ しんきん南信州地域研究所開設・三遠南信地域シンクタンク連携記念シンポジウム

- ・平成21年5月23日に飯田市で開催
- ・ビジョンの推進・評価、プロジェクトに向けた調査
- ・3地域のシンクタンクが協定の締結  
東三河地域研究センター  
静岡県西部地域信金しんきん研究所  
しんきん南信州地域研究所



三遠南信地域シンクタンク連携記念シンポジウム

### ④ 第4回三遠南信（8信金）しんきんサミット

- ・平成23年10月22日（土）13:00～16:15  
静岡新聞ホール（浜松市中区旭町11-1）
- ・基調講演・シンポジウム
- ・しんきん物産展11:00～16:00  
ギャラリーモール（浜松市中区砂山町320-1）

飯田信用金庫 浜松信用金庫  
磐田信用金庫 掛川信用金庫  
遠州信用金庫 豊橋信用金庫  
豊川信用金庫 蒲郡信用金庫



三遠南信しんきんサミット・物産展

31

## (5) 経済団体等との交流・連携③

### ⑥ 第17回三遠南信ふるさと歌舞伎交流豊橋大会

- ・平成22年11月17日、豊橋市
- ・湖西歌舞伎保存会、豊橋素人歌舞伎保存会、大鹿歌舞伎保存会の共演

### ⑧ 三遠南信交流展

- 「ミュージアム・サミット ー美の競演ー」
- 平成21年10月10日～11月15日、豊橋市美術博物館
- 平成22年9月11日～10月11日、飯田市美術博物館
- 平成24年2月24日～3月25日、浜松市美術博物館、秋野不矩美術館



三遠南信ふるさと歌舞伎交流豊橋大会

### ⑨ 三遠南信教育サミット

- ・3地域の教育関係者が参加。基調講演や事例発表などを実施
- ・第15回 平成22年7月16日（金）  
場所：グランビューオオミヤ（飯田市）
- ・第16回 平成23年7月15日（金）  
場所：豊橋公会堂 大ホール



ミュージアムサミットちらし

32

## (5) 経済団体等との交流・連携④

- ⑩第5回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2011
  - ・ 中小企業にビジネスマッチングの場を提供。
  - ・ 販路拡大・受注 確保などビジネスチャンス創出の機会創出。
  - ・ 遠州地域以外からも参加している。
  - ・ 平成23年7月20日～21日
  - ・ アクトシティ浜松 展示イベントホール
- ⑪第25回峠の国盗り綱引き合戦
  - ・ 浜松市水窪地区と飯田市南信濃地区の交流イベント
  - ・ 平成23年10月23日(日) 予定
  - ・ 場所：兵越峠
- ⑫豊橋・浜松・飯田中学生交流
- ⑬第13回三遠南信文化交流 合唱のつどい
- ⑭三遠南信女性交流事業(浜松・豊橋・飯田の41団体)
- ⑮第13回三遠南信地域資料展(豊橋図書館)
- ⑯蝉しぐれの盆(三遠南信地域の念仏踊り)
- ⑰南信州秋キャンペーン in 浜松 & 豊橋



第5回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2011



第24回峠の国盗り綱引き合戦

33

## (6) 情報発信事業

- ① SENA ホームページ  
(三遠南信地域連携ビジョン推進会議)



- ② 三遠南信エリア情報  
(三遠南信地域交流NW会議)



- ③ 三遠南信紀行 / 中日新聞の特集記事



- ④ 東三河・南信レター(遠州版)

- ⑤ 三遠南信見聞録 / 南信州新聞社の特集記事

34

## Ⅳ 国土形成計画における当ビジョンの位置づけ

### ①国土計画の変遷

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国総合開発計画<br/>(昭和37年～)<br/>開発基調・量的拡大の計画</li> </ul> | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>国土形成計画<br/>(平成20年)<br/>成熟社会型の計画</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・法律改正による抜本見直し、開発中心からの転換</li> </ul>                 |   |   |

### ②国土形成計画

- ・全国計画と全国8ブロックごとの広域地方計画
- ・地方公共団体からの提案制度、パブリックコメント

### ③中部圏広域地方計画

- ・圏域 長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の5県
- ・計画期間 21世紀前半期を展望しつつ、おおむね10か年
- ・平成21年8月に国土交通大臣の認定
- ・14のリーディングプロジェクトのひとつとして、  
**「三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト」**を位置づけ

35

## 中部圏広域地方計画の構成概要

**区 域**：長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の5県（人口：約1,720万人、域内総生産：約77兆円）  
**中部圏広域地方計画協議会**（会長：神田真秋 愛知県知事）※平成21年6月11日第2回協議会時点

(県・政令市)	(市長会・町村会)	(隣接地方公共団体)	(経済団体)
長野県知事 静岡市長	東海市長会会長(鳥羽市長)	富山県知事	中部経済連合会会長
岐阜県知事 浜松市長	東海四県町村会代表者(八百津町長)	石川県知事	東海商工会議所連合会会長
静岡県知事 名古屋市長		福井県知事	長野県商工会議所連合会会長
愛知県知事		滋賀県知事	静岡県商工会議所連合会会長
三重県知事			(国の地方支分部局の長)

キーコンセプト

**ものづくりと環境貢献で  
日本のロータリーとして  
世界のまんなかへ**

戦略目標

- 中部圏の資源を活かした国内外の多様な交流の拡大
- 世界のものづくりの中心地としての産業競争力の強化
- 持続可能な環境共生社会を実現する環境先進圏の形成
- 誰もが生き生きとして暮らせる地域社会の実現
- 安全・安心で災害にも強い地域づくり

プロジェクト

1 ものづくり産業の競争力強化PJ	8 農山漁村の活性化PJ
2 次世代産業イノベーションPJ	9 多文化共生先進圏づくりPJ
3 低炭素社会実現PJ	10 暮らしの安心・快適PJ
4 いきもの共生PJ	11 文化継承・創造PJ
5 国際ゲートウェイ中部PJ	12 災害克服PJ
6 まんなか巡り観光交流PJ	13 <b>三遠南信流域都市圏活力向上PJ</b>
7 高次都市機能・連携強化PJ	14 伊勢湾再生PJ

(他圏域との連携プロジェクト)

1 東北圏・首都圏連携PJ
2 北陸圏・近畿圏連携PJ

(北陸圏との連携プロジェクト)

1 まるっと北陸・中部観光魅力増進PJ
2 広域物流ネットワーク(日本海～太平洋)構築PJ
3 環白山・環北アルプス広域エコロジーPJ
4 広域防災・災害応援ネットワークPJ

36

# 13. 三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト

## 目的

- 三遠南信地域は、高度な産業が集積する地域である一方、中山間地域では、人口減少・少子高齢化傾向が著しく、伝統にはくまられた地域文化や、地域コミュニティの維持が課題となっている。こうした課題を解決し自立的な圏域を創造するため、「三遠南信地域連携ビジョン」の実現に向けた取組等を推進する。
- 三遠南信流域都市圏での取組を天竜川流域全体へも波及させることができるよう、天竜川上流部との交流・連携に取り組むほか、天竜川流域の保全に向けて山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理に取り組む。

## 具体的取組

### (I) 三遠南信地域連携ビジョンの推進

#### 人・モノ・情報の流動を進め、自立的な地域の創造を支える地域基盤を形成

- 県境を越えた流域圏の交流・連携を促進する道路ネットワークの必要な整備を推進する。
- 県境を越えたメディアの連携等により、更なる交流や企業連携の促進を図る。



出典：国土交通省資料

- 【主な取組】
- ・三遠南信自動車道
  - ・県境を越えたメディアの連携 等

#### 既存産業の活力増進や新規産業の創造を図り、持続発展的な産業集積を促進

- 産学官での農工商連携等の取組により、特徴ある産業クラスターを形成する。
- 大学や研究機関等の連携を促進するなど、既存産業の活力増進や新規産業の創造を図り、持続発展的な産業の集積を促進する。

- 【主な取組】
- ・三遠南信バイタライゼーション協議会 等

#### 情報発信やプラットフォームづくりを進め、塩の道エコミュージアムを形成

- 圏域内外における地域物産販路拡大に取り組むとともに、情報発信やプラットフォームづくりを進め、塩の道エコミュージアムの形成を図る。

- 【主な取組】
- ・三遠南信アンテナショップの開設 等

#### 自然資源の循環を図り、中山間地域を活かす流域モデルを形成

- 健全な水・物質等の自然資源の循環を図るため、山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理の取組等を推進する。
- 新たな交流を生む流域モデルを形成し、住民の生活環境の維持と質的向上を図る。

- 【主な取組】
- ・佐久間ダム ・小洪ダム 等

#### 上下流一環の総合土砂管理イメージ



出典：中部地方整備局資料

#### 広域連携による安全・安心な地域を形成

- 広域連携による安全・安心な地域を形成するため、県境を越えた医療・福祉サービスの連携促進や県境を越えた防災体制の整備等を推進する。

### (II) ビジョンを後押しするための天竜川流域における連携した取組の推進

- 健全な水・物質循環の構築に資する水源地域の保全・活性化のため、多様な主体による連携を促進する。



三遠南信地域を支える天竜川・豊川流域  
三遠南信地域の市町村

- 【主な取組】
- ・諏訪湖水質保全計画の推進 等

<http://www.sena-vision.jp/>

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

(SENA : San-En-Nanshin-Area-Relationship-Vision-Progressive-Conference)

SENA





# 三遠南信紀行

平成 20 年度から中日新聞朝刊において、特集記事「三遠南信紀行」を掲載いただいています。三遠南信地域連携ビジョンの基本方針である「道」、「技」、「風土」、「山」、「住」の 5 つの分野に沿って、三遠南信地域の地域資源、観光資源などを特集記事にて紹介していただきました。

本資料集には、平成 23 年度前半の 2 回分を掲載しました。これまでの特集記事は、SENA ホームページに掲載しています。(URL <http://www.sena-vision.jp/>)

## <平成 23 年度>

### 第 1 回

「待ちに待った夏休み 親子や仲間と一緒に体験の旅に出かけよう！」

平成 23 年 6 月 28 日 掲載

### 第 2 回

「澄みきった青空の下、秋の連休を楽しめる三遠南信の行楽地へ!!」

平成 23 年 8 月 20 日 掲載





# 2011 三遠南信 紀行

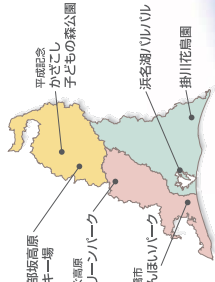
San-En-Nanshin Travelogues

Vol. 2

## 澄みきつた青空の下 秋の連休を楽しめる 三遠南信の行楽地へ!!

暑い日射しも次第に和らぎ、よいよ行楽の季節の到来です。大自然の中でスポーツ、動物や鳥たちとのふれあい、遊びや手作り体験を満喫できるレジャー施設など三遠南信の行楽地で家族や仲間と一緒に秋を楽しんでみませんか？

今回は三遠南信地域にある数多いレジャー施設の中からピックアップしてご紹介します。



### 動物園に遊園地 恐竜たちも迎えてくれる 自然史博物館など多彩!!

#### ◎のんはいパーク (豊橋総合動植物公園)

豊橋総合動植物公園(のんはいパーク)は、広大なアフリカンパークや、風情あふれる動物園、ホッキョクグマの飼育舎など、見どころ満載。物産館や自然史博物館、自然史博物館など多彩!!

交通 車／東名豊橋東出口 豊川ICより西へ約10分 豊橋総合動植物公園 豊橋1-1-1  
電車／JR東海道本線 豊橋駅より徒歩約10分  
料金/大人200円、小人100円  
TEL 053-921-1111

#### スポーツ施設やキャンプ場 バンガローに天文台もある 高原のアウトドアスポット

#### ◎つぐ麗園グリーンパーク (設楽町)

木々の繁茂、美しい水辺、園内は緑豊かな。グリーンパークには、バンガローやキャンプ場、天文台など、アウトドアの楽しさを満喫できる。自然史博物館や動物園も併設されている。

交通 車／東名豊橋東出口 豊川ICより西へ約10分 豊橋総合動植物公園 豊橋1-1-1  
電車／JR東海道本線 豊橋駅より徒歩約10分  
料金/大人200円、小人100円  
TEL 053-921-1111

### 約30種類のアトラクション 展望台に続くローラー coaster 楽しめられる遊びの楽園

#### ◎浜名湖パルバル (浜松市)

浜名湖パルバルは、約30種類のアトラクションを誇る。展望台から湖を一望できる。楽しめられる遊びの楽園。

交通 車／東名豊橋東出口 豊川ICより西へ約10分 豊橋総合動植物公園 豊橋1-1-1  
電車／JR東海道本線 豊橋駅より徒歩約10分  
料金/大人200円、小人100円  
TEL 053-921-1111

### くまぐもぐもぐら ぶらぶらぐらぐら 鳥たちと遊べる花の園

#### ◎掛川花鳥園 (掛川市)

くまぐもぐもぐらぶらぶらぐらぐら。鳥たちと遊べる花の園。自然史博物館や動物園も併設されている。

交通 車／東名豊橋東出口 豊川ICより西へ約10分 豊橋総合動植物公園 豊橋1-1-1  
電車／JR東海道本線 豊橋駅より徒歩約10分  
料金/大人200円、小人100円  
TEL 053-921-1111



浜名湖パルバル

### 森や池原っぱや大広場 自然の中で自由に遊び 3種の工房で手作り体験も

#### ◎まほろば子ども森公園 (飯田町)

まほろば子ども森公園は、自然の中で自由に遊ぶことができる。3種の工房で手作り体験もできる。



交通 車／東名豊橋東出口 豊川ICより西へ約10分 豊橋総合動植物公園 豊橋1-1-1  
電車／JR東海道本線 豊橋駅より徒歩約10分  
料金/大人200円、小人100円  
TEL 053-921-1111

### 観音堂と大仏堂 100年ぶりに大仏堂を再建

#### ◎浜松臨海公園 (浜松市)

浜松臨海公園は、観音堂と大仏堂が有名。100年ぶりに大仏堂を再建した。自然史博物館や動物園も併設されている。

交通 車／東名豊橋東出口 豊川ICより西へ約10分 豊橋総合動植物公園 豊橋1-1-1  
電車／JR東海道本線 豊橋駅より徒歩約10分  
料金/大人200円、小人100円  
TEL 053-921-1111

<http://www.san-en-nanshin.jp/>

三遠南信地域の詳しい情報は三遠南信地域交流ネットワーク会議のHPをご覧ください。

三遠南信エリアマップ<市町村>



三遠南信エリアマップ<市町村+道路>

